

ここだけの話…

FXで稼ぐのは簡単です。

こういう場所で、
エントリーするだけ!!



方程式

初月から
20万円を生み出す

利益の

あなたが考えるべきは、実は2つだけ!!

- ・相場からの強制退場を阻止せよ! 正しい資金管理とは?
- ・プロでも意外と盲点だった究極の環境認識を暴露した!!

ネチネチ難しいことを考えるから

あなたのFXが難しくなるのです…

早速ですが、

今回は、あなたに FX で
実際に『お金』を稼いでももらいます



心の準備は、よろしいでしょうか？

．．．

今回は、

FX で利益を出す『究極の方程式』

について、お話します。

先に言っておきます、

FXで『稼ぐ』ために必要な勉強って
かなり少ないのです…

が、

みんな馬鹿マジメで
FXの『勉強』が大好き…。

コレが実情です。

今回の話を知らない
FXで稼げていない人たちは、

例外なく、貧乏な『知識マツチヨ』で
いつまでも利益を出すことができない

もしも今、あなたがFX評論家を目指しているのであれば
いろんな知識に手を出し、物知りになれば良いのですが、

・・・違いますよね？

今後あなたは、

あれこれ語るアナリスト（評論家）を目指すべきではなく
実際に利益を出すトレーダー（プレイヤー）を目指すべき
なのです。

で、

かなり重要なコトを言います・・・

実は、

あなたが FX で利益を出すには
たったの『2 つ』だけ理解すれば…

それで足りるのです。

例え、あなたが嫌がっても
利益は出てしまうモノなのです。

チャート画面を前に、

抜群のタイミングで、エントリーして
グングン伸び続ける『含み益』を
あなたはニヤニヤしながら眺める…

ことができるようになります。

しかし、

今回の話を知らないと…

毎回チャート画面の前で頭を抱え込み
「またか…。」と、ため息をつくハメ

になってしまいます。

今回の内容は『特大ボリューム』なので
最後まで、かなり集中して聞いて下さい。

目次

まずは軽く、前回の復習からしましょう！	6
【第1章】資金管理の基本！まずはお金をキケンに晒してることを知ろう！9	
極論ですが、資金管理ができていれば儲かるのがFX、ですが… ..	18
資金管理術を組み込んだトレード戦略5つのステップ！	24
規律を守り抜け！資金管理3つのマインドセットとは？	33
【第2章】FXは環境認識が9割！チャートはこう見ればイイ！	41
たった『1本』のローソク足に隠された利益につながる情報とは？	44
ローソク足が『2本』並んだ時の解読法は、4パターンだけ！	48
ローソク足がたくさん並んだら？『高値』と『安値』の見つけ方！	55
値動きのメカニズム、買い手と売り手のドロドロした欲望とは！？	64
絶対必須の知識『ダウ理論』は、テクニカル分析の親玉だ！	72
相場は『トレンド』と『レンジ』を繰り返している！	78
とにかく『高値』と『安値』がメチャクチャ意識されている！	81
男も女もオネエも黙って『マルチタイムフレーム分析』を極めよ！	90
【第3章】テクニカル分析の王様『エリオット波動』とは！？	105
まずは教科書的な『エリオット波動』の説明から！	107
推進3波と推進5波！ここで『鉄のオキテ』を紹介します	114
あなたが利益を取るべき相場と赤ランプ警告！？	129
もう迷わない！エリオット波動は、こうやって数えるのだ！	142
テクニカル分析を総動員せよ！実践トレード厳選3つのアプローチ篇	154
最後に	171

まずは軽く、前回の復習からしましょう！

今の時代・・・

年収 1,000 万円を超える人の数は、

実は『副業』や『ビジネス』で
年収 1,000 万円を取っている人の数よりも、

投資で 1,000 万円を取っている人の
『数』の方が圧倒的に多い

そして、

- ・取引量（ロット）
- ・レバレッジ
- ・値幅（pips）
- ・必要証拠金
- ・証拠金維持率

『FX 5 つの基本』について
前は、お話ししました。

この話を聞いて
今、あなたはピンと来ていますか？

もしも今、

あなたの中で、ビビッと来ていなかったら
もう一度、前回の内容をお読み下さいね。

前は...

FXの超基本の話を
分かりやすく解説しました

まだ読んでないなら
今すぐチェックして下さい！

初心者なら**必読!!**



FXを始めたい! と思ったら...

迷わず **1冊目** に、コレを読む

現役**FXトレーダー**が明かした
〜FX 5つの基本〜

筋金入りの**貧乏人生**だって?
...良かったじゃないか。

今から**少額**の資金で投資を始めて
あなたの**人生が激変**するFX本!!

- ・なぜ今、投資をやる必要があるのか？
- ・FX 初心者が最低限知っておくべき 5つの用語

まずは、

この『レベル0』の話を
キチンと理解して下さい。

で、

あなたに勘違いをさせるワケにはいかないので
最初に『かなり重要なコト』を言っておきます。

ノーリスクで大金を荒稼ぎできるぜ！
…なんて『ウマイ話』は当然なく、

FX は投資なので、少なからず『リスク』があるのです・・・

第1章

資金管理

【第1章】資金管理の基本！まずはお金をキケンに晒してることを知ろう！

冒頭から、

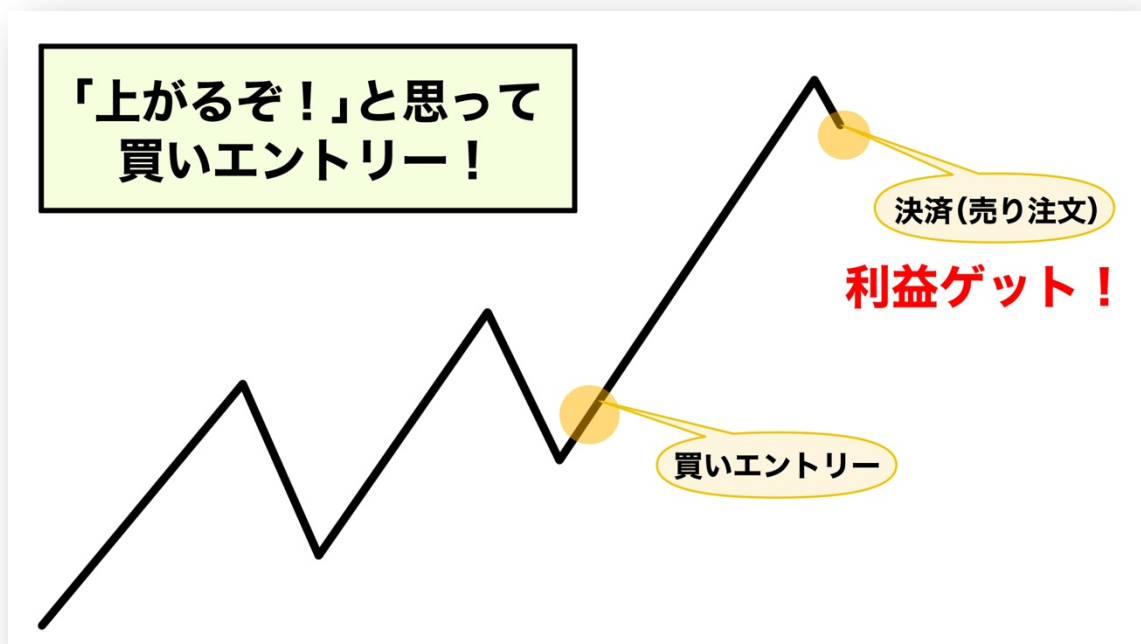
あなたを脅すような事を言いましたが
実は『リスク』は支配できるモノ

なのです。

まずは、前回の復習もかねて
簡単な話からスタートします。

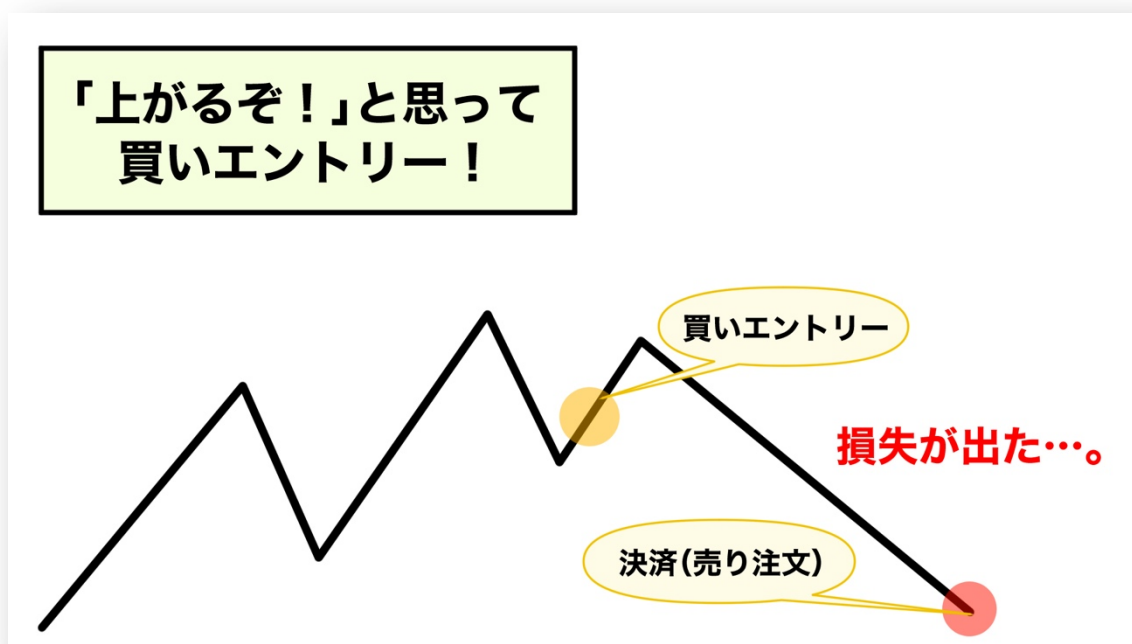
あなたもご存知の通り FX は、

上がと思ったら買いでエントリーをし
上がったところで決済（売り）をかけて
利益を確定します。



残念なパターンとして・・・

上がると思って買いでエントリーをし
下がってしまったところで決済（売り）をかけたら
損失が確定します。



売りエントリーは
今の逆ですね。

下がると思ったら売りでエントリーをし
下がったところで決済（買い）をかけて
利益を確定します。

下がると思って売りでエントリーをし
上がってしまったところで決済（買い）をかけたら
損失が確定します。

・・・ここまでは大丈夫ですね？

では、もう1つ先に進めて・・・

相場の未来なんて、誰にも分からない

当たり前ですが、

あなたがエントリーした後

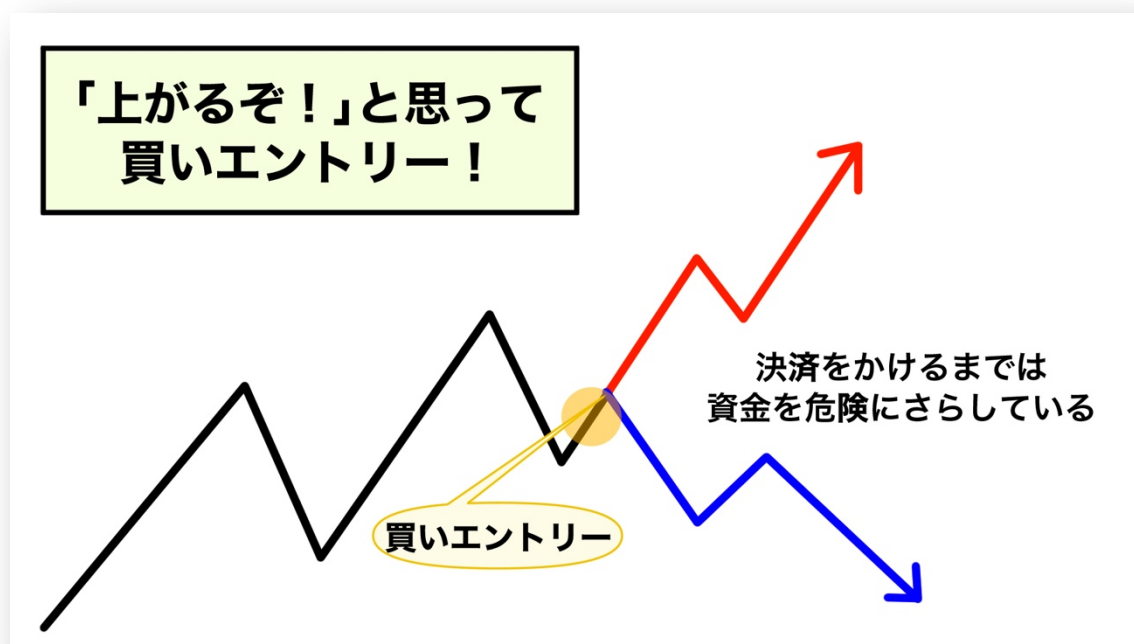
『相場が思い通りに動いてくれるか？』

…は、どこまでいっても分からないのです。

ここで大事なことを1つお伝えします。

あなたがポジションを握っている間は
常に資金を『リスク』に晒している…

という事実です。



もしかすると要人（大統領とか）の発言で
急激に相場が動き出すかもしれません。

それがエントリー方向であれば
利益を取ることができますが、

あなたの思惑と逆方向にドーンと
相場が動いてしまったら、

口座残高が、一瞬でブッ飛びます

その間、手に汗握りながら
チャート画面に張り付いて、

相場と睨めっこ…というワケにも
いきませんよね？

「オレには、そんな暇ないぜ…。」
「アタシ、仕事が忙しいんだけど…。」

・・・分かりました。

まずは資金管理の超基本として
『2つの用語』をご紹介します。

FX には、

SL（ストップロス、損切り）

TP（テイクプロフィット、利益確定）

という機能があります。

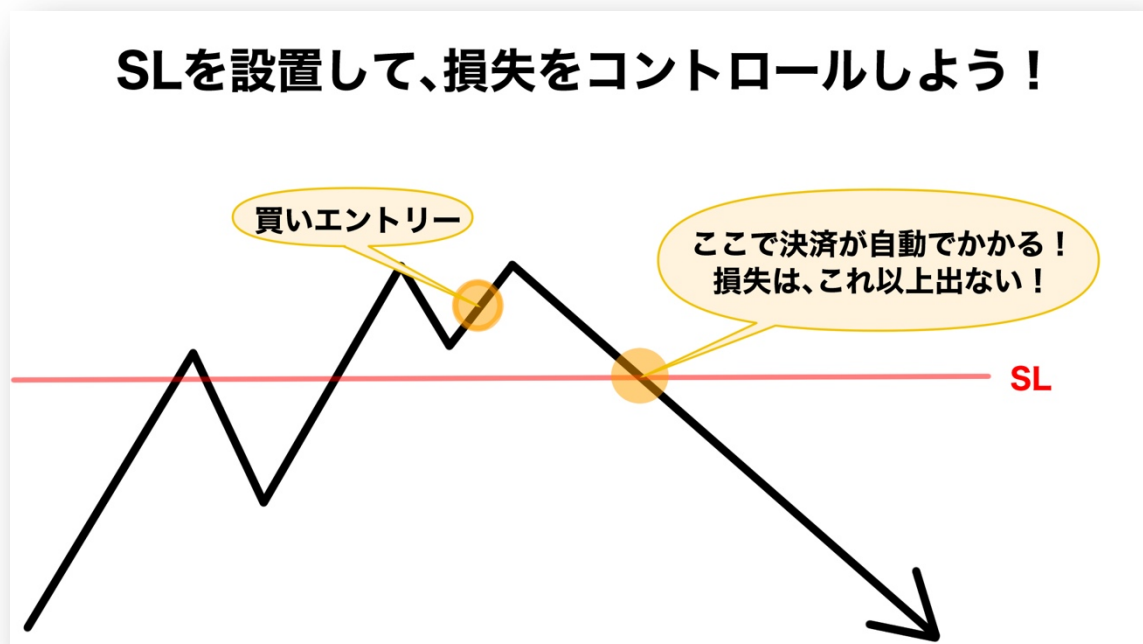
小難しい話は抜きにして、

SL とは・・・

ここまで逆行してしまったら
自動的に決済をかける注文を
あらかじめしておく。

それをすることによって、

その後、どんなにマイナス方向に
レート（価格）が進んだとしても
あなたの損失は SL の場所で止まります。



つまり、

SL で『損失額』をコントロールできる

ということです。

もしも上の図の例で、

SL を設置しておかなかった場合は・・・

口座残高を喰い尽くすまで 無限大の『損失』が止まりません…

こんな状態では
いくら残高があっても足りません。

FX でお金を稼ぐ？
夢物語もイイところです。

次に、TP（利益確定）です。

例えば、

最初は思い通りに
含み益がグングン伸びていた。

しかし、

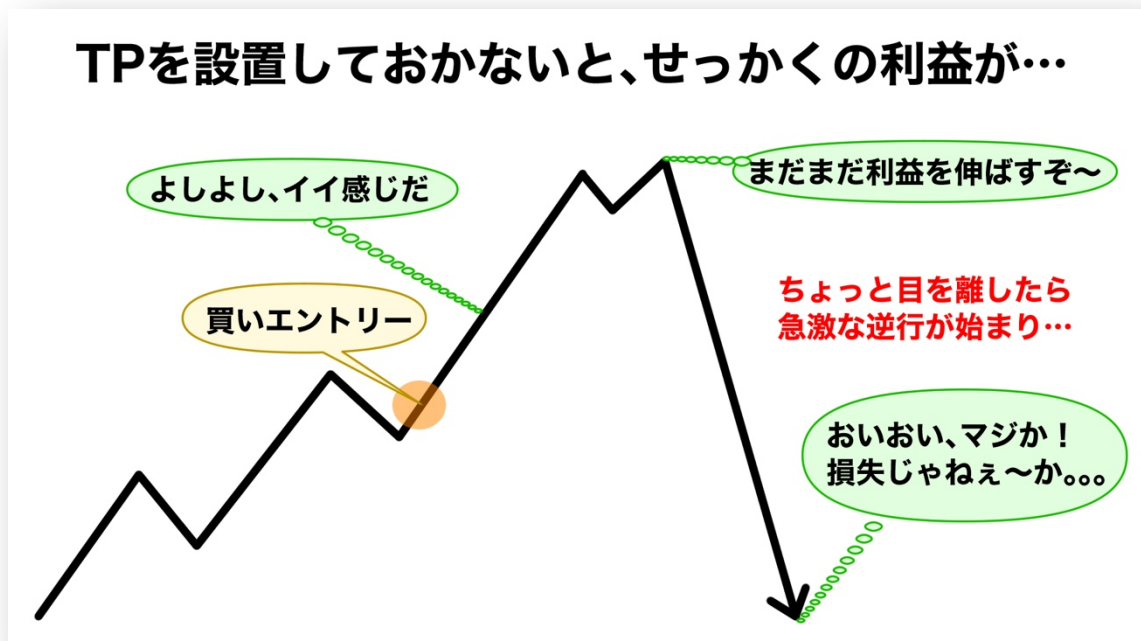
利益を欲張ったために結果的に逆行…

- ・ 利益をゼロにしてしまった
- ・ かえって損失になってしまった

他にも・・・

忙しくてチャートを見る時間がなくて
気づいたらマイナスになってしまっていた…

ああ、本当だったら
結構な利益が出てたはずだったのに…
と。



先ほども言った通り、

エントリーをして
ポジションを握っている間は、

自分の資金を
常に損失のキケンに晒している状態

なのです。

つまり何が起ころっても
別に、おかしくはないのです。

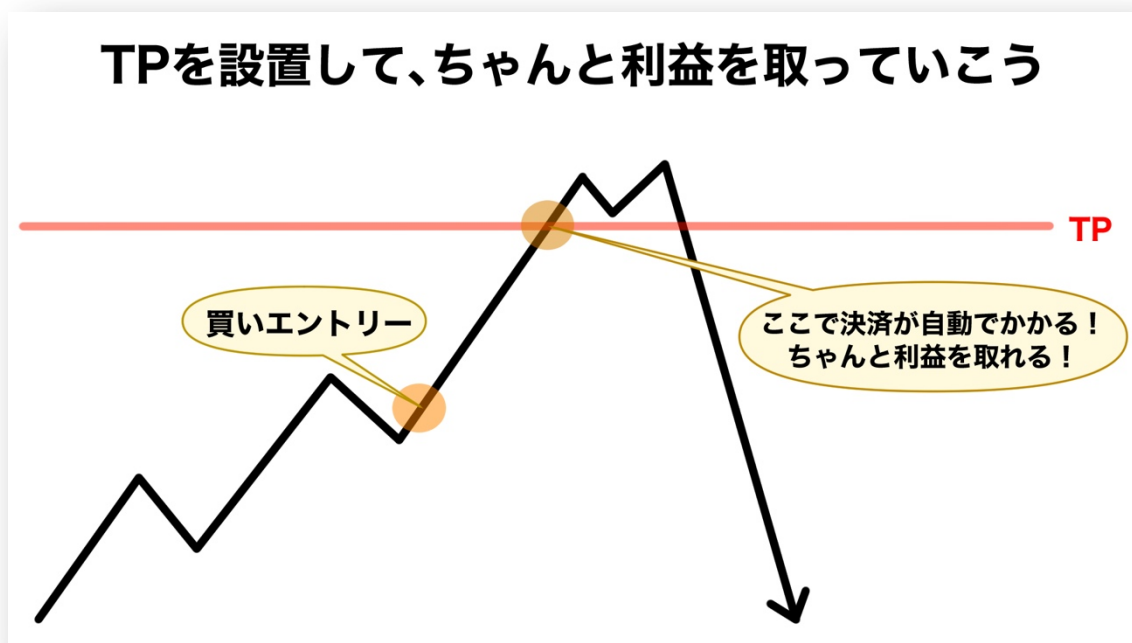
そして、

いつでも相場は意地悪なのです。

SL は損失をコントロールしよう！
という話でしたが、

TP は取るべき利益は
きちん取りこぼさずに取りましょう！

という話です。



まず最初は、SL や TP を設置して
リスクヘッジした取引をしましょう、

・・・という話でした。

さて、

FX は『資金管理』さえ徹底すれば
稼ぎ続けることができる投資

と言われることがありますが・・・

果たして、それは真実なのか？

・・・

今回は、

資金管理の重要性や
具体的な話をしていきます。

まず最初に断言しておきますが・・・

どんなに『最強の手法』を使っても
資金管理ができてなければ破産する

1つの結論として、

あなたがFXで長く勝ち続けるためには
トレード手法やテクニカル分析のスキル以上に
『資金管理スキル』が、カギを握るのです。

まずは
その部分を肝に銘じてから
この先の話を聞いてください。

極論ですが、資金管理ができていれば儲かるのがFX、ですが…

何となく、

「資金管理が大切だというのは分かるけど
具体的に何をすればいいか分からない…」

と、

今、もしかすると
あなたはそんな風に
感じているかもしれません。

ですが、安心して下さい。

今回は、

負けても破産することなく FXで勝ち続けていくための資金管理術

を分かりやすく
お話ししていきます。

当たり前の話ですが・・・

たとえ、どんなに優れた手法を
あなたが知り、使ったとしても、

FXで勝率 100% !

…というのは絶対にあり得ません。

だからこそ・・・

リスクを『適切にコントロール』して
大切な資金を守り抜く仕組みがなければ、

たった数回のトレードで取引資金を
すべて失ってしまうのです。

結果的に、優れたトレード手法を武器にしても
それを継続することができなくなってしまうのです。

つまり、

資金管理とは トレードを継続するための基礎

だと考えて下さい。

そして、

「FXは資金管理だけでも勝てる！」
と言われることが多いのですが、

その理由は、

たとえ、あなたが使う
トレード手法の勝率が低くかったとしても、

資金管理によって
トータルで利益を残せる仕組みを
作ることができるからなのです。

いいですか？

FXで、1番大事なコトは何ですか？

トレードで最も大切なのは、

トータルで資金が増え続けること

です。

何を差し置いても、

やればやるほど『お金が増えていく』
この状態が1番重要なのです。

なので、

毎回のトレードで勝つ必要はなく、

- ・負けた時の損失を小さくする
- ・勝った時の利益を大きくする

たったこれだけを徹底すれば
勝率 50%以下でも収支はプラス

にできてしまうのです。

別に、勝率が『50%以下』でも儲かる

のです。

ただし資金管理ができていれば…です。

では、具体的な例を出します。

例えば、

以下のようなトレードを10回行って
『3勝7敗』だったとします。

コレは勝率 30%のトレードですが…

- ・ 1回の負けは1万円
- ・ 1回の勝ちが3万円

この場合・・・

- ・ 損失が7万円
(マイナス1万円が7回で、7万円)
- ・ 利益が9万円
(プラス3万円が3回で、9万円)

トータルで2万円の『プラス』になる

のです。

今あなたに何を伝えたいのか？

それは・・・

勝率が高くなくても
FXは資金を増やすことができる

ということです。

つまり勝率が低いトレード手法であったとしても、

- ・損小利大
- ・期待値も考える

そういった『資金管理の仕組み』さえ
あなたが作り上げることができれば、

FXで勝ち残ることは十分に可能なのです。

で、

FXでは、

『資金管理』と『トレード手法』は
お互いに補完し合う関係にあります

逆に言うと・・・

あなたが
どれだけ究極のトレード手法を
自信満々に使っていたとしても、

資金管理がザルであれば
ほんの数回の連敗で口座資金を失う

リスクがあります。

ただし、

資金管理が完璧でも
常にギャンブル的なトレードを繰り返しており

期待値がマイナスの状態であれば
資金は、じわじわと減り続けてしまう

のです。

要するに？

「資金管理だけで勝つぞ！」とは言っても
完全に手法を無視して良いワケではなく、

資金管理がトレード手法を支える
『基礎・基盤』として機能していく

のです。

『資金管理』と『トレード手法』
2つの絶妙なコンビネーション技

が必要になってきます。

なので、

あなたが『FXで大金を握る』ためには
どちらも武器にしていく必要があります。

まずは、

「トレード手法だけではなく、資金管理もちゃんとやろう！」
という意識を、ここで持って下さい。

資金管理術を組み込んだトレード戦略5つのステップ！

では、

資金管理もキチンとした上で、

勝ち続けていける FX トレーダーとは
一体どんな特徴を持っているのか？

- ・勘に頼ったトレード
- ・ポジポジ病
- ・損切り貧乏

こういった負けトレーダーは、

今から伝える内容を徹底するだけで
トレード成績が爆上がりします。

例えば、

「資金管理？そんなの面倒臭せえ…
オレは天性の勘で勝負するぜ！」

と、そんな具合に・・・

資金管理について
真面目に考えたことがなく、

1 回の損失が資金の 5%以上になり
連敗で口座破綻を繰り返していた
FX トレーダーがいたとします。

資金管理のルールを作り
1回の損失を1%以下に固定し、

損失と利益の比率を、

『損失：利益』＝『1：3』にするだけで
勝率が40%でも安定して利益を残せる

可能性が格段に上がります。

その上、

資金管理を考えていくことによって
1回の負けが致命傷にならず
負けてもトレードを続けていける
安心感も生まれます。

すると・・・

ムダ撃ちや感情トレードが激減し
冷静な判断で期待値の高いトレード

に集中していける土台が整います。

じゃ、具体的にどうやって
資金管理をやっていけばいいの？

あなたは難しいことを考えず
たったの『5つのステップ』を踏むだけで
資金管理を徹底することができるようになります。

Step1 :

トレード 1 回あたりの損失額を決める

資金管理で勝つための最初のステップは
1 回のトレードで許容する『損失額』を
明確に設定しておくことです。

ここで設定した損失額が
資金管理の基礎となり、

ロット数の計算や損切り幅など
すべての判断基準になります。

一般的には、

1 回のトレードの損失額を
資金の 1%~2%以内に抑えておけば、

もしも不運な連敗に見舞われても
致命傷を避けることができるので
『安全』だと言われています。

それに、

損失額を 1%~2%という数値に
あらかじめ設定しておくことで、

- ・ 場当たりの感情任せのエントリー
- ・ 損失を取り返そうとする復讐トレード
- ・ 勘に頼った根拠のないムダ撃ち

こういった無意味なトレードを
防止することにも繋がります。

Step2 :

トレードに期待値の考え方を組み込む

勝率にこだわらず利益を残すためには
1 回ごとの損益にフォーカスするのではなく、

取引全体のトータルで利益を積み上げる
『期待値』を意識したトレード計画が
必ず必要になってきます。

勝ちが大きく、負けは小さく、

FX では勝つことよりも いかに負けを『小さく』するのか？

に集中していくことが、とにかく重要なのです。

そのため最初は
勝率が 50%以下だったとしても
利益を積み上げる損益比を組み込んだ
資金管理を目安に立てることが重要です。

例えば・・・

勝率：40%

1 回の損失：資金の 1%

1 回の利益：資金の 3%

損益比：『利益：損失＝1：0.3』

このようなトレード計画を立てたとします。

この場合・・・

勝率が 40%なので
10 回トレードをしたら 4 勝 6 敗ですね。

それでも
トータルで利益を残すことが可能です。

勝つことにだけ執着せずに 資金を守り、期待値を考えたトレード

を積み上げていきましょう。

Step3 :

ドローダウン対策を練り上げ実践する

FX では、

- ・連敗
- ・想定外の相場状況

これらに備えた資金管理を
あらかじめ組み込んでおくことが
長期的な生き残りに直結します。

まずは生き残れ
相場から退場さえしなければ
儲けるチャンスは無限にある

そういう話です。

したがって、

資金が一定割合、減少した時点で
ロット数を小さくするルールや、

負けが続いた場合の
トレード回数を見直す仕組みを
作っておくことが重要です。

例えば、資金 100 万円で運用している場合、

ドローダウンが 10%（資金 90 万円）を超えたら
ロット数を半分に縮小する

というルールを作ったとします。

このようにドローダウン率に応じた
ロット調整を決めておけば、

- ・デカイ損失に陥るリスクを抑制できる
- ・常に冷静な判断をすることができる
- ・資金回復時にロットを戻す戦略が立てやすい

などの、メリットがあります。

資金の減少に合わせたロット調整や
トレード頻度の見直しなど、

あなたの資金を守りながら
メンタルも安定させる資金ルールを
キチンと整えておくのです。

攻めることも大切ですが
守りがガラガラの状態では
勝てる勝負も勝てなくなってしまいます。

Step4 :

エントリー前にロットの計算をする

FX では価格変動が読めない以上、

損切り設定を前提とした資金管理が
欠かせません。

毎回のエントリーにおいて、

1トレードあたりの損切り額から
『取引ロット』を逆算することで、

過剰なリスクを取ってしまうことを避けられます。

例えば、

資金：100 万円

リスク率：1%

損切り幅：20pips

この場合は、

- ・ 1トレードあたりの許容損失額
= 100 万円 × 1% = 1 万円
- ・ 1pips あたりの損失額
= 1 万円 / 20pips = 500 円
- ・ 1 ロットあたりの 1pips 損失
= 150 円 (USD/JPY=150 円の場合)
- ・ 適正ロット数
= 500 円 / 150 円 = 3.33 ロット

このように計算することができます。

そういったことを毎回やることで
常に許容リスク内でのエントリーが可能になります。

Step5 :

トレード履歴の検証と資金管理の見直しをする

資金管理は1回決めれば
それで良いワケではありません。

相場環境やあなた自身のトレードスタイルが変化する中で
過去のデータを元に資金管理をアップデートしていくことで
より強固な資金管理システムを構築することができるのです。

また、勝てないトレードが続く場合も、

- ・資金管理に問題があるのか？
- ・エントリー手法に問題があるのか？

を切り分けるためのデータとして
トレード履歴の分析は非常に大切です。

例えば、これまで立てた資金管理の場合、

以下のような項目を記録して
週1回や月1回ペースで検証します。

勝率：40%という想定とズレが生じていないか
損益比：1：3の比率を維持することができているか
ロット数：資金減少に合わせて適正に調整しているか

こういったことを可視化することで
資金管理にミスがないか、

自分でも知らぬうちに
過剰なリスクを取っていないかを
発見しやすくなります。

まずは、今お話した『5つのステップ』を
実践してみるところから始めてみて下さい。

規律を守り抜け！資金管理3つのマインドセットとは？

資金管理の知識だけでなく、

あなた自身で決めた
ルールを守り続けていくためには
3つのマインドセットが必要

になってきます。

其の一：損切りを資金を守るために必要な行動だと考える

其の二：勝率への過剰なこだわりを捨てる

其の三：一発逆転を狙わずに小さな利益を積み上げる

では、

1つ1つ説明していきます。

其の一：

損切りを資金を守るために必要な行動
だと考える

資金管理を徹底していくためには、

損切りは、失敗ではなく
『当たり前行動』だと考える

のです。

例えば、

あなたが車を運転しているとします。

交差点にさしかかり赤信号であれば
当たり前ですが、止まります…よね？

もちろん、国の法律（ルール）で
『赤信号は止まれ』と決まっていますし、

赤信号で突っ込んで行ったら
それこそ大事故を起こしかねません

もしかすると、運よく他の車がおらず
横断歩道を渡る人もいないかもしれません。

その状態であれば
赤信号を無視して突き進んだとしても
幸運にも事故は起こさずに済みます。

ですが、

もしも車や人がいたら
大事故を起こすワケです。

ここからが重要なのですが・・・

損切りは、赤信号で止まることと同じ

なのです。

例えば、

あなたがエントリーをした後、

価格が1度決めた損切りラインを超えてしまい
それでも損切りをせずにチャート画面の前で
『お祈りをしていた』とします。

そのまま含み損が増え続け
内心ヒヤヒヤしていたら、

幸運の女神が微笑んでくれたのか
運よく価格が戻ってきて、プラスに転じた！

・・・なんて奇跡もある、かもしれません…

が、

そのまま含み損が膨らみ続けて
口座残高をすっからカンにしてしまう
『大事故』を引き起こす可能性もある

ワケです。

さて、

あなたは普段、自分の命を賭けて
赤信号を無視して突き進みますか？

それと話は同じなのです。

赤信号で止まる＝損切りをする

損切りは、当たり前な行為なのです。

なので、

損切りをしたからと言って
イチイチ「失敗した…」と
落ち込む必要はないのです。

其の二：

勝率への過剰なこだわりを捨てる

勝率に執着すればするほど、

アセリや不安などの感情から
トレード成績はガラガラと崩れていきます。

先ほども言った通り、

勝率が 50%以上でなければ
FX は儲からないと誤解をしている
トレーダーが一定数います。

しかし、

勝率よりも損益比や期待値を重視する
考え方を持つことが大切なのです。

適切な資金管理によって
たとえ勝率が低かったとしても
トータルで利益を残せる仕組みは作れます。

『勝率＝トレードスキル』 という、ピンとがズレた誤解を手放す

その上で、

資金管理の仕組みで
トータルプラスを目指していくことが
安定的な勝ちにつながっていくのです。

其の三：

一発逆転を狙わずに小さな利益を積み 上げる

資金管理を最大限に活かしていくためには
一発逆転・一攫千金の大勝ちを狙わずに、

資金を守りながら
コツコツ小さな利益を積み重ねていく
思考のシフトチェンジが必要です。

特に、資金管理を重視したトレードでは
『生き残ること』が最優先になります。

FX 初心者や負け組トレーダーほど
「一撃でボロ儲けしてやろう！」の心を
胸に抱いているものです。

しかし、

この思考は、無謀すぎるロット数の増加や
損切りに対する拒絶反応を引き起こして、

破産リスクを急上昇させてしまう
悪の根源でしかありません。

その一方で、

成績が安定している
ひと握りのエリート層たちは、

一撃で大勝ちすることより 100 発で資金を徐々に増やしていく

長期的な視点を持っています。

この考え方があるからこそ
無駄なリスクを排除し、

安定的に利益を積み上げることができているのです。

そうは言っても・・・

- ・ それじゃ、人生を変えられねえぜ・・・
- ・ 大金を掴むために FX やってるのよ・・・

と、

もしかしたら今
あなたは心の中で感じたかもしれません。

でも、大丈夫
安心して下さい。

だって・・・

今日の 100 円トレードは
未来の 100 万円トレードに変貌する

からです。

いいですか？

初心者時代に出した損失なんて
未来のあなたなら一撃で取り返せます

たとえ今、

どんなに損失が膨らんでいても
必ずそれ以上に取り返せる日が来るのです。

だからこそ、

ここまでお伝えした
資金管理術を徹底して行って下さい。

その土台ができた上で、

ここからお話しする
トレード手法の話を聞いて下さい。

第2章

環境認識

【第2章】FXは環境認識が9割！チャートはこう見ればイイ！

結局のところ、

FXは

『上がる』か『下がる』かしかない

のです。

そのため環境認識さえ間違えなければ
理論上は『負けない』のがFXなのです。

『環境認識』を制する者が大金を掴む

世界がFX、ということです。

ですが『環境認識』について
具体的・実践的に解説してくれている
本や動画は、ほとんどありません。

今回は、超重要な『環境認識』について
初心者の方でも分かりやすいように
解説していきます。

「コレだけ知っていればOKだぜ！」と言えるほど
FXの世界は甘くないのですが、

逆に・・・

コレだけは知らないで、超絶ヤバい・・・

というものは存在します。

今回の話をキチンと理解して頂ければ
あなたが FX で稼ぐのに必要な知識を
習得することができるようになっていきます。

そして、

その知識を実際のトレードで
どのように使っていくのか？

…という部分まで、しっかりとお伝えしていきます。

環境認識ができるようになると FX トレードの『勝率』は爆上がり

します。

環境認識さえ合っていれば
例えエントリーポイントが悪かったとしても
相場に助けてもらえることも多いもの、

ですが・・・

環境認識ができていなければ FX では勝つことができません…。

大局が読めていない状態なので、

- ・伸ばすべき場所で伸ばすことができない
- ・コスパが悪いトレードを繰り返す

ことになり、長期的に考えて
資金を増やすことは不可能なのです。

なので、

最初から集中して
話を聞いて下さい。

たった『1本』のローソク足に隠された利益につながる情報とは？

まず最初は、

ローソク足の『4本値』について

です。

チャート进行分析の第一歩は
ローソク足の意味を理解する
ことから始まります。

このローソク足1つ取っても
たくさんの形があり、

ローソク足を見ていくことによって、

- ・他の投資家心理
- ・今後の値動き

などを分析していくことが可能になるのです。

ローソク足は1つで 『4つの意味』を示します。

① 始値（はじめね）

一定期間内で、はじめについていた価格

② 安値（やすね）

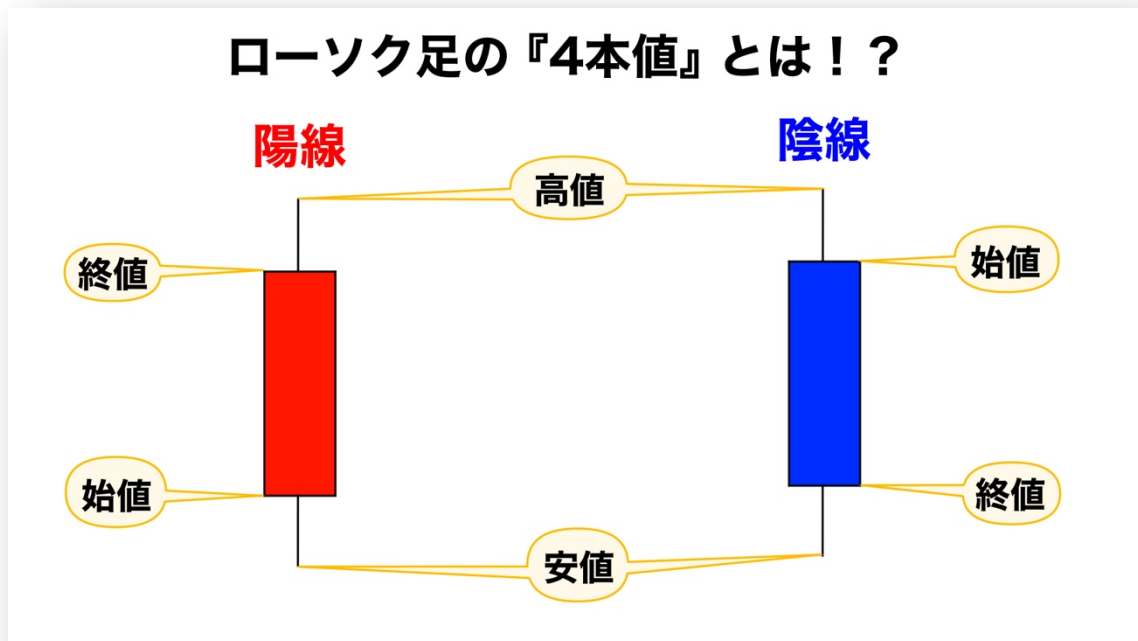
一定期間で、最も安い価格

③ 高値（たかね）

一定期間で、最も高い価格

④ 終値（おわりね）

一定期間で、最後についての価格



始値よりも終値の方が高いローソク足を『陽線』

始値よりも終値の方が低いローソク足を『陰線』

と呼びます。

始値から終値にかけて上昇している場合は陽線で

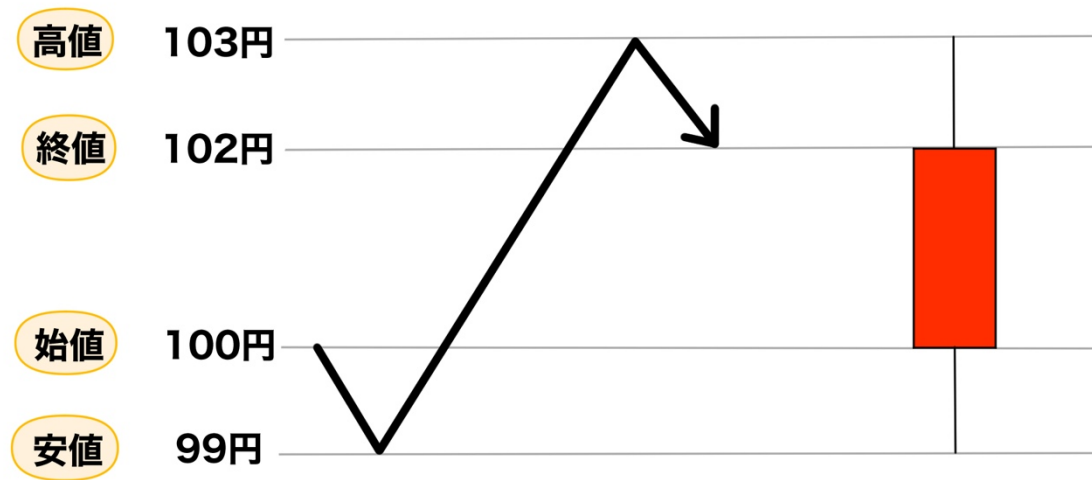
始値から終値にかけて下落している場合は陰線です。

例えば・・・

○陽線のローソク足

ある一定期間のローソク足で、100 円で始まり、価格が 99 円まで下がりました。その後、103 円まで上昇し、102 円で終わったとします。

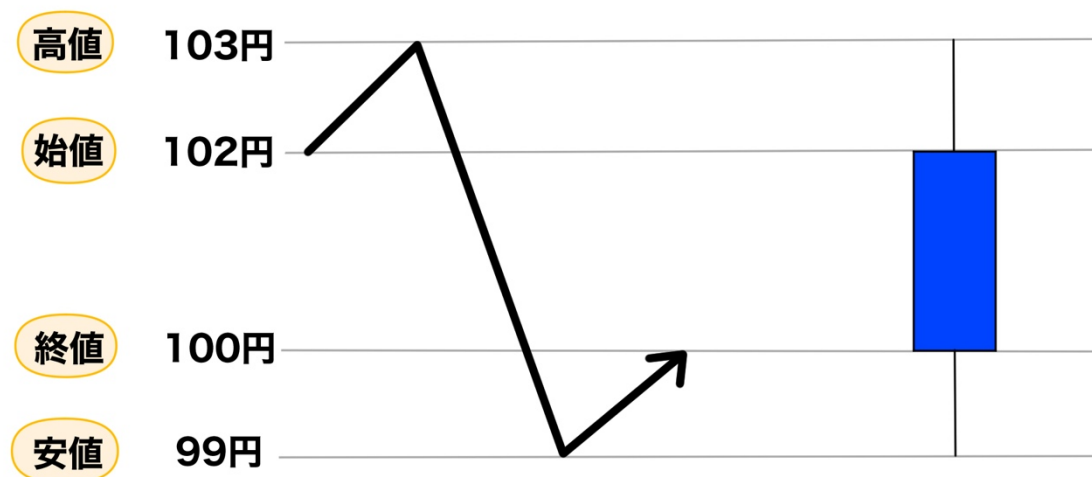
陽線のローソク足



○陰線のローソク足

ある一定期間のローソク足で、102 円で始まり、価格が 103 円まで上昇しました。その後、99 円まで下落し、100 円で終わったとします。

陰線のローソク足



ローソク足は、

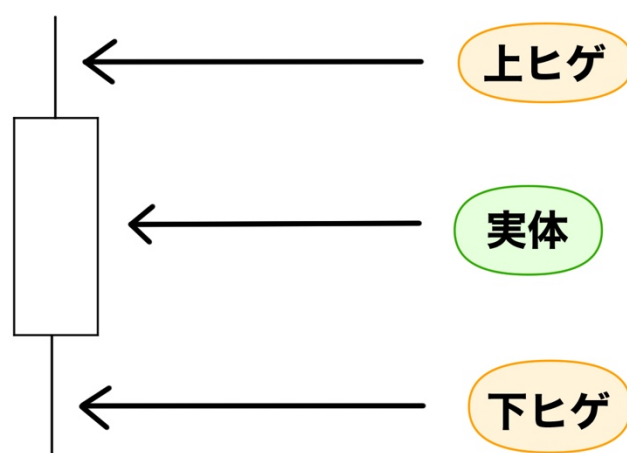
始値と終値に囲まれた部分の『実体』と
上下にある線の『ヒゲ』から作られています。

- ・ 上のヒゲを『上ヒゲ』
- ・ 下のヒゲを『下ヒゲ』

と呼び、

ヒゲは『価格の到達』を意味します。

ローソク足は『実体』と『ヒゲ』から構成されます



まず先に、

『1本』のローソク足の意味を
ここで理解して下さい。

次は、『2本』のローソク足の話をしてします・・・

ローソク足が『2本』並んだ時の解読法は、4パターンだけ！

1本のローソク足の意味を理解したら

次は、2本のローソク足の意味を理解しましょう。

2本のローソク足の組み合わせは 『4パターン』だけです。

この4パターンが

複数本のローソク足が並んだ時の『値動き』を見る
土台の基本になります。

今から4つのパターンを図で示していきます。

ここではローソク足に色はつけていませんが

陽線だろうと、陰線だろうと、関係はありません。

なぜなら・・・

前のローソク足の高値・安値と
次のローソク足の高値・安値の
『関係性』が重要だから

です。

まずは、ここで『ローソク足』を見る時は、

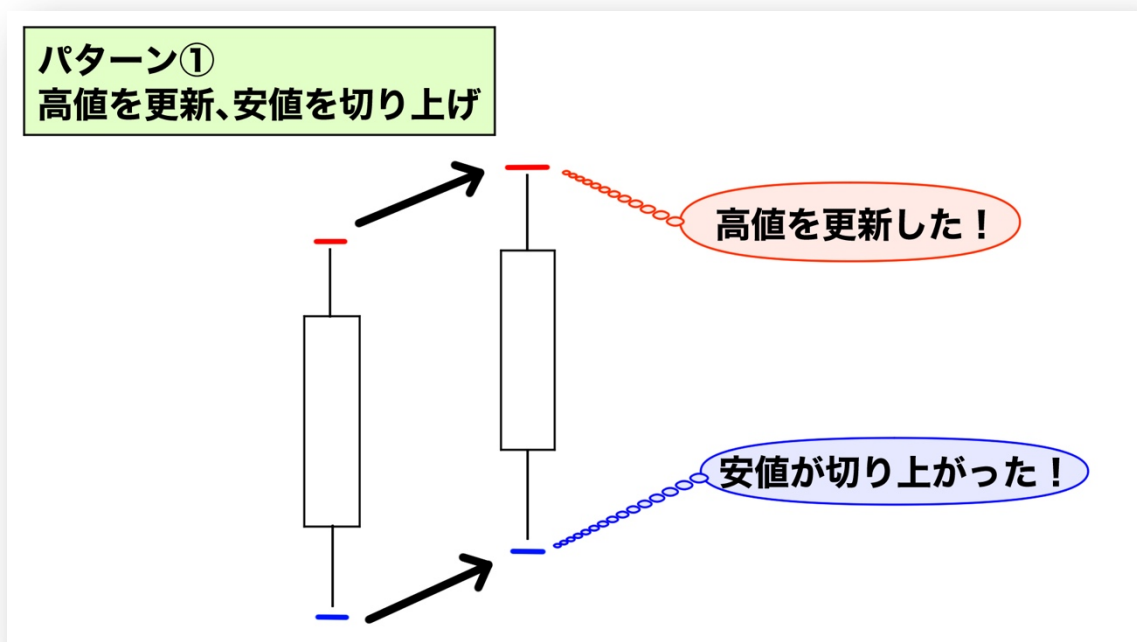
高値と安値に注目するのが大事

ということを覚えて下さい。

パターン①

前のローソク足に対して
高値更新、安値切り上げ。

値動きは『上昇』の動きを示します。



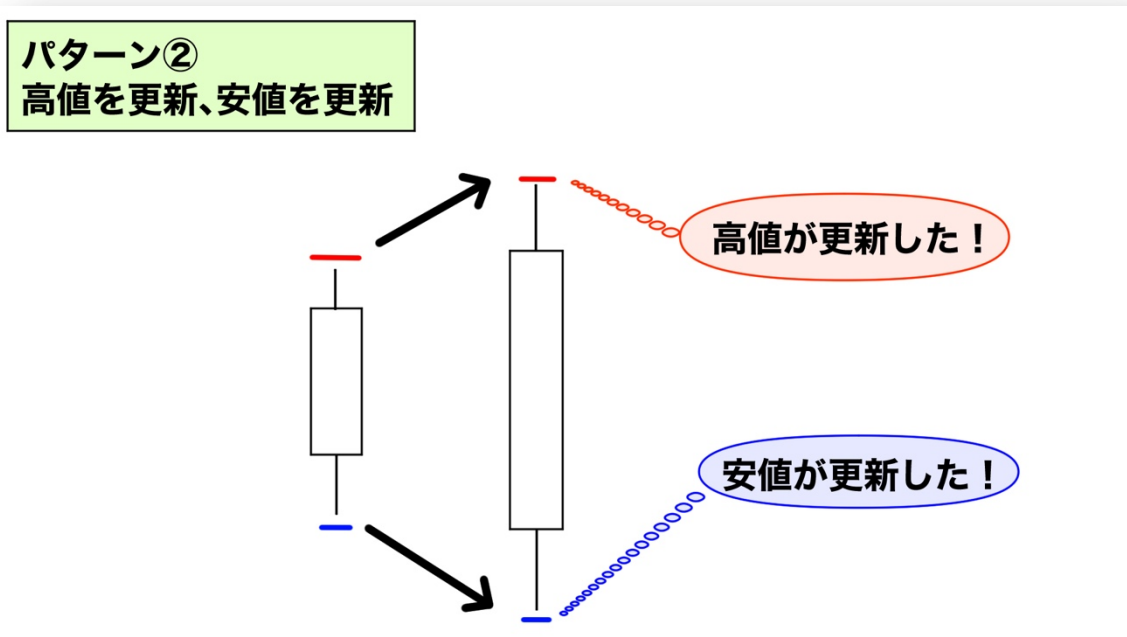
パターン②

前のローソク足に対して
高値更新し、安値も更新。

高値を更新して、上昇の動きを示しつつも
安値も更新しているので、下落の動きも示しています。

つまり、上がるのか、下がるのか・・・

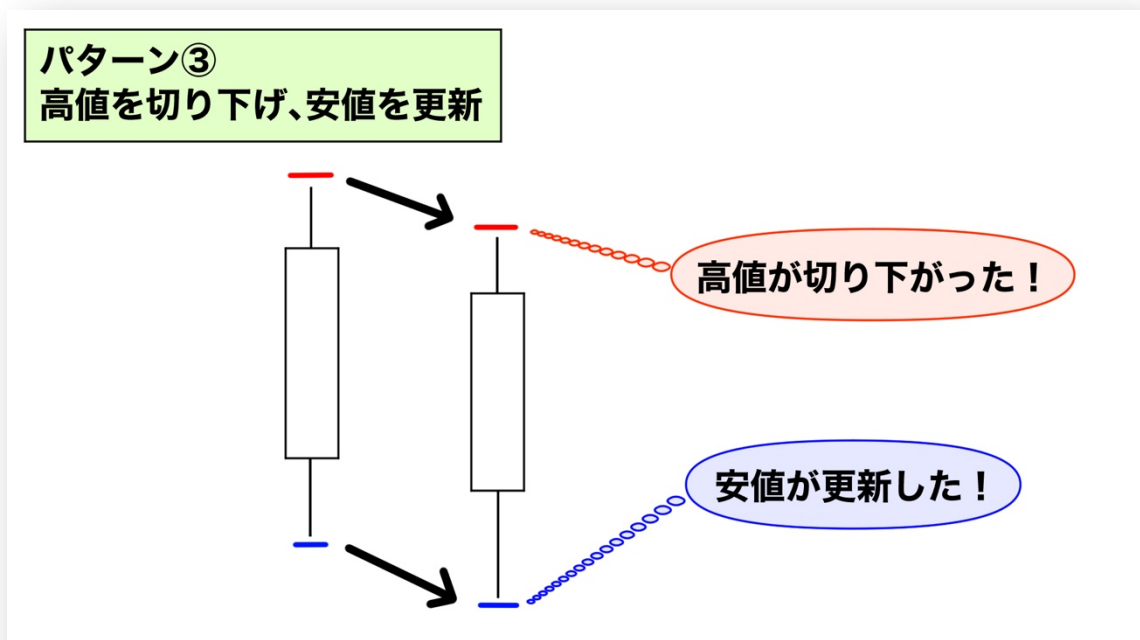
どちらに動くのかは次のローソク足が
さらに上下のどちらかを抜けないと
分かりません。



パターン③

前のローソク足に対して
高値を切り下げ、安値を更新。

値動きは『下落』の動きを示します。

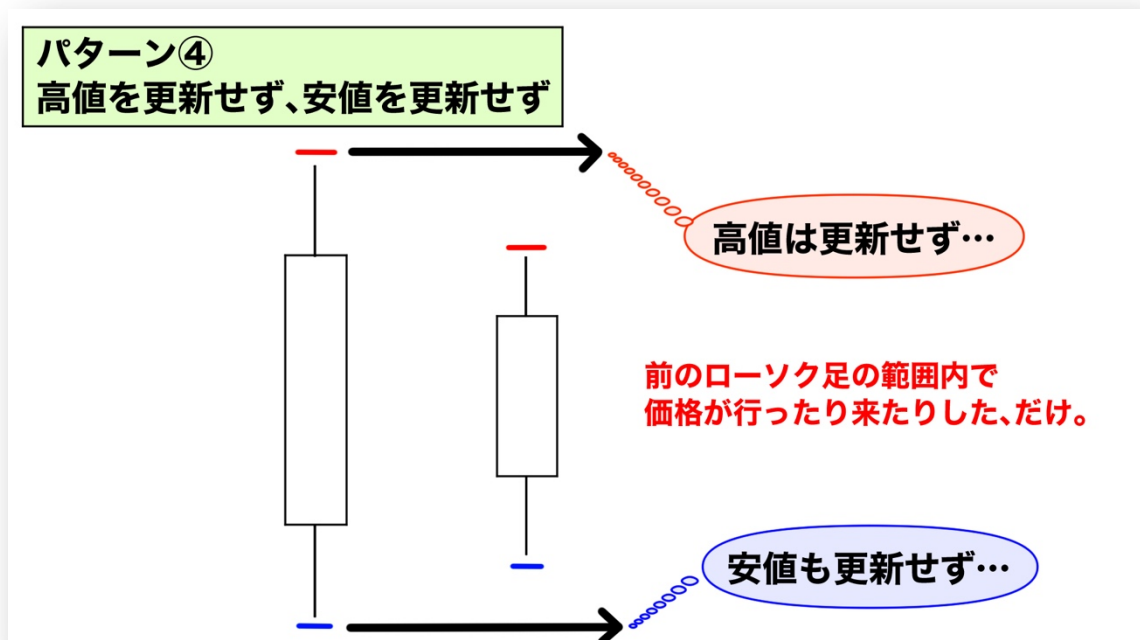


パターン④

前のローソク足に対して
高値を更新せず、安値も更新せず。

前のローソク足の範囲内で価格が動いていて、

前のローソク足の
高値か安値を更新しないと、
価格に動きが出ません。



一旦、まとめましょう。

パターン①

前のローソク足に対して

高値だけを更新していれば、上昇の可能性が高くなります。

パターン③

前のローソク足に対して

安値だけを更新していれば、下落の可能性が高くなります。

このパターン①と③は

ローソク足の陽線・陰線に関係なく

今後の価格が動く方向が示されています。

その一方で・・・

パターン②

高値と安値の両方が

前のローソク足の高値と安値を超える場合は、

値動きが上下に拡大しただけで

価格が動く方向は分かりません。

ここで、

「陰線が出たから下だ！」

「陽線が出たから上だ！」

と考えるのは、アセリ過ぎてモンで・・・

今、話した通り、次のローソク足が

パターン①か③にならない限り、

先の値動きは推測できないのです。

そして最後のパターン④は、

前のローソク足の高値も超えず、安値も超えないので、

結局は、

前のローソク足の高値と安値の間で
価格が推移していることになります。

ということは？

この2本目のローソク足に意味はなく
前のローソク足の高値か安値を、

- ・パターン①『上昇を示す』
- ・パターン③『下落を示す』

の、どちらかで超えるのを待つ必要があるのです。

．．．

いいですか？

何となく『イメージ』は持てましたか？

ローソク足が2本並ぶだけでも
いろんな情報を読み取ることが
できるのです…

が、

実際のチャートでは
無限のローソク足が連なっていきます。

それでは『実践篇』スタートです！

ローソク足がたくさん並んだら？『高値』と『安値』の見つけ方！

ここまでは、

比較的シンプルなローソク足の動きを例に
4本値をしっかりと確認することの大切さをお伝えしました。

ローソク足が2本以上になると
値動きから今後の予測がしやすくなるのです。

ここからは、

相場の流れの中の 『高値』と『安値』に注目する

ことを考えていきます。

これはローソク足の高値と安値を
4本値でチェックすることの次の段階で
ローソク足の本数を束で考えていきます。

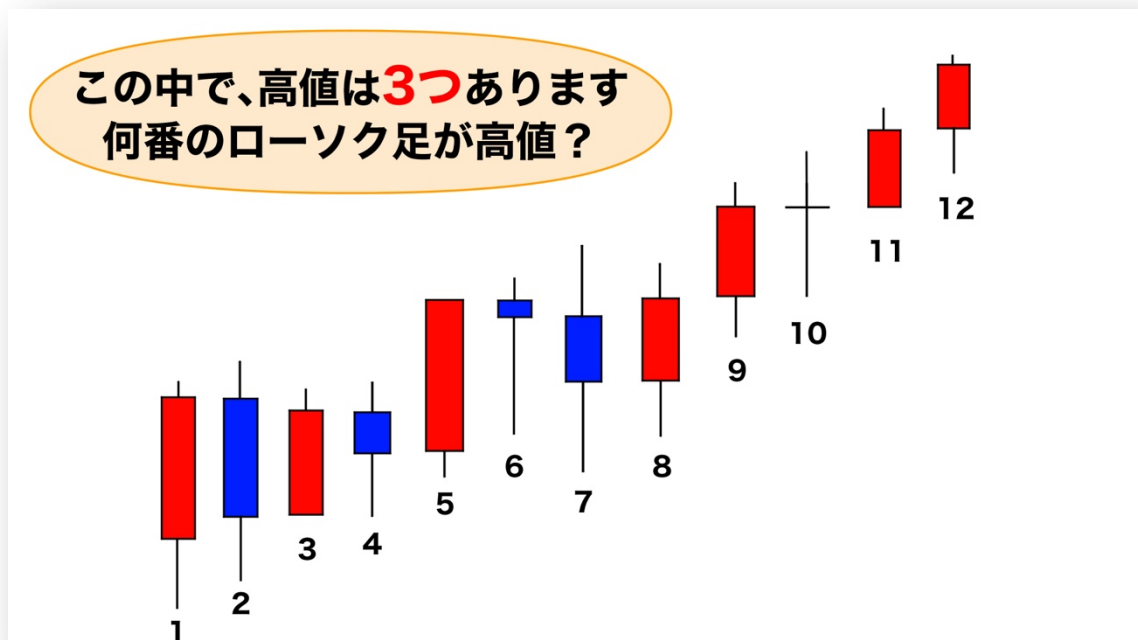
こうすることによって
相場の流れの中の節目となる
高値と安値が見えてきます。

トレードをしていく上で
高値と安値を把握することは
かなり重要なところです。

では・・・

これから実際に図を使って
解説していきます。

高値が3つ。さて、どこでしょうか？



まずは上の図を見て下さい。

チャートは徐々に上昇していますが
この中で高値は『3つ』しかありません。

ローソク足が並ぶ中で

『高値』となるのは
前後のローソク足の高値よりも高いもの
です。

最初は、何となくで全然イイので
ちょっとだけ考えてみて下さい。

・・・では解説です。

『高値が3つしかない』

ということは、

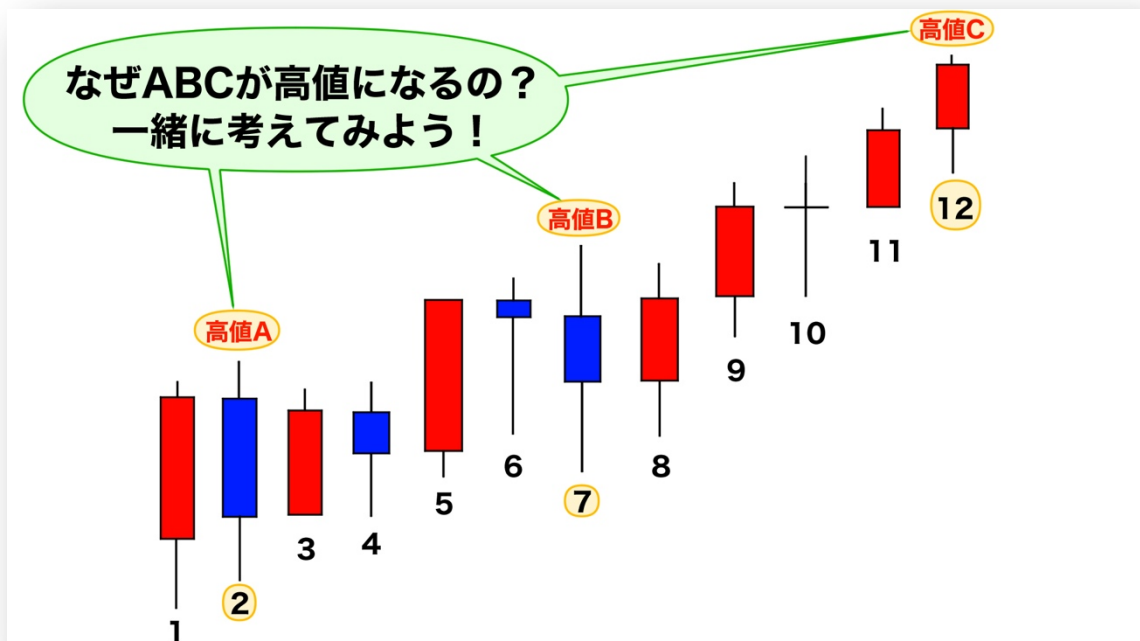
『高値をつけた後の足が、前足の高値を超えていない場面がある』

ということです。

では、答え合わせをしていきます。

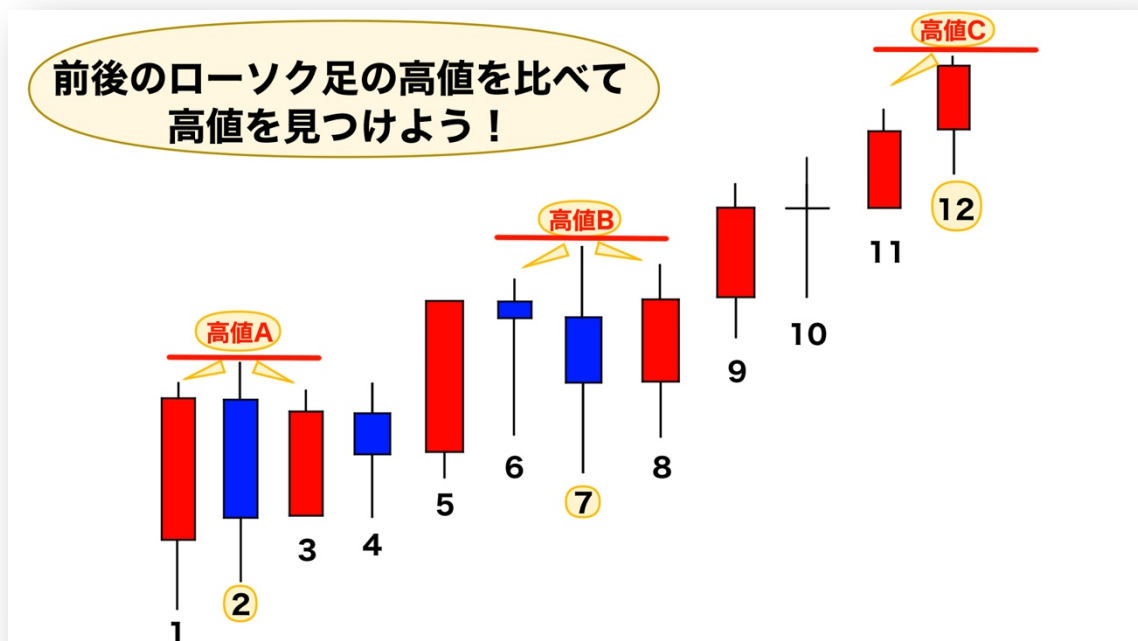
先ほどの問題である、

相場の流れの中にある3つの高値は
下の図のABCでした。



『2足』『7足』『12足』の3つのローソク足の高値が
この一連の上昇トレンドの中にある節目となる高値です。

では、1つ1つ流れを見ていきましょう。



左側（過去）から見ていくと・・・

1 足からスタートして

2 足は高値を更新し安値を切り上げています。

そして3 足は、2 足の高値を更新していません。

この時点で2 足が最初の高値となります。

3 足は、2 足の高値と安値の間で推移しています。

つまり前で説明した前足の範囲内での動きだったパターン④と同じです。

4 足は、3 足の高値を更新して上昇しますが、2 足の高値を超えていません。

このため4 足の時点でも、まだ2 足が高値となります。

そして5 足が、A の高値を上抜けします。

では5 足が2 つ目の高値か？…というところ、6 足が5 足の高値を超えます。

つまり5 足と6 足は一体として上昇する動きなので

5 足は、6 足が5 足の高値を更新した時点で

この12 本の中では2 番目の高値とはなりません。

そして更に 7 足は、6 足の高値を更新し
5 足から 7 足まで上昇が続きます。

しかし 8 足の高値は、7 足の高値を超えていません
この時点で、7 足の高値が 2 つ目の高値 B として確定します。

B の高値は
9 足が高値を更新して一時的に 3 つ目の高値となります。

ただし、ここでも次の 10 足は、9 足の高値を超える動きとなり
9 足は 3 つ目の高値になりません。

この更新の動きが、その後 12 足まで続き
このチャートでは 12 足が最後なので、C が 3 つ目の高値となります。

高値を見つけるポイントは 前後のローソク足よりも高いものだけ

です。

ちなみに安値の見つけ方も
今お話した理屈と同じです。

つまり？

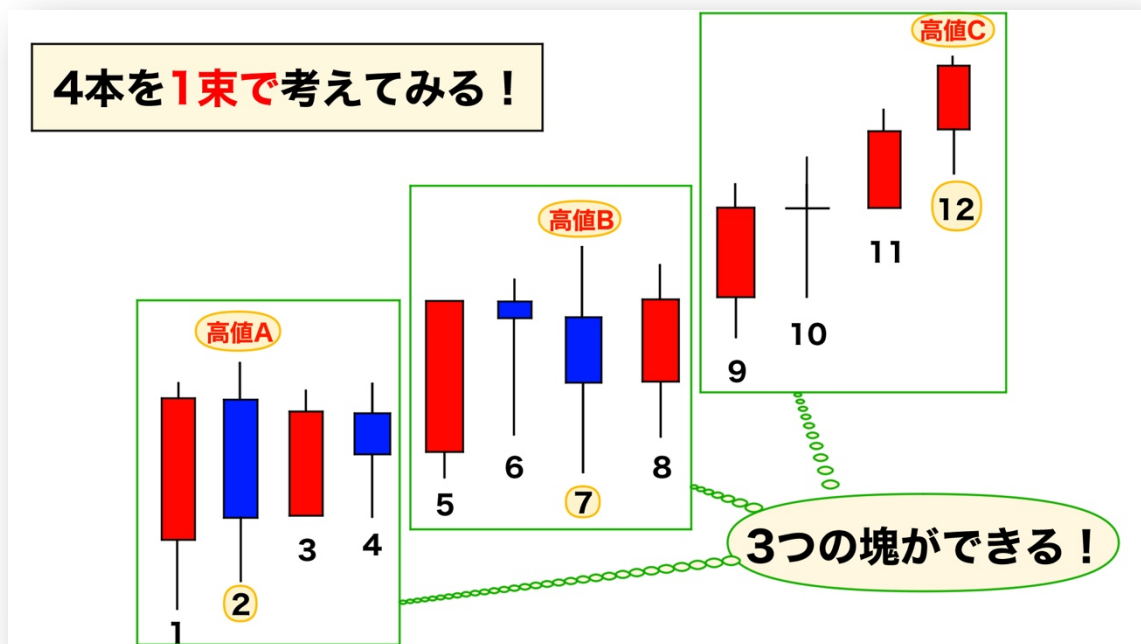
安値を見つけるポイントは
『前後のローソク足よりも安いものだけ』

…ということです。

この感覚を
まずは体に叩き込んで下さい。

ではここで、もう 1 つの視点をお伝えします。

ローソク足を『束で見る』と
より長い時間軸も同時に確認できる



たった今、12本のローソク足を例に出して
この中に『高値は3つしかない』とお伝えしました。

チャートを見る上では
このような流れの中にある
高値（または安値）が大事。

そして、

高値や安値に注目すると
時間軸も自在にコントロールできる

という感覚を掴んで下さい。

例えば、

先ほど例に出した 12 本のローソク足が
仮に 1 時間足だとすると、

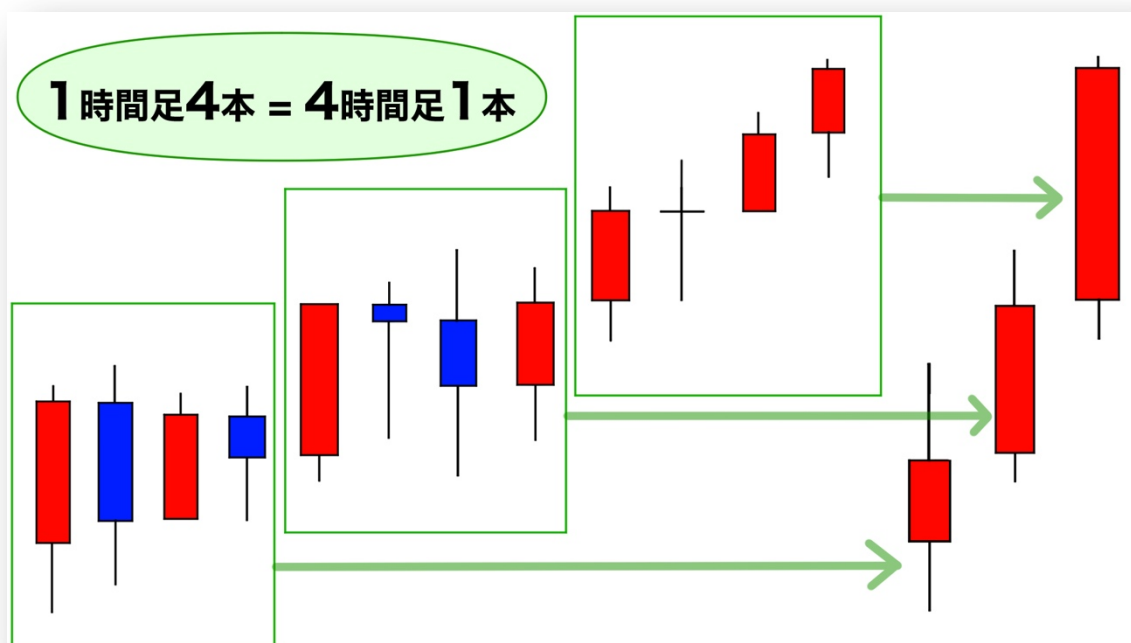
『4 本ずつ束ねる』ということは
この 1 つの束が 4 時間足ということになります。

そこで高値 ABC の束を、

- ・それぞれ最初の 1 本目の始値
- ・4 本の中の高値と安値
- ・最後の 4 本目の終値

…でまとめると、

下の図のような
3 本の 4 時間足のローソク足にすることができます。



ローソク足を合体させると 『上位足』のローソク足になる

ということです。

このように、

1時間足 4本を
『1本のローソク足』にまとめると
4時間足では陽線が3本続いており、

いずれも高値を更新して
上昇していることが分かります。

大きな足で理解することによって、
一時的な値動きのノイズも
気にならなくなります。

今回の例では・・・

仮に、ローソク足が1時間足だったとして
たまたま『4本ごとに高値があった』ので
4時間足として考えるのが分かりやすかった…

…のですが、

元のローソク足が日足かもしれないし
元が15分足ということもあるでしょう。

いずれにせよ、

流れの中で高値をチェックすることは
より大きな時間軸の流れを意識する
ことになるワケです。

要するに、

流れの中の高値と安値に注目すると
より長い時間軸の方向感や値動きを
見ることもできる

のです。

これはトレードをする上では
かなり重要な視点になります。

ここで覚えておきましょう。

そして、

FX で利益をアゲていくためには
『値動きに従っていく』必要がある

ということも
合わせて覚えて下さい。

では、

どうやって値動きに従っていくのか？

その話をしていきます。

値動きのメカニズム、買い手と売り手のドロドロした欲望とは！？

例えば、

あなたが『宝石屋さん』だとします。

売り手（宝石屋）であれば
より高い値段で宝石を売りたいのです。

より安い値段で石を仕入れて
より高い値段でお客さんに買ってもらいたい。

逆に、買い手（お客さん）であれば
より安い値段で宝石を買いたいと思いますよね。

・ 売り手が、より高い値段で売りたい

・ 買い手が、より安い値段で買いたい

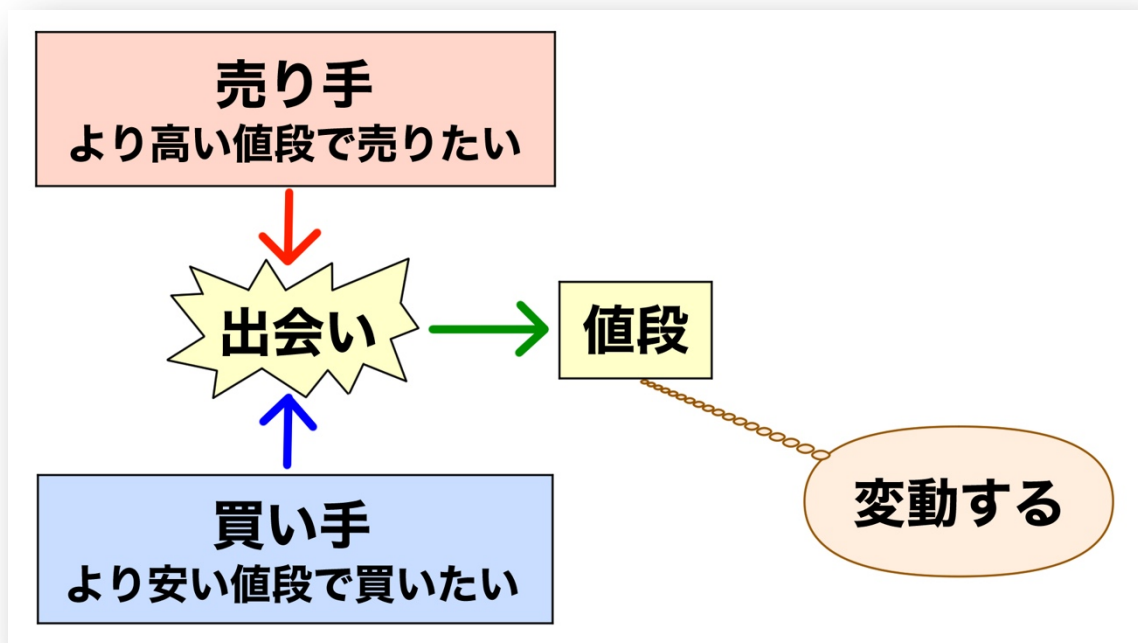
ここで折り合いがつく局面
相場では『出会い』と表現する

のですが、

相場の世界でも同じように売り手と買い手がいて
お互いの値段が合致した出会いというのがあって
通貨の価格が決まります。

これが繰り返されることによって
値動きが生まれ、相場のレートが決まっていくのです。

そして、レート（値段）は
波を打ちながら変動していくのです。



では、

値段は、なぜ変動するのか？

ここで『値引き競争』をイメージして下さい。

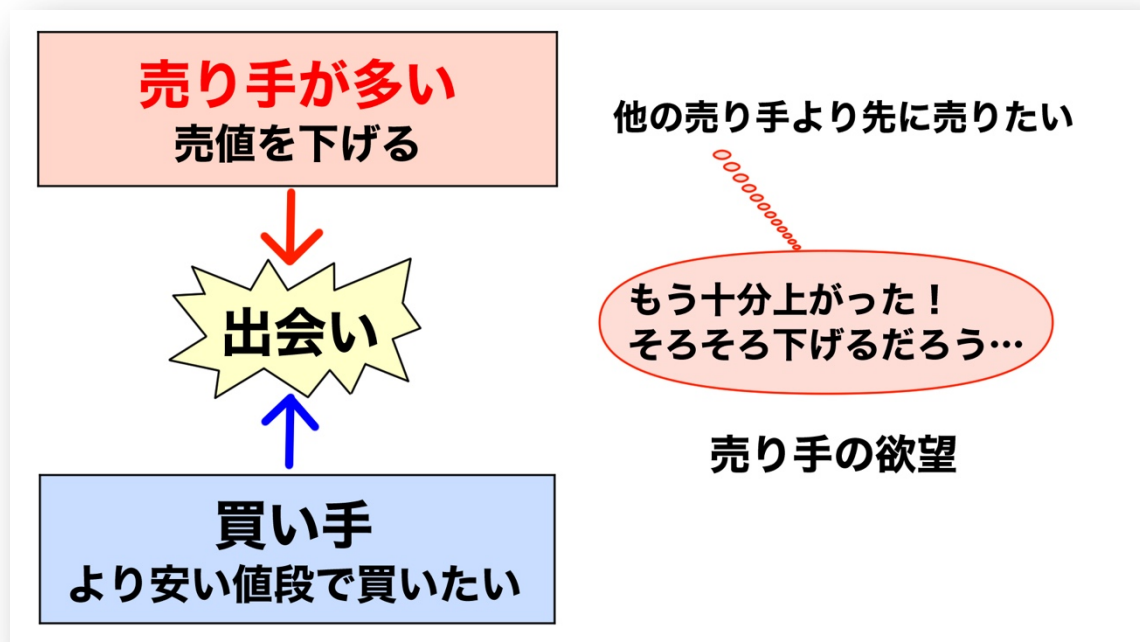
当然、売り手が増えてくると
より安い方が『先に』売れてしまうため
他の売り手より『先に』売りたいと考えます。

売り手が多いと
他の人よりも先に売らなければ
自分は売れ残りを持つことになってしまうから。

相場の場合
売り手は少しでも値段が上がったら
売れ残りにならないよう
そこで売らなければいけない。

つまり、

売り手は『少しでも高く売りたい』
という欲望を持っているのです。



売り手が増えてくれば競争が起こるため
値段が、じわじわ下がっていきます。

では逆に
買い手が多くなるとどうなるでしょうか？

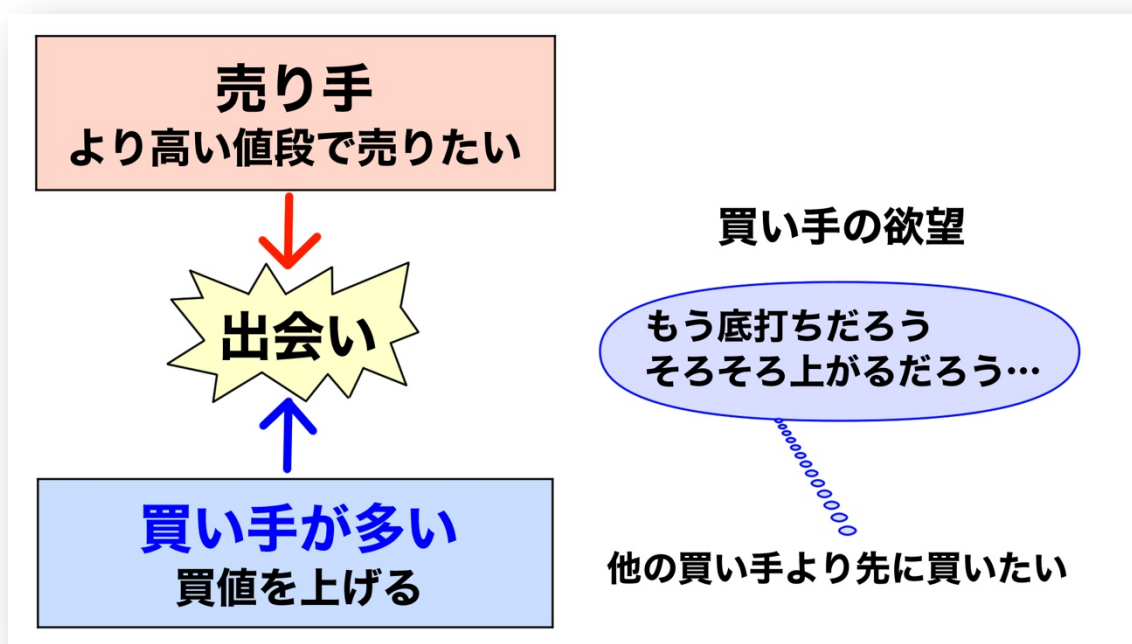
例えば、品質も良く数も限られている物であれば
他の人よりも先に買いたい、

でなければ値段が上がっていってしまうから。

そろそろ、もう下がらないなと思ったら
相場の場合、他よりも早く買わなければ
値段がどんどん上がっていってしまう。

相場は、上がったたり下がったりなので
「底を打った、それ以上下がらない」
と思ったら、買いに回る人が増えていきます。

自分が利益を取ろう
という欲望がここでも働いています。



スゴく単純な話で、

売り手が増えれば値段は下がっていき
買い手が増えれば値段は上がっていく

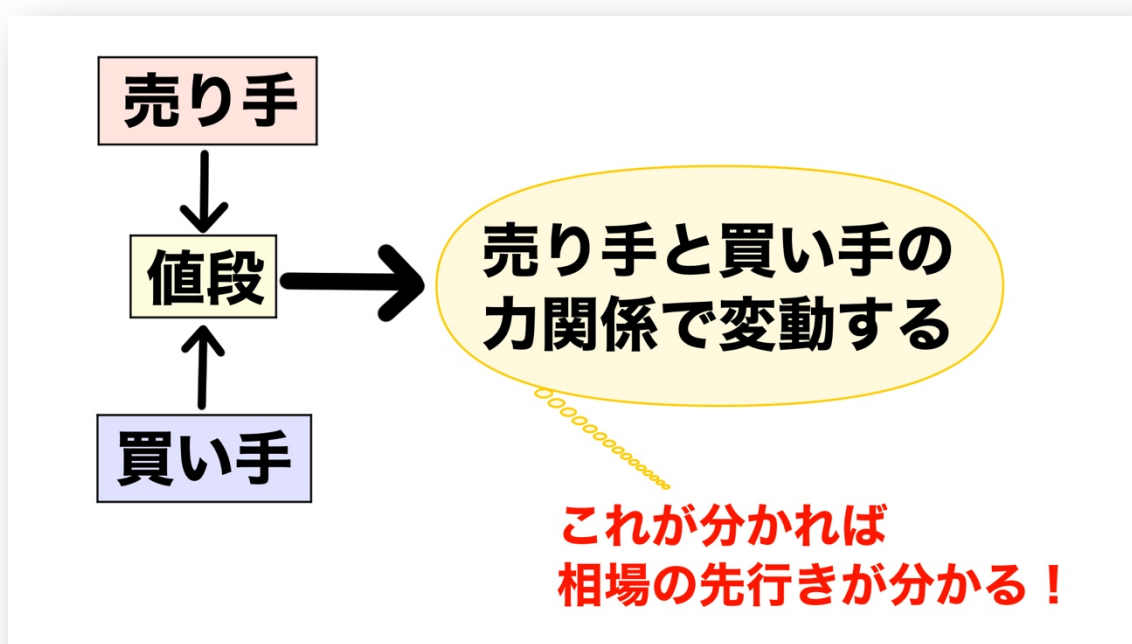
つまり？

『売り手』と『買い手』の力関係で
相場は変動していくのです。

相場の価格変動は
世の中の値段の変動と同じなのです。

ビジネス（商売）の話だと当たり前のことが
相場になった途端に忘れてしまう人が多い、

ぜひ、チャートを見ている時に
この内容を忘れないようにして下さい。



要するに、

『値動きに従っていく』ためには
売り手と買い手の力関係に注目する

必要があるのです。

そして・・・

では、

『売り手』と『買い手』が
どのように作用し合っているのか？

どこでバランスを取っていたり
どこで力関係が変わっていくのか？

これが相場の流れが変わる場所です。

ココが大事なんです。

ココが分かると・・・

そこまで上がっていた相場が
そこから下落に転じる、

あるいは、

下げていた相場が
そこから上昇に転じる。

だから、FX トレーダーたちは
この場所をみんな探しています。

そして、

ここで特に重要になってくるのが
『高値』と『安値』なのです。

なぜ、高値と安値が重要なのか？

なぜなら、

『高値』と『安値』この2つが
値段が反転する場所になり得る

からです。

で、

もう既に、ローソク足の説明をしたので
お分かりだと思いますが、

高値は、前の高値を超えていかない限り
相場は絶対に上昇しません。

安値は、前の安値を下抜けない限り
相場は絶対に下落しません。

その値段を超えていくことが
上昇や下落なワケです。

絶対のない相場の世界で
『唯一の絶対』が1つだけある

それが、

高値を超えない＝絶対に上昇しない
安値を超えない＝絶対に下落しない

という絶対です。

いいですか？

例えば

「ここから上がるだろう」

「ここから上がって欲しい」

という、

あなたの欲望や予想、都合ではなく

『相場の値動き』という事実。

つまり、

『あなた以外の FX トレーダーたちが
何をやっているのか？』これに従う

ことが、とても大事で、

これこそが『値動きに従う』

という意味なのです。

そのために相場の

高値と安値を把握することが

最初の基本になってくるのです。

そして・・・

『高値』と『安値』を超える場所が
相場が動く場所になる

のです。

絶対必須の知識『ダウ理論』は、テクニカル分析の親玉だ！

ダウ理論は、

相場の世界で最も有名な理論です。

トレーダーで知らない人はいない
と言っても過言ではありません。

ダウ理論を理解することで
トレンドの定義が分かります。

FX をする上で『ダウ理論』は
絶対に必要になる知識です。

ダウ理論 6つの基本原則

- ① 価格はすべての事象を織り込む
- ②トレンドは短期・中期・長期の3つに分類される
- ③ 主要なトレンドは3つの段階から形成される
- ④ 価格は相互に確認される必要がある
- ⑤トレンドは出来高でも確認される必要がある
- ⑥トレンドは明確な転換シグナルが出るまで継続する

まず、

一般的には、このように説明されます。

このうち、FXにおいて最も重要なのが、

トレンドは明確な転換シグナルが出るまで継続する

というものです。

例えば

ニュースやネット上などで

「ダウ理論が～」

「ダウ理論的には～」

などと

『ダウ理論』という単語が出てきたら
まず間違いなくこの6番目を指しています。

今回は『FXで稼ぐこと』に必要な
エッセンスを重点的に説明していくので、

他の部分の説明は省略し
この6番目について掘り下げていきます。

まず最初に
ダウ理論による『トレンドの定義』です。

上昇トレンド：

高値と安値がそれぞれ切り上がる

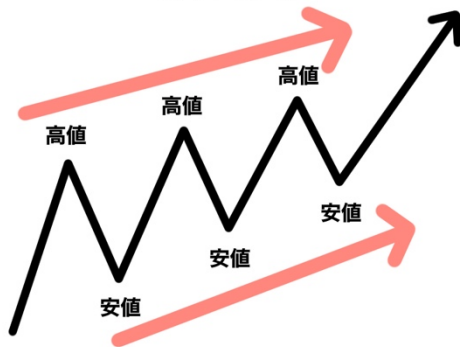
下降トレンド：

高値と安値がそれぞれ切り下がる

ダウ理論によるトレンドの定義

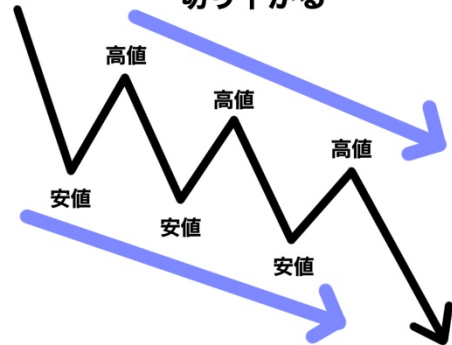
上昇トレンドの定義

高値と安値がそれぞれ
切り上がる



下降トレンドの定義

高値と安値がそれぞれ
切り下がる



これがダウ理論という
トレンドの定義になります。

よって、

チャートがこの様な形になっていたら
トレンドだということです。

逆に、

この形が崩れたら
トレンド終了の合図になります。

そして・・・

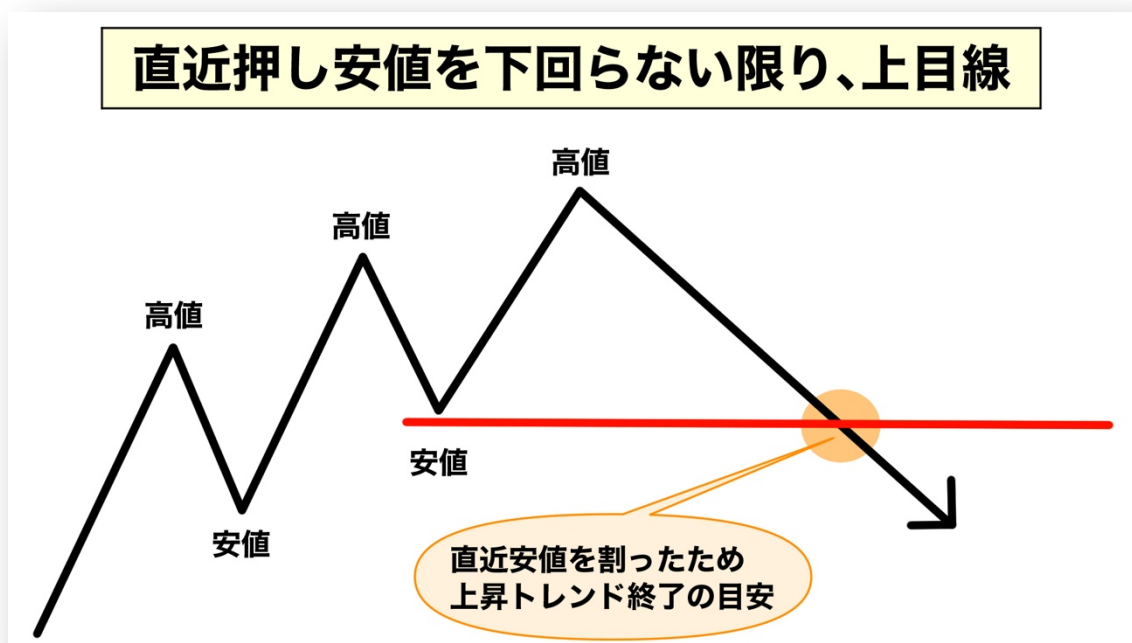
そのトレンド終了の合図を教えてくれるのが
『トレンドは明確な反転シグナルが出るまで継続する』
という原則です。

これは要するに、

直近の安値を割らない限り『上目線』
直近の高値を超えない限り『下目線』

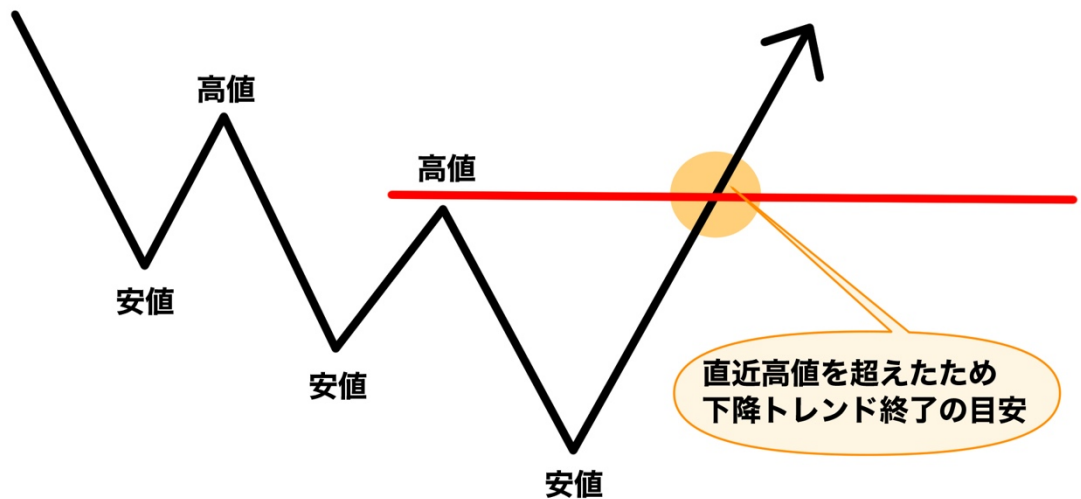
ということです。

この話を分かりやすく
図で説明していきます。



上昇トレンドだったものが
赤いラインを下に抜けたら
そこから下目線に変わっていきます。

直近戻り高値を上回らない限り、下目線



下降トレンドだったものが
赤いラインを上を抜けたら
目線は上になるのです。

...

以上がダウ理論の定義になります。

これは有名な理論のため
世界中の多くのトレーダーが意識しています。

つまり、

そこに注文や損切りが溜まりやすい

のです。

分かりやすく言うと・・・

「あっ、安値を割った！」

「目線が下に変わったぞ！」

…と世界中のトレーダーが判断する

ということです。

そのため

より一層その理論通りに相場が動くのです。

もちろん必ず

その通りに動くとは限りません。

ですが、

流れが変わる場所であることは
間違いありません。

では、

ここで、もう1つ話を先に進めて・・・

相場は『トレンド』と『レンジ』を
繰り返している

ということも覚えておきましょう。

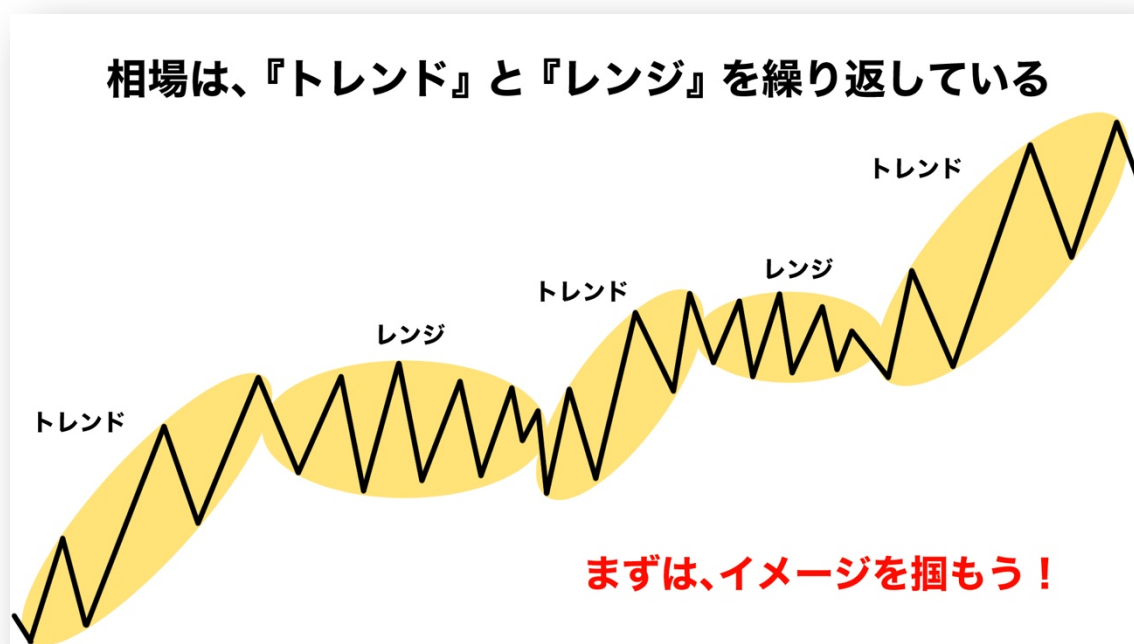
相場は『トレンド』と『レンジ』を繰り返している！

トレンドというのは
流行という意味です。

上昇トレンドであれば
買いの勢力が優勢で相場が上昇していきます。

下降トレンドであれば
売りの勢力が優勢で相場が下降していきます。

トレンドが出ておらず
上がったり下がったりして
膠着（こうちゃく）している状態がレンジです。



相場には
トレンドは続くという法則があります

なぜなら、

トレンドは景気や経済などの
ファンダメンタルズを伴っていることがほとんどで
トレンドになるべくしてなっているからです。

背景には、トレンドになる理由があるワケです。

だから、そう簡単には止まりません。

また、基本的に
機関投資家などの大口投資家は
長期投資をします。

なので、トレンドに沿って注文を入れるため
トレンドが継続する圧力になりやすいのです。

相場には トレンドとレンジの2つしかない

つまり、

『トレンド』が出ていない時が
『レンジ』なだけです。

相場全体を見ると
『トレンドが3割』で『レンジが7割』
とされています。

トレンド相場なのか？レンジ相場なのか？…によっても
効きやすいテクニカルと、そうでないテクニカルがあります。

よって今の相場が、

- ・トレンド相場なのか？
- ・レンジ相場なのか？

を見極めて、

テクニカルを
上手に使い分けることも大切になってきます。

具体的には、例えば

「トレンドだからラインをブレイクしやすい」

「レンジだからラインをブレイクする力はなく反発する可能性が高い」
などと、シナリオ判断の1つになるのです。

．．．

ここまでで、

ローソク足の話から始まって
ダウ理論の話までしてきました。

これは何度も言ってきたコトなので
「もう聞き飽きた」と感じているかもしれませんが…

本当に『高値』と『安値』が大事

なぜなら、高値と安値のラインで
相場の流れが変わる可能性が高いから。

そして、

世界中のトレーダーたちが
高値と安値のラインを意識しているのです。

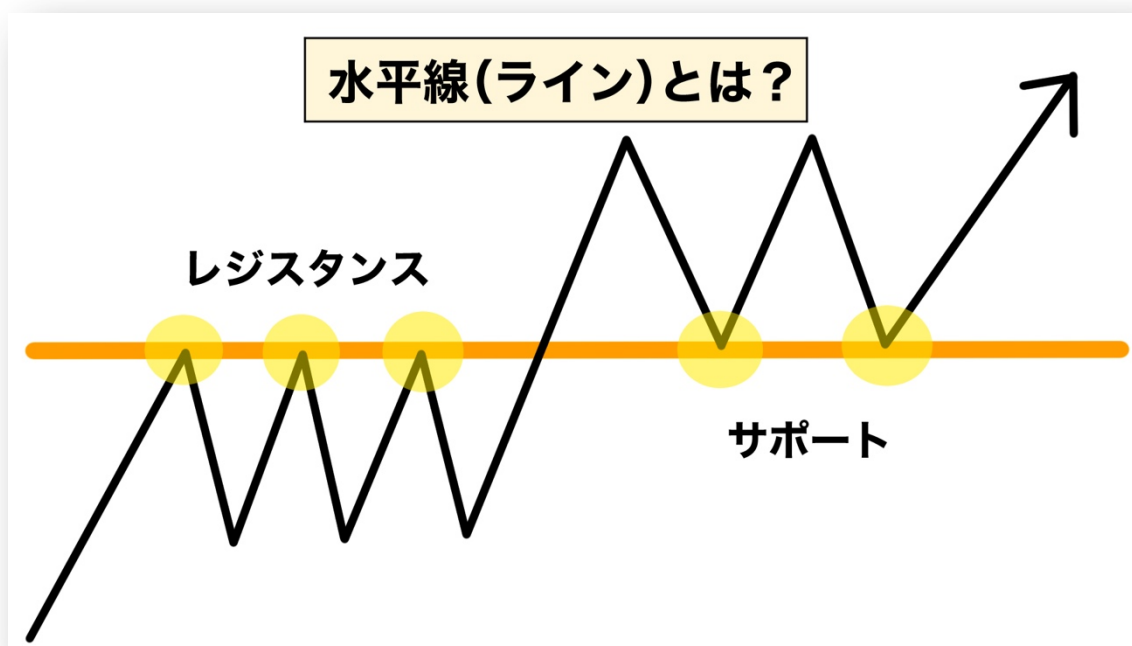
とにかく『高値』と『安値』がメチャクチャ意識されている！

相場は、高値と安値が意識されています。

その高値・安値に合わせて水平線を引く
というのはテクニカル分析の基本です。

水平線とは、横に引けるライン

のことです。



チャートは価格を表しているので
水平線を見ると、

「どの価格でマーケットが反応したのか」
「どの価格が意識されているのか」

が分かるのです。

やはり FX は通貨の売買なので、

『価格（レート）』というものは
非常に意識されます。

ニュースでも

「今日の為替相場は、1 ドル 140 円です。」

などと価格で報道されます。

特に『高値』『安値』は意識されます。

なぜなら・・・

「昨日と比べて安い。」

「今年で 1 番高い」

などと、相対的に評価されるからです。

そのため、

水平線は『高値の山』や『安値の谷』
に合わせて引きます。

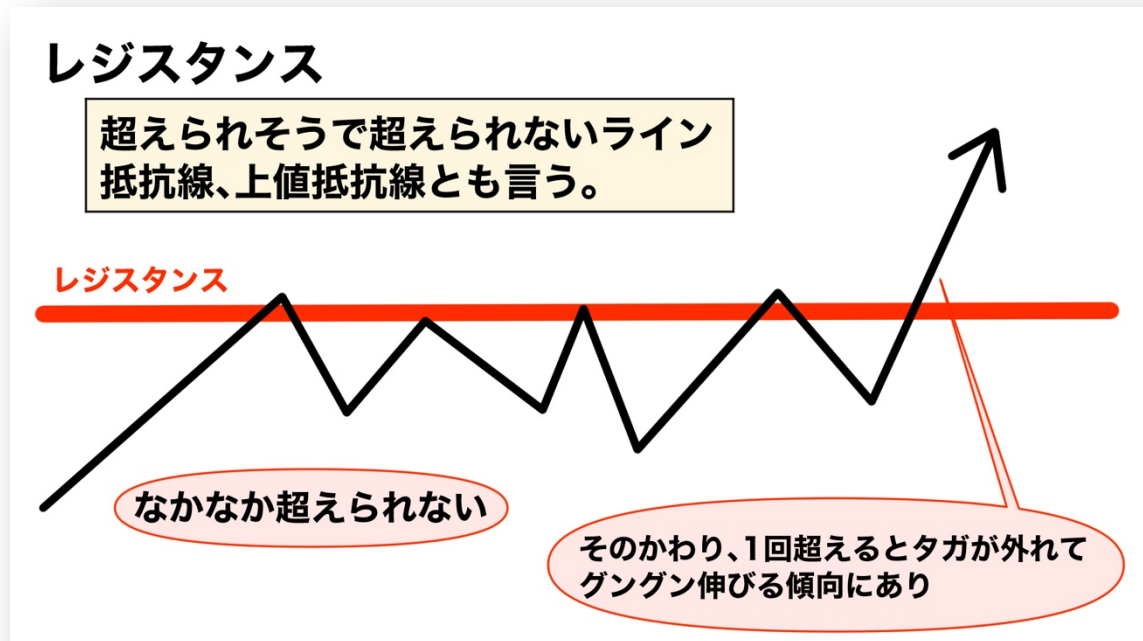
過去のチャートに水平線を引くことで
過去に意識された価格が分かります。

それにより、

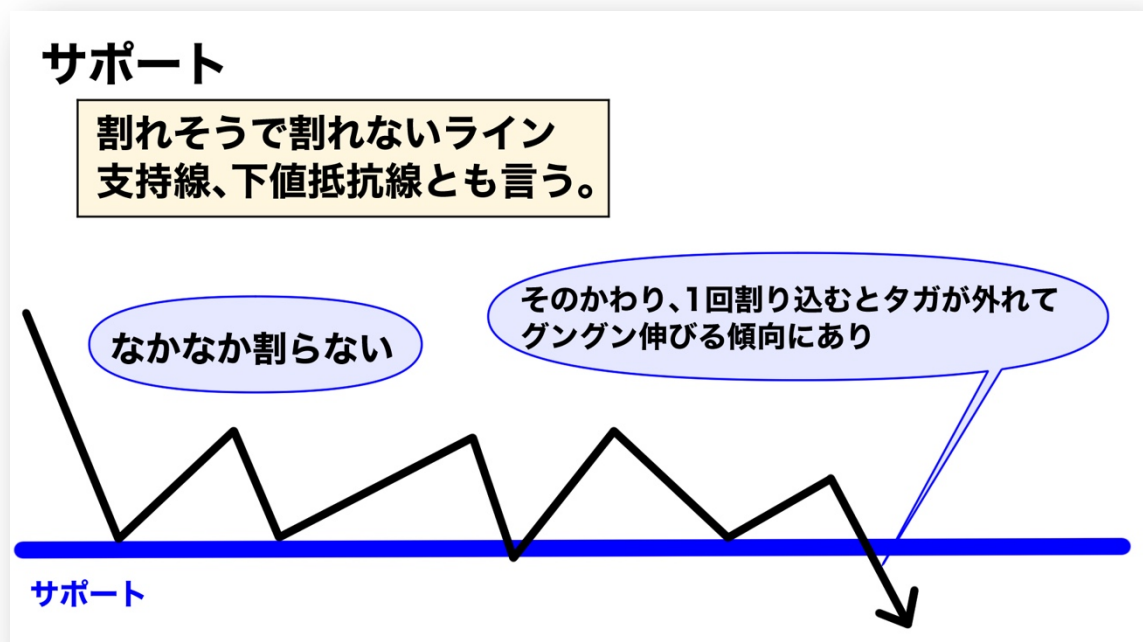
今後とも意識されるであろうことが
予測できるのです。

そして水平線には、2 つ種類があります。

・レジスタンス（上値抵抗線）



・サポート（下値支持線）



テクニカル分析は、

多くの人が意識しているほど
値動きに反映されやすくなります。

そのため水平線も
より多くの人が見ているラインの方が意識されます。

例えば、

- ・上位足で引けるライン
- ・何度も何度も反応しているライン
- ・目立つライン

が、水平線として、よく機能します。

また『140.00』や『1.00』などの
キリのいい数字（キリ番）も意識されることがあります。

水平線を引くことで
意識されている価格が見えてきます。

大切なのは、

より多くの人に
意識されているかどうか？

…ということです。

なので、より大きい時間足で引ける水平線は
より多くの人々の注目を集めているので、反応しやすいのです。

逆に、

1分足や5分足などで引ける水平線は
重要度は低いということになります。

よくFXでは
『ラインが固い』と言われることがあります。

この『固い』というのは・・・

そのラインで、何度も何度も何度も
ローソク足が跳ね返されている

というイメージから、そんな風に呼ばれています。

そして、

水平線（ライン）は
固ければ固いほど反発力が強い

加えて、

ブレイクした時の勢いも強力

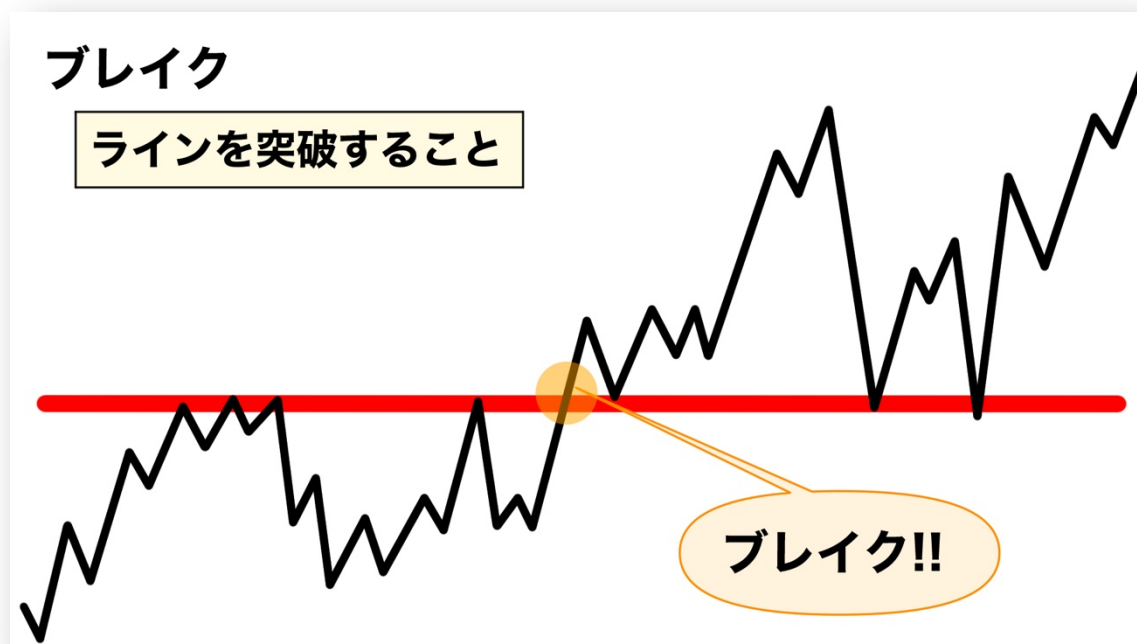
なので、トレード戦略の役に立てることができます。

では、

相場の世界では、とても重要な法則
『ラインブレイク』について解説します。

水平線（ライン）は
ある時、突破されることがあります。

それを『ブレイク』と言います。



意識されているラインであればあるほど
そのブレイクの意味は大きく
相場の流れがガラリと変わることがあります。

一般的には、

ラインをブレイクすると大きく伸びる

というのが基本の値動きになります。

・ラインをブレイクするのか？

・ラインをブレイクしないのか？

これは、

世界中の FX トレーダーたちが
注目しているシーンなので、かなり激アツです。

では、

ラインを『ブレイク』すると
なぜ、グングン伸びていくのか？

です。

まず水平線は
いつか必ず突破（ブレイク）します。

そして『ブレイク』は
損切りを巻き込んでいます。

損切りとは、反対注文です。

- ・『売り』の損切りは『買い』
- ・『買い』の損切りは『売り』

ということです。

相場が上がった時に
売っていた人たちは損切りをします。

『買い戻し』『ショートカバー』
と呼ばれることもあります。

これは『買い』なので
相場は更に上昇していきます。

逆に、相場が下がった時に
買っていた人たちは損切りをします。

これは売りなので
相場はますます下がっていきます。

このように損切り注文（ストップロス、SL）は
大体、水平線の付近に置かれていることがほとんどです。

そのため、

ブレイクすると SL にヒットして 一気に値動きが進行する

のです。

水平線トレードの極意は
この SL を狩るか、狩られるかの攻防にあります。

中途半端なところに SL を置いておくと
狙われて餌食となります。

あえて遠ざけて置いておいても
そこまで一瞬でヒゲが伸びて
狩られることすらあるのです。

このブレイクの勢いを狙って
ブレイクでエントリーするという手法もあります。

もちろん上手く乗れば
一瞬で利益が伸びますが、反発するリスクもあります。

なぜなら、

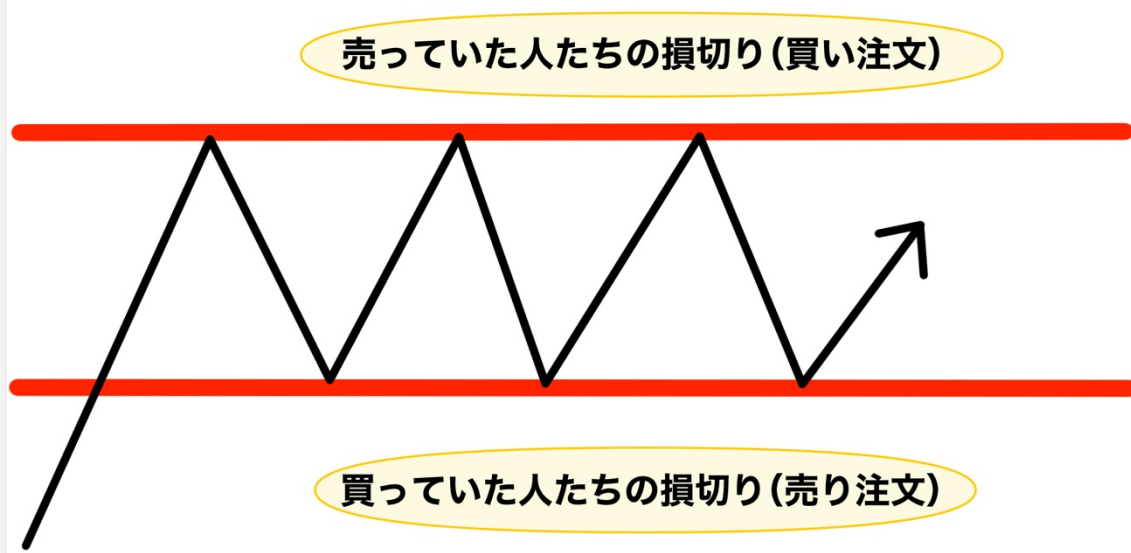
ブレイクは 損切り注文を巻き込んでいる現象

なので、

後から乗ろうと思っても
間に合わないからです。

この仕組みを分かっていると
アセって飛び乗って不利な位置で
ポジションを握ってしまうことに
繋がりますから注意が必要です。

損切りが溜まりやすい場所がある



買いは価格を上昇させ、売りは価格を下落させます
これも合わせて覚えておきましょう。

男も女もオネエも黙って『マルチタイムフレーム分析』を極めよ！

トレンドを把握するにあたって、

マルチタイムフレーム分析の考え方は
絶対に知っておく必要があります。

マルチタイムフレーム分析（MTF）とは、

複数の時間軸で相場を分析する

ということです。

チャートには

1分足、5分足、15分足、1時間足、4時間足、日足、週足、月足があります。

当然ながら、

相場は、より大きい時間軸での動きの方が
より本質的な動きだと考えることができます。

なぜなら、

上位足は『下位足の集合体』だから

です。

例えば、

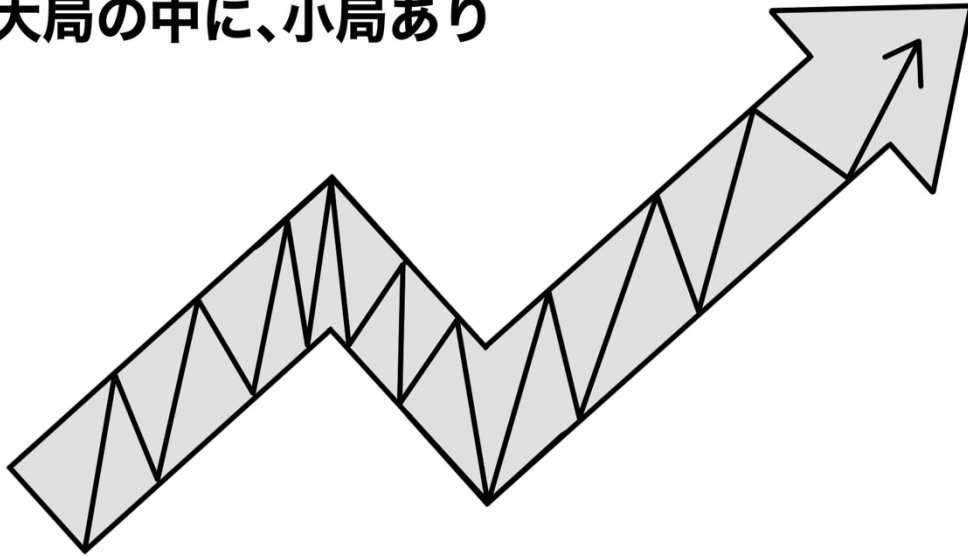
- ・5分足3つで、15分足1つ
- ・1時間足4つで、4時間足1つ

になります。

MTF 分析

=複数の時間軸で相場を分析する

大局の中に、小局あり



上の図で示した通り、

上位足の中に
下位足が内包されているのです。

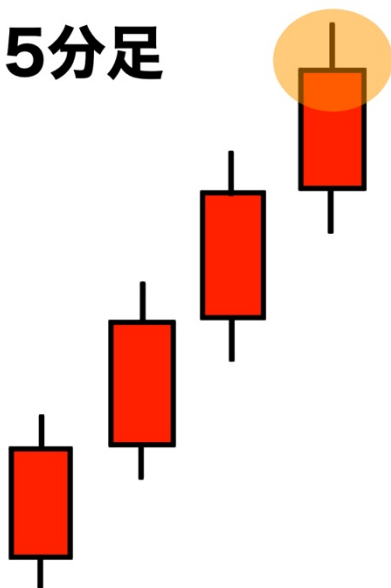
日足の中に、4時間足の値動きがあり
4時間足の中に、1時間足の値動きがあるのです。

では、次の例を出します。

マルチタイムフレーム分析をしていないと
このような値動きに巻き込まれてしまい、

思わぬ損失を被ることがあります…

15分足

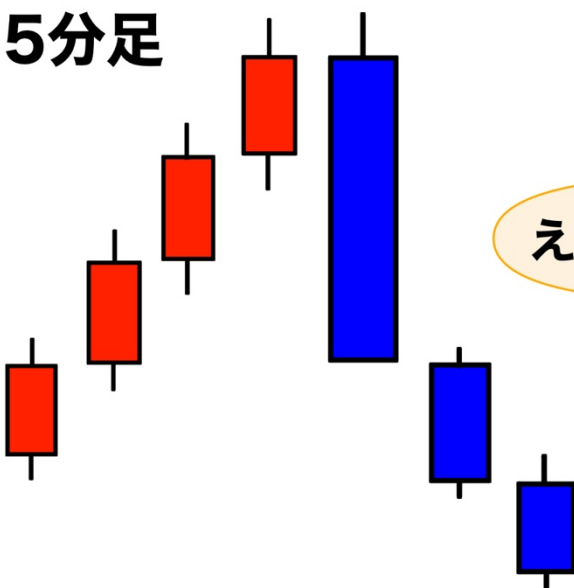


おっ、キタキタ上昇トレンドだ！
よっしゃ、買い！



ところが・・・

15分足



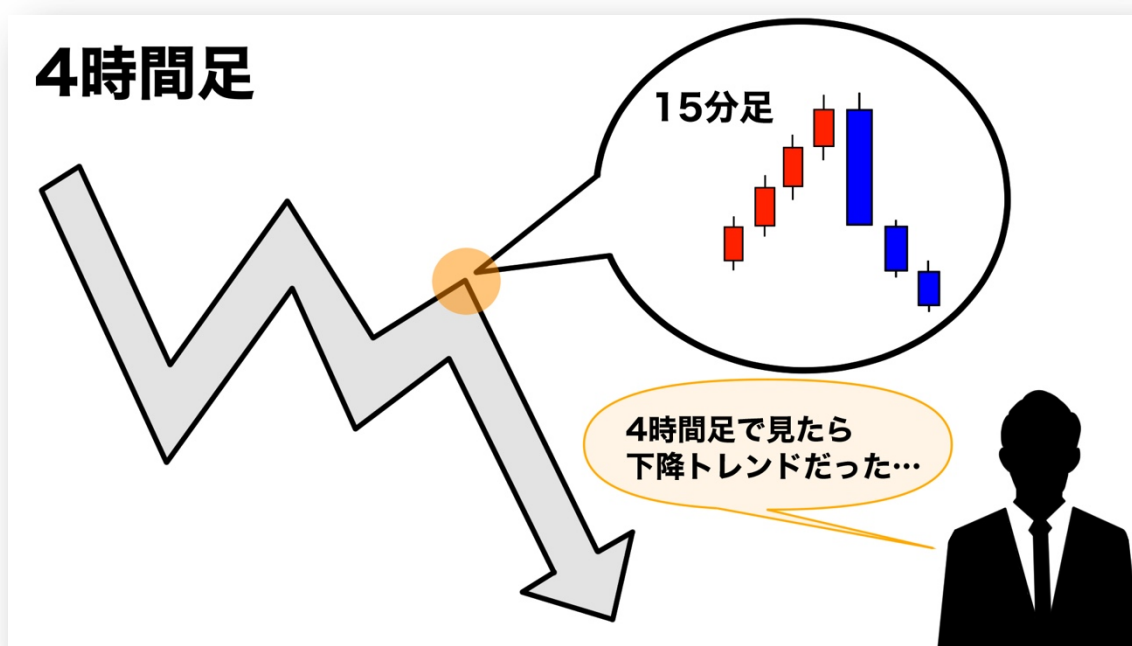
え～、どうして！？



買いでエントリーした途端に
下落が始まってしまいました。

これは 15 分足を見ているだけでは
原因は分かりません。

4 時間足を見てみましょう。



確かに、

15 分足では、上昇トレンドでしたが
4 時間足で見ると下降トレンドでした。

あくまで大きな下降トレンドの中の
小さな上昇だった・・・

ということです。

このように、

マルチタイムフレーム分析ができていないと
大局が分からないため、いつまで経っても勝てるようにはなりません。

そのため・・・

買った途端に下がって
売った途端に上がってと・・・

往復ビンタを喰らって
大きな損失を重ねてしまう原因になる

のです。

もちろん、FX は
上がるか下がるか確率は 50%
運良く勝てる時もあるでしょう。

しかし本質的な勝ちとは呼べません。

やればやるほど負けていく・・・

そういうダラシない話になってくるのです。

つまり、

FX ではマルチタイムフレーム分析が
かなり重要になってきます。

マルチタイムフレーム分析は
必ず大きい時間軸の足（上位足）から行います。

例えば、

1分足で陽線が
ガンガン数本出たとします。

ですが、これだけでは
「よっしゃ、超ド級トレンド来たー！」
と思うワケには到底いきません。

一瞬だけ大きな注文が入っただけかもしれません。
取引量が薄くて価格が飛んだだけかもしれません。

数分後には、今度は陰線がドンッ・ドンッと出現して
何事もなかったかのごとく相場が落ち着くかもしれません。

こんな出来事があったとしても・・・

1時間足や4時間足などの大きな足で見たら
ローソク足の中に埋もれてしまっていたり
ヒゲになって何もなかったことになるでしょう。

ところが、これが日足だったとして、

もしも『日足』で陽線が
グワーっと数本続けて出たとしたら

世の中の人々が注目しますし
経済ニュースにも取り上げられる

「何か理由があった」と思うのが普通です。

よって、トレンドに突入していくかもしれません。

このように、日足や週足などの、

大きい時間軸で相場を分析することで 大きい流れが分かる

のです。

まずは上位足で
大きい流れを把握することが大切なのです。

ただし、実際にトレードする時は
それよりも小さな時間軸でトレードすることが多いと思います。

なので、下位足に視線を落とし込んで、
4時間足、1時間足、15分足などの小さい流れを分析していきます。

そして、その流れから、チャンスを見つけていくのです。

このように

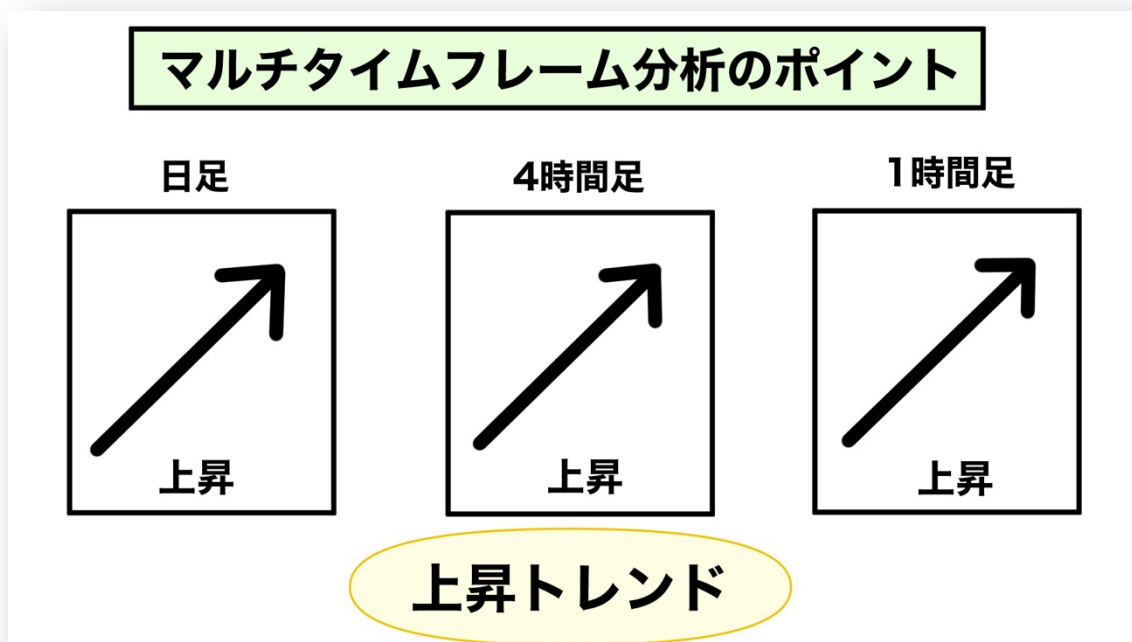
『マルチ（複数）』の『タイムフレーム（時間軸）』で分析するのが
マルチタイムフレーム分析なのです。

今、相場がどのような状況なのか？

という、

『環境認識』をするためには
このマルチタイムフレーム分析が
不可欠になってきます。

例えば、下の図をご覧ください。



- ・ 日足：上昇している
- ・ 4時間足：上昇している
- ・ 1時間足：上昇している

3つ『すべてが上昇している』とします。

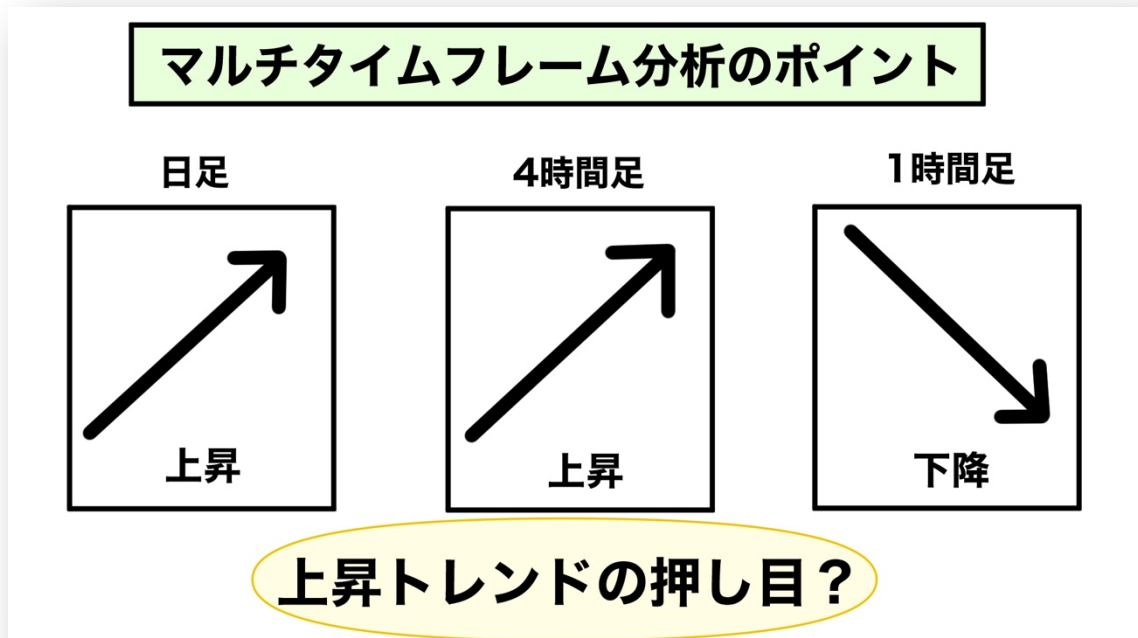
これは誰がどう見ても、上昇トレンド

です。

絶対に『買い』で勝負すべきで
『売り』はするべきではありません。

たとえ 1 時間足のトレーダーだろうが
15 分足のトレーダーだろうが同じです。

これはどうでしょうか？



- ・ 日足：上昇している
- ・ 4時間足：上昇している
- ・ 1時間足：下降している

日足は上昇、4時間足も上昇ですが、1時間足が下降しています。

大きい目線では上昇トレンドですが
小さい目線では下がっています。

これは 2 つの可能性が考えられます

- 1：上昇トレンド中の、一時的な押し目
- 2：下降トレンドの初動

ですが、これだけでは
どちらなのかは分かりません。

もしも、あなたが1時間以内に
トレードを完結させる短期トレーダーなら、

直近の下降に合わせて『売り』で
戦っても勝てる可能性があります。

ですが・・・

もっと長い時間でトレードする、

長期トレーダーの場合
『買い』で戦った方が優位性が高い

です。

このように「コレが正解！」
という答えはありません。

マルチタイムフレーム分析は
あくまで判断材料の1つでしかない

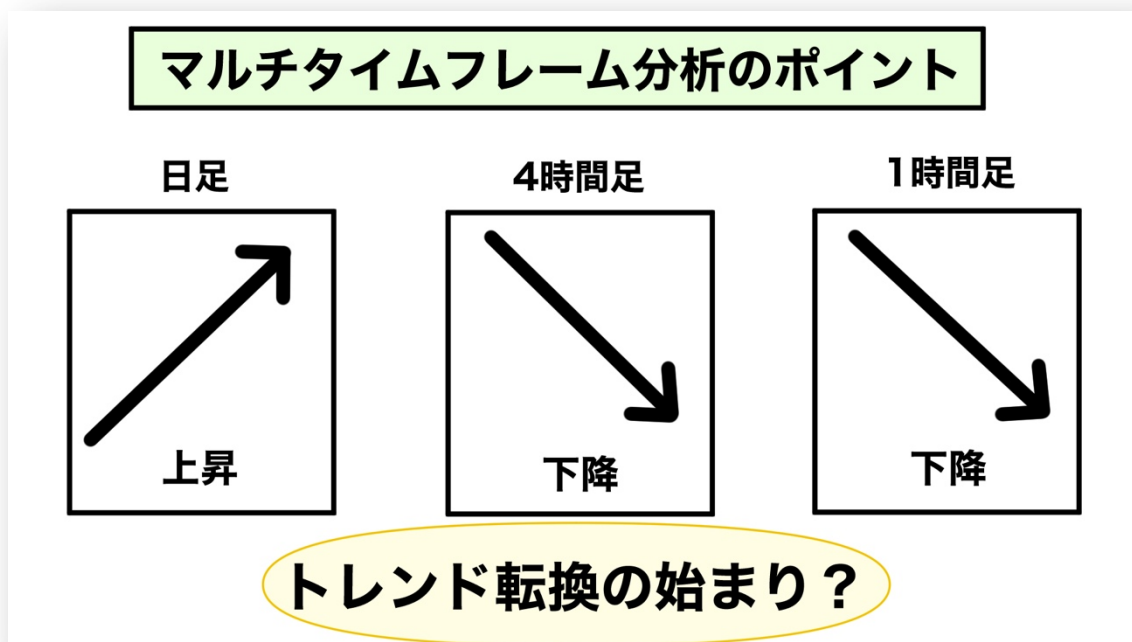
のです。

何となく、感覚が掴めてきましたか？

では、次の例を出します。

ぜひ、説明を聞くだけではなく
あなたも考えながら解説を聞いてください。

では、このような形になると、どうでしょうか？



- ・ 日足：上昇している
- ・ 4時間足：下降している
- ・ 1時間足：下降している

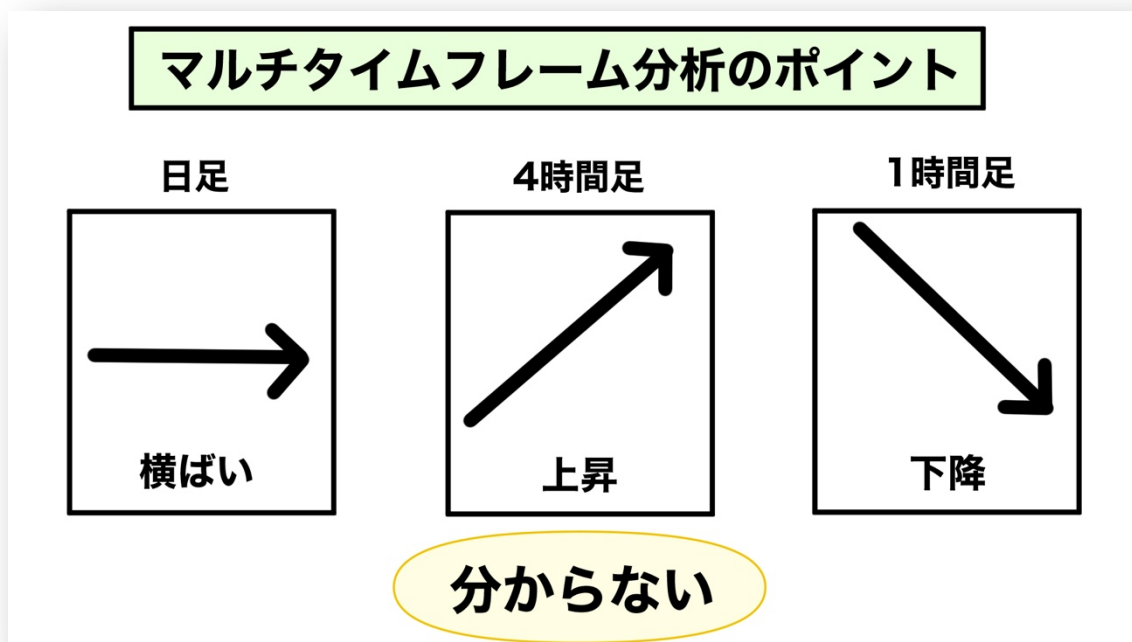
日足は上昇していますが
4時間足、1時間足は下落しています。

これも先ほどと同じように
これだけでは分かりません。

大きな『押し目』かもしれないし
トレンド転換の始まりかもしれない。

ですが、分からないなりに
やはり判断材料にはなります。

では最後に、次の例をご覧ください。



- ・ 日足：横ばい状態
- ・ 4時間足：上昇している
- ・ 1時間足：下降している

日足は横ばい、4時間足は上昇、1時間足は下降しています。

3 つとも、バラバラです…

これでは、トレンド方向が分かりません。

15 分足トレーダーなら、

直近の 1 時間足が下降なので売りで
少し利益が取れるかもしれません。

ですが、4時間足は上昇しているので

気をつけないと
大きな上昇に巻き込まれるかもしれません。

日足で見ると横ばいなので
一進一退のレンジなだけかもしれません。

このような場合、かなり難しい…

です。

よって「トレードしない方が良いな。」
という判断材料になります。

一流のプロであれば
このような複雑な状況を読み解き
最善の一手を打てるかもしれません。

ですが、

FXで儲けることに そのような天才的な才能は必要ない

なぜなら、

分かるところだけ、やればイイ

からです。

わざわざ難しいことをやる必要は
一切ないのです。

資格試験や大学受験も、

難しい問題を飛ばして
分かるところだけ確実に解いて
80 点を取れば合格できます。

100 点を取る必要はありません。

FX もこれと同じようなイメージです。

要するに？

複数の時間で分析することは大切です

…という話でした。

マルチタイムフレーム分析は
環境認識をする上で必要不可欠な要素

です。

まずは、この話を頭に叩き込んでください。

では、いよいよ具体的に
どのようにチャートを分析すれば良いのか？

こういった場所で
エントリーすれば良いのか？

その真髓を、お伝えしていきます…

第3章

エリオット波動

【第3章】テクニカル分析の王様『エリオット波動』とは！？

FX では、

『上がるのか？』『下がるのか？』を
あなたが予想することに意味はない

のです。

いいですか？

- ・ 上がるのか？
- ・ 下がるのか？

を視るのではないのです。

FX で利益を出すためには、

- ・ いつ上がるのか？
- ・ いつ下がるのか？

を分析していく必要があるのです。

もしかしたら今あなたは、

「そんなコトできれば苦労はないぜ…。」
「そんなの誰にも分からないわよ…。」

と思ったかもしれません。

確かに
その通りなのですが・・・

実は、

相場の『波の動き』を逆手に取った
究極のテクニカル分析方法が1つある

のです。

これが今回あなたにお伝えする

『エリオット波動』なのです。

ただし・・・

あなたがエリオット波動を
実際のトレードで使いこなすには
少しだけ『コツ』が必要になる

のですが…

あなたは、その秘密を知りたいですか？

・・・

分かりました。

今回の話に

複雑なことは一切ありません。

FX『ド素人』でも、今すぐに使える
超実践的エリオット波動論です・・・

まずは教科書的な『エリオット波動』の説明から！

まず、

エリオット波動とは
いわゆる波動論、相場の波を見ていくもの。

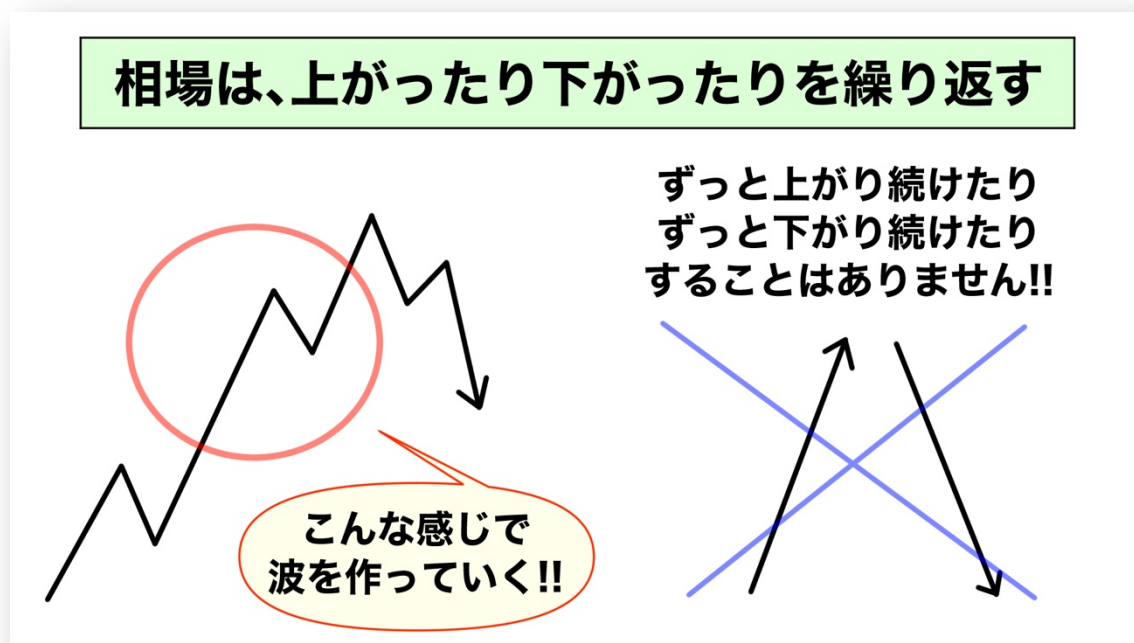
つまり、

相場の高値と安値に注目していく

のです。

そして『相場』というモノは
常に上がったり下がったりを繰り返しています。

そして波を作っていくのです。



逆に、

- ・ずっと上がり続けたりする
- ・ずっと下がり続けたりする

ことはありません。

相場には必ず『上げ』『下げ』があって常に、波打ちながら動いている

そして、

この波を利用した理論というのが『エリオット波動』なのです。

このエリオット波動原理によると値動きの波動には基本形があります。

それは・・・

5 波動で推進し、3 波動で調整する

というものです。

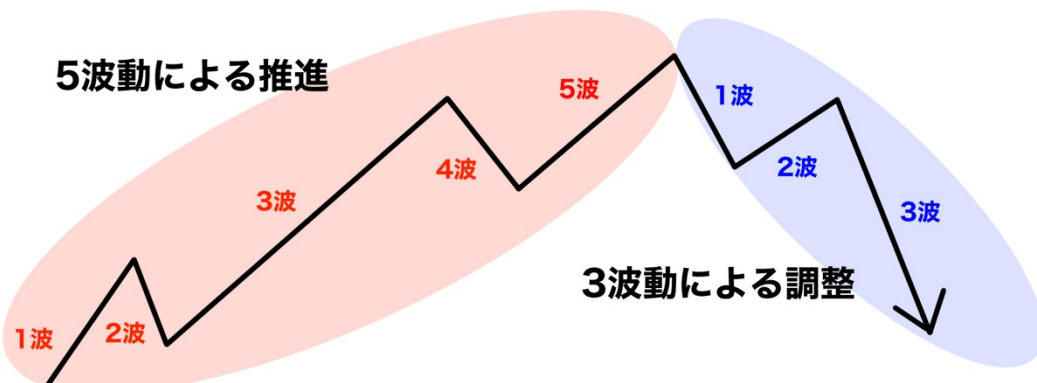
『推進する』というのは文字通り進行していくことで、

『調整する』というのは波の進行が一時的に中断したり逆戻りすることです。

分かりやすく図で解説します。

エリオット波動の基本

波の基本形は『5波動で推進、3波動で調整』



こんな感じで、

相場は波打ちながら
上がったり、下がったりを
常に繰り返しているのです…

が、

コレを探そうと思っても
実は、なかなかこれ通りにはいかない。

つまり、

相場は『教科書通り』には動かない

のです。

よく『ランダムウォーク理論』なんて言われますが

相場はランダムに動くもので、

あなたが実際にトレードをする時は
エリオット波動の『推進波』か『調整波』の
どちらかを狙っていく。

FX のトレードでは すべてのチャンスを狙うのは不可能

なので、まずは絞ることが重要になってきます。

例えば、推進 5 波動が出たからと言って
必ずその後に調整 3 波が来るとは限らない、

また、もう一度『推進 5 波動』が来ることだってあるのです。

では、

あなたは『推進 5 波動』を狙うべきか？
それとも『調整 3 波動』を狙うべきか？

答えを言います。

相場は、

すべて推進 5 波動で成り立っている …と考えて、トレードしていく

のです。

コレが利益を取っていく
1 つのポイントになります。

なぜなら・・・

調整 3 波動には、条件がないが 推進 5 波動には、明確な条件がある

推進波には『ルール』『定義』が
明確に決められているからです。

そのため、あなたが実際のチャート画面で値動きを見た時に、

「あっ、今はエリオット波動の○波目なんだな！」
と確認をすることができるのです。

そして、**根拠を持ってトレードをすることが可能になる**のです。

で、

FX だけではなく、投資すべてに共通することなのですが
自分なりの根拠をキチンと持って取引を入れることが重要。

根拠がなければ、それは投資ではなく
単なるギャンブル・博打だからです。

あなたは、

利益を積み上げ続ける投資家であって 一攫千金を狙うギャンブラーではない

…でしょ？

そう、

エリオット波動を根拠に相場を分析していき、

その時に、推進5波動には明確なルールがあるから
あなたは迷わずトレードをすることができるのです。

まずは、推進波5波動だけに照準を定めて
トレードをやっていくことを覚えて下さい。

では、実際のチャート画面で
エリオット波動を確認してみましょう！

ただ単に説明の図を見て理解するだけなのと、

実際のチャート画面で確認するのとでは
全然、見え方が違うので…

しっかりと見て下さい。



このチャートは比較的『教科書通り』で、

推進5波動の後に調整3波動が
キレイに來ていますが・・・

こちらは、どうでしょうか？



推進波 5 波動が来て上昇しましたが、
その後に調整 3 波動は来ず、

下降の 5 波動が来ていますよね。

そう・・・

非常に残念ながら相場の値動きは
必ずしも『教科書通り』にはいかない

のです。

コレは本当に重要なことなので
しっかりと頭に叩き込んで下さい。

では、

いよいよ実践的な話をしていきます…

推進3波と推進5波！ここで『鉄のオキテ』を紹介します

まず前提として、

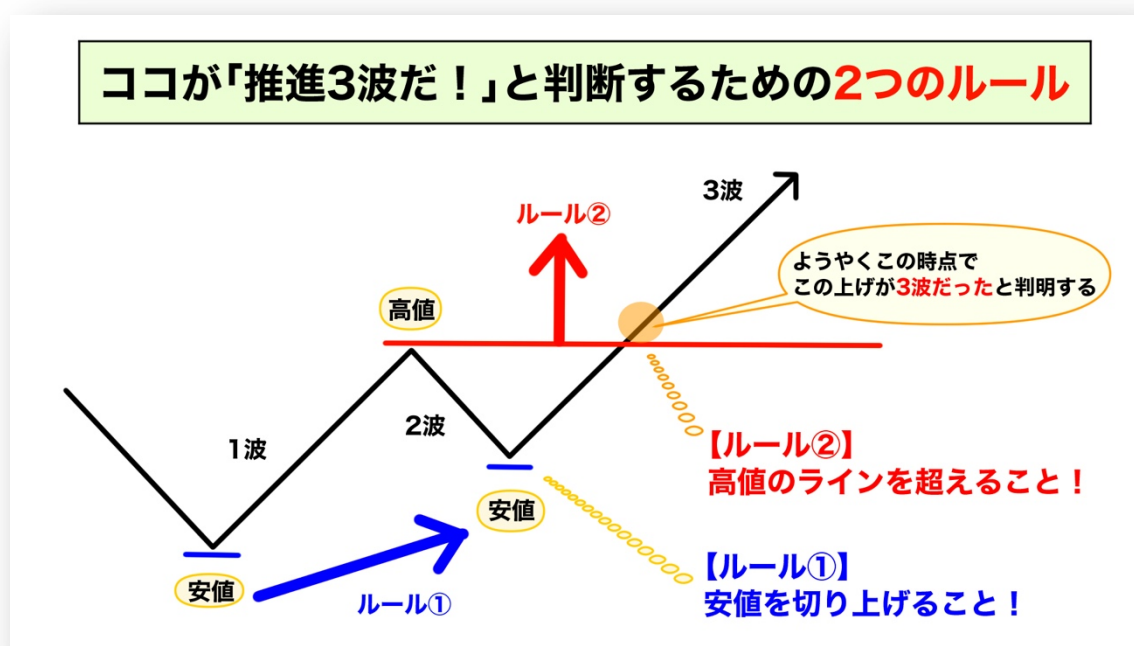
エリオット波動の『推進波』は 『5波動』で成り立っている

つまり、5波動ではなかったら
そもそも推進波ではなかった…ということ。

で、

推進波には、明確なルールがあるのですが
ルールがあるのは『3波』と『5波』**だけ**です。

まずは、3波の説明からしていきます
推進3波には『2つのルール』があります。



エリオット波動『3 波』の見つけ方

Step1 :

1 波の起点の安値を、2 波と 3 波で作った安値が切り上がること

Step2 :

1 波と 2 波で作った高値を、3 波が超えていくこと

Step3 :

1 波と 2 波で作った高値を超えた時点で「コレが 3 波だったんだ」と、ようやくこの時点で 3 波が分かる

Step4 :

3 波だったことが分かって、ようやく「コレが 1 波で、コレが 2 波だったんだ」と、後から振り返ってみて、1 波と 2 波が判明する。

．．．

まとめます。

エリオット波動『3 波』の 2 つの条件

- ① 1 波の起点の安値を、2 波と 3 波で作った安値が切り上がること
- ② 1 波と 2 波で作った高値のラインを、3 波が上にブレイクすること

これが 3 波動目のルールです。

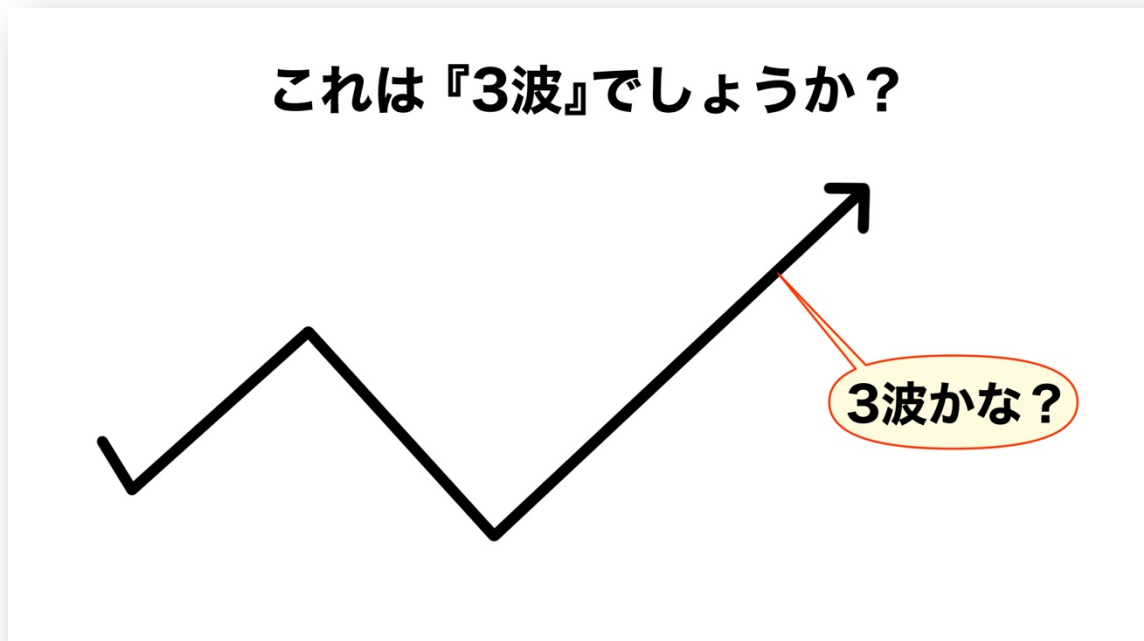
この 2 つの条件を満たした時に
初めて 3 波だったことが分かるのです。

逆に言えば、

この『2 つの条件』を満たすまでは

どれが 1 波で、どれが 2 波で、どれが 3 波なのか、3 つとも分からない
ということです。

では、ここで1つ『問題』です！



ちゃんと自分の頭で考えて下さいね。

ちょっと話がズレますが・・・

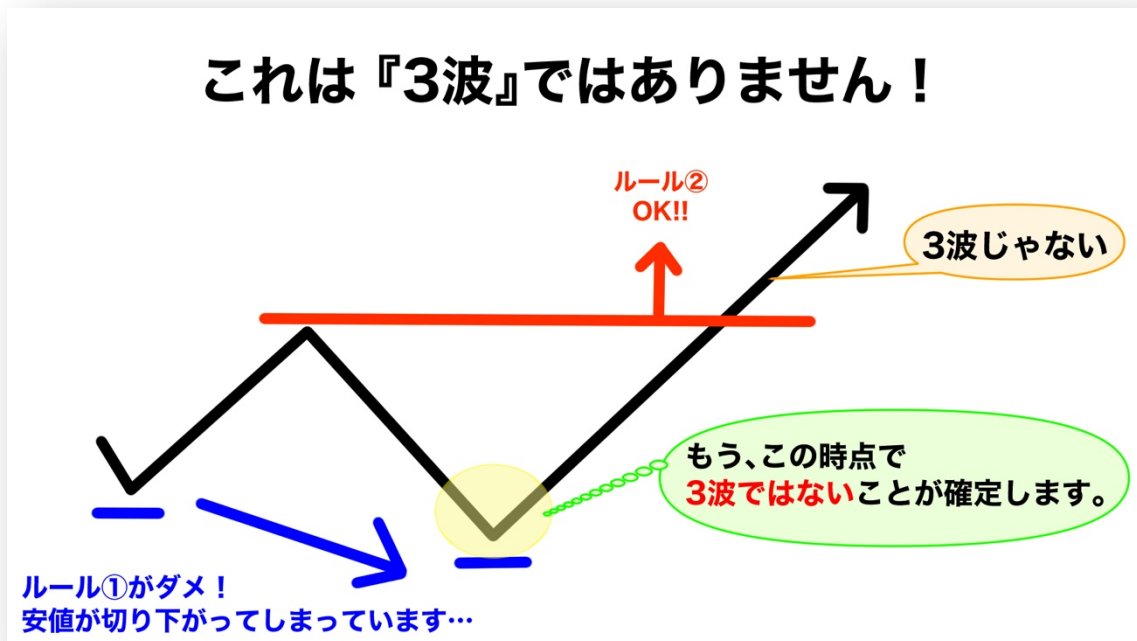
説明を聞いた『だけ』では
いつまで経っても理解できません

要するに、

いつまで経っても FX で稼げない
ということです。

なので、キチンと自分なりの答えを出してから
答え合わせをして下さい。

では、『答え』です。



一見すると『3波』に見えてしまいそうですが・・・

1つ目の条件：

1波の起点の安値を、2波と3波で作った安値が切り上がること

を満たしていません。

そのため、

1波と思われた起点の安値を、2波と思われた値動きで切り下げた時点で、すでにコレは3波ではないことが分かってしまうのです。

もしも今、あなたが正解できなくても大丈夫
これから少しずつ慣れていけば問題ありません
なので、安心して下さい。

ここで、もう1つ。

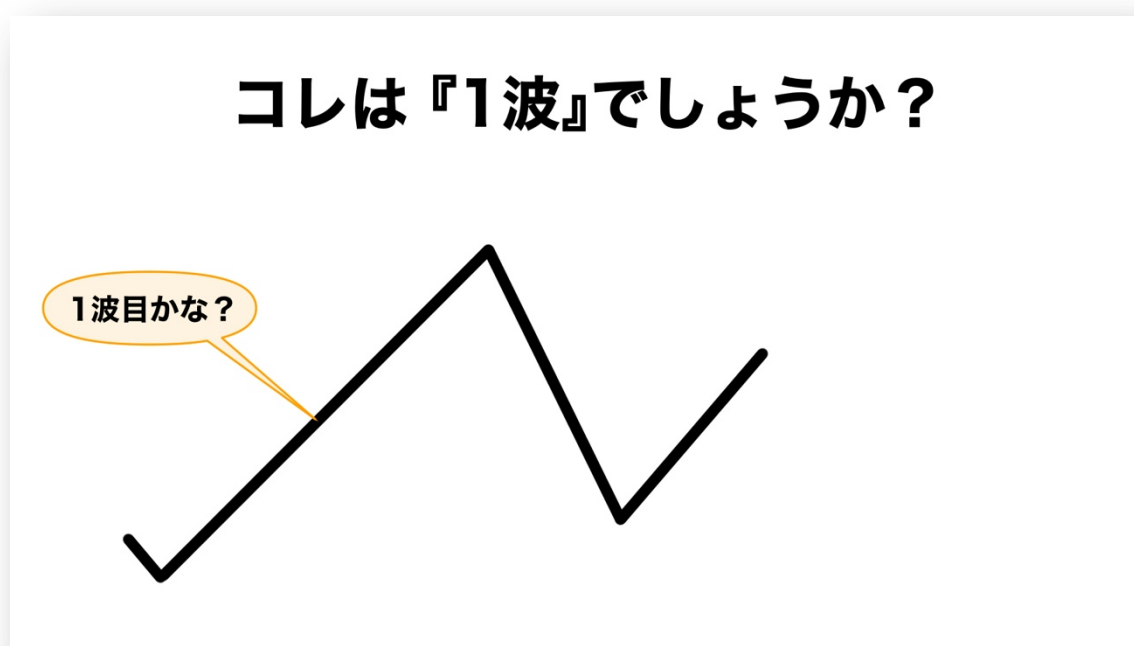
FX 初心者の方たちから、

エリオット波動の『1 波目』は
どうやって見つければ良いですか？

という質問が、かなり多かったので
今回は問題形式で解説していきます。

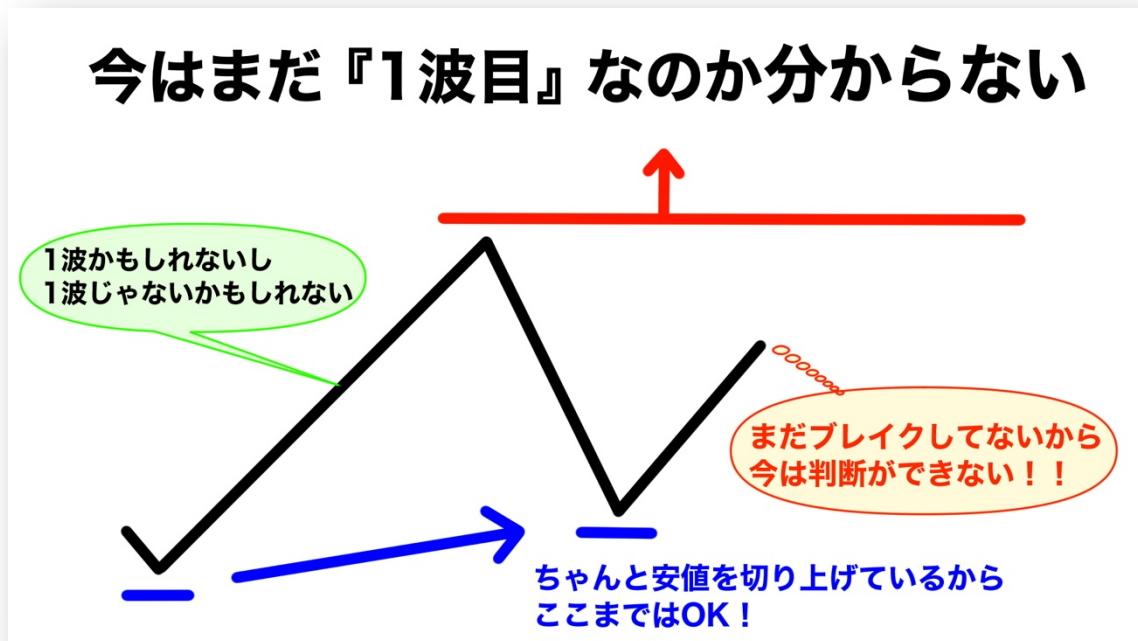
準備はいいですか？

それでは『問題』です！



答えは出ましたか？

それじゃ、『答え合わせ』です！



答えは、

『まだ分からない』

です。

なぜなら、

2つ目の条件：

1波と2波で作った高値のラインを、3波が上にブレイクすること

ここまで満たして『3波』が分かり、

3波が分かって初めて、その前の2つの波が

『1波目』と『2波目』だったことが分かるのです。

つまり、

『3波』が分かった後
ようやく『1波』と『2波』も分かる。

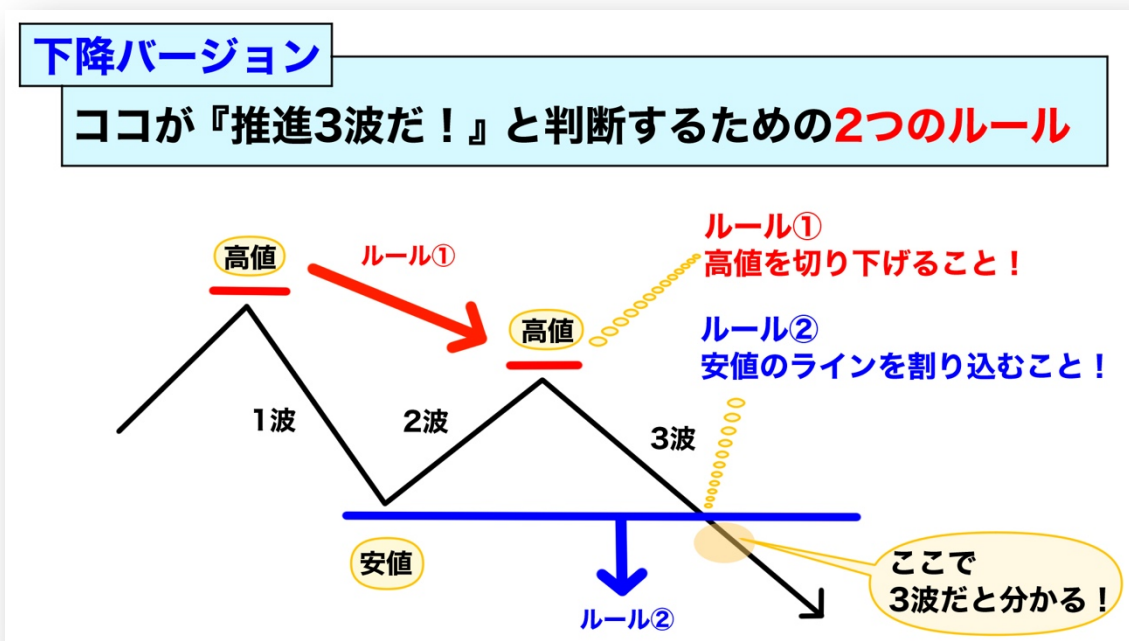
逆に、

『3波』が分かるまでは
『1波』と『2波』も分からない

ということです。

で、今は、

上昇の場合のエリオット波動を説明しましたが
下降の場合も理屈は同じです。



まずは、

波動のカウントを間違えないように
3波の『定義』・『条件』・『ルール』を
キチンと覚えて下さい。

次に、

3波動目の特徴を1つ
あなたにお伝えします。

『推進波』では
トレンドの波に乗っていく波動が
1波・3波・5波になりますが、

3波動目は『1番短くなることはない』

という特徴があります。

つまり？

3波動目が『1番伸びる可能性が高い』

ということです。

1波・3波・5波の中で
特に3波を狙うと1番利幅が大きくなる可能性が高い、

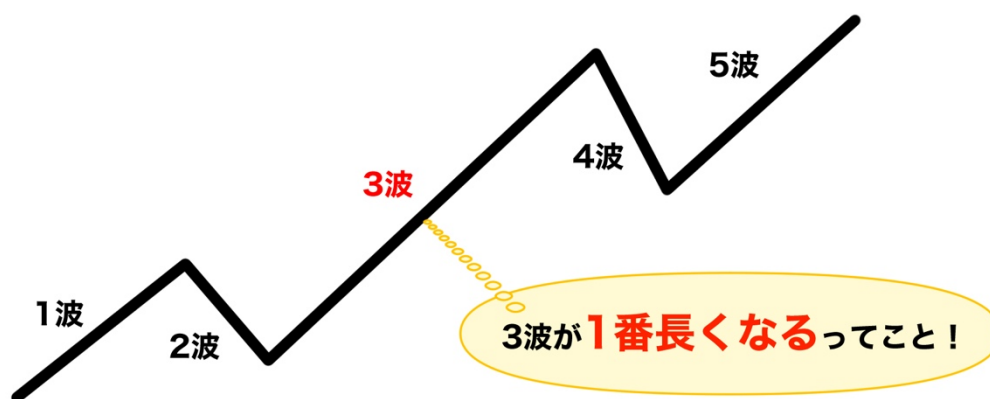
そんな特徴があります。

利幅 (pips) が狙いやすいのが
エリオット波動『3波』になります。

分かりやすく図で説明すると・・・

3波の特徴

1番短くなることはない = 1番伸びていく (利幅が大きい)



こんなイメージを持って下さい。

ただし・・・

これも絶対！というワケじゃなく
『その可能性が高い』ということ…

です。

相場は教科書通りにはいかない・・・でしたね。

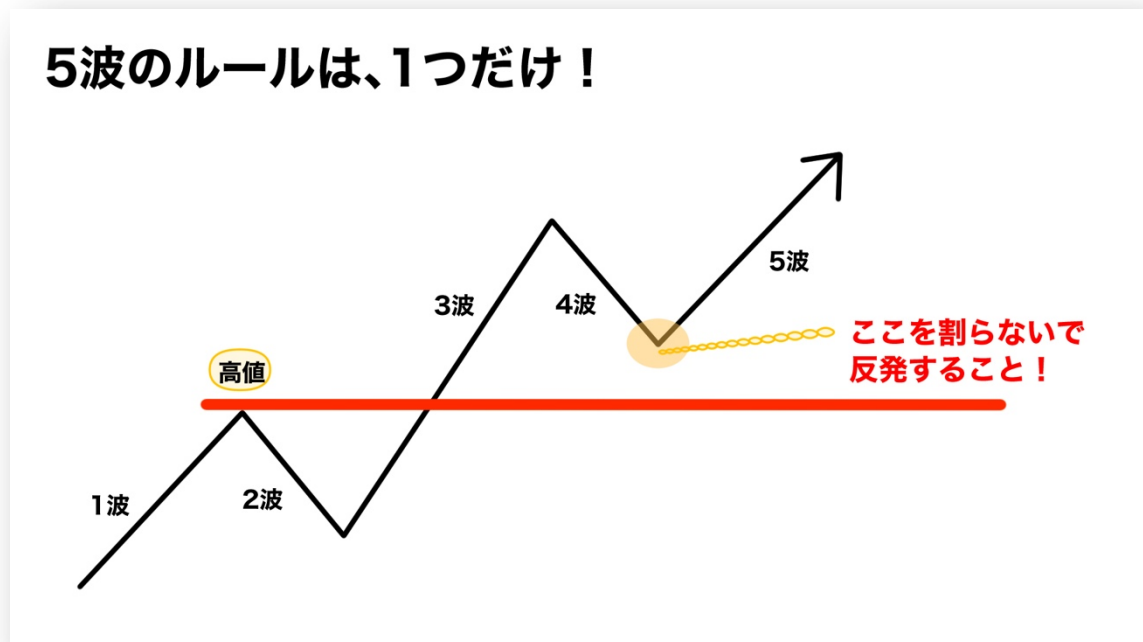
ここでは、3波は、

利益が伸びやすい、という特徴がある

まずは、コレを頭に叩き込んで下さい。

次は、5 波動目のルールです。

5 波動目のルールは 1 つだけです。



エリオット波動『5 波』の条件

① 1 波と 2 波で作った高値を、4 波が割り込むことなく、5 波で反発すること

たったのコレだけ。

5 波動目は

必ず 1 波と 2 波で作った高値よりも『上』で
反発して上昇していくという条件があります。

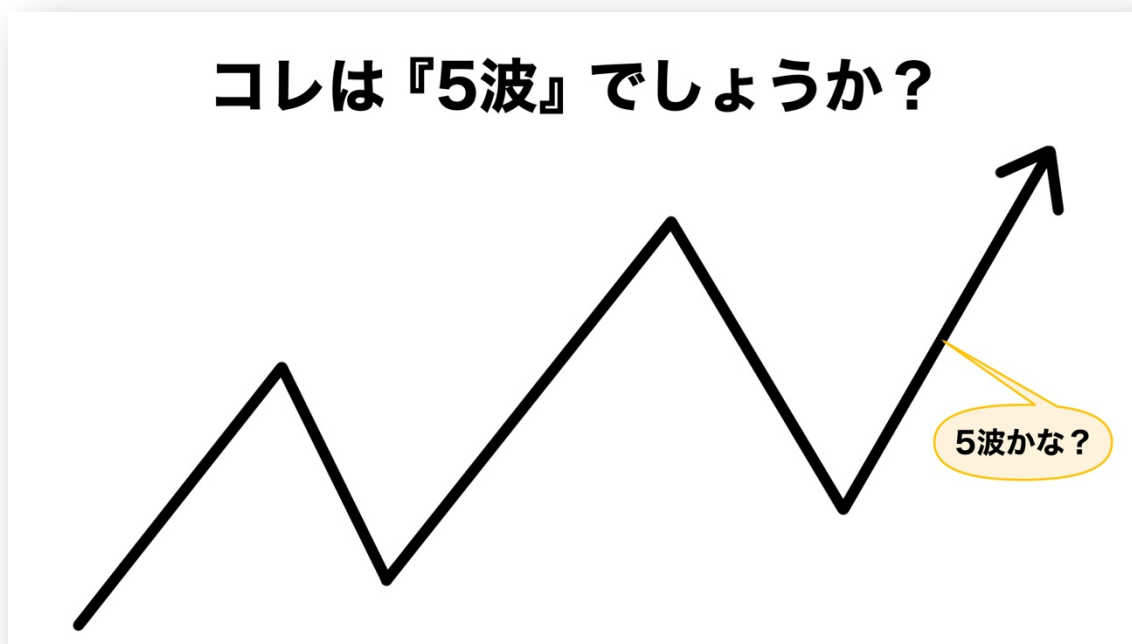
言葉で説明しても

きっと分かりにくいと思うので、

また問題形式で解説していきます。

では、いきますよ～！

ちゃんと考えて下さいね！



ヒントは・・・

1波と2波で作った『高値のライン』を…？

・・・

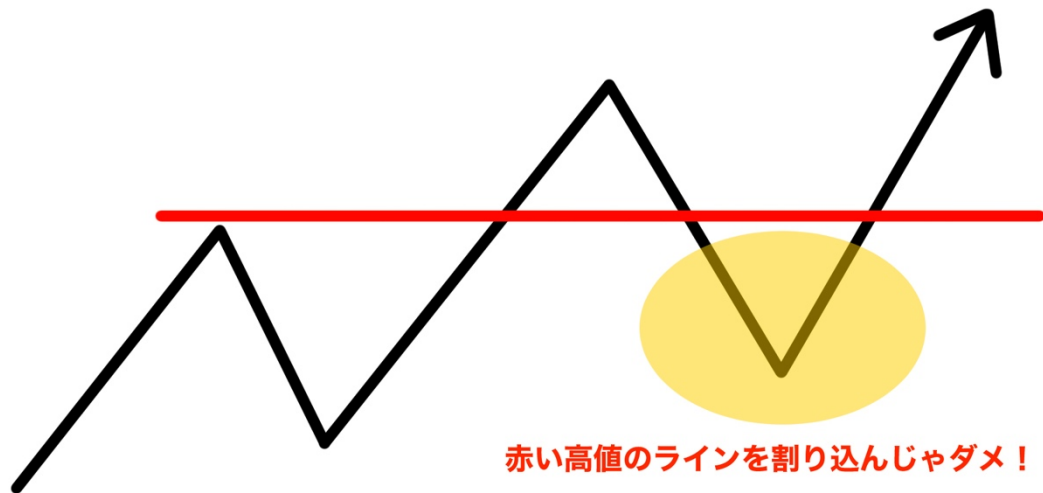
間違っても大丈夫。

必ず、あなたなりの答えを出してから
次のページを見るようにして下さい。

・・・

では、解説です。

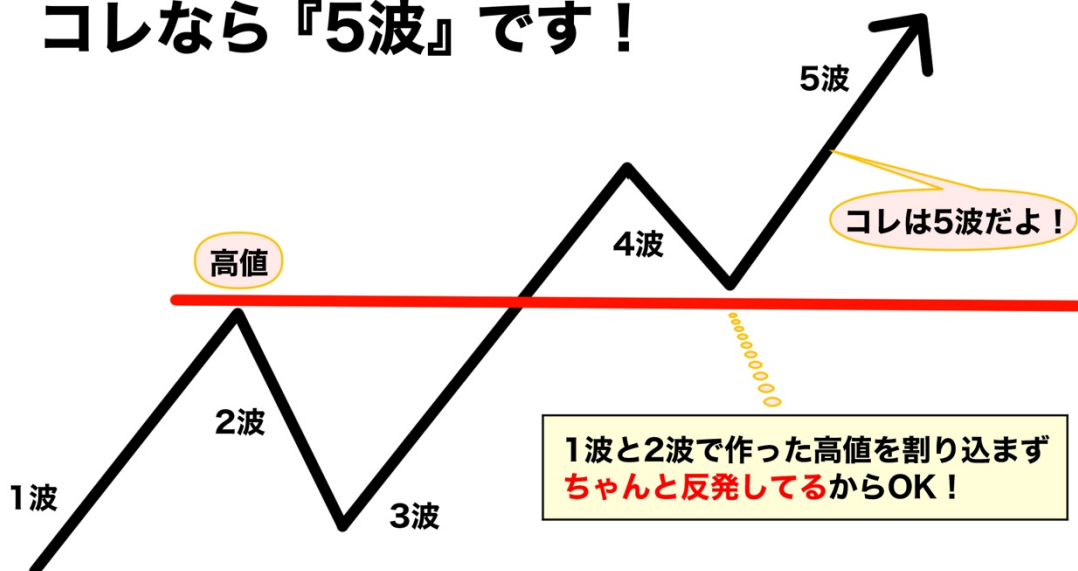
これは『5波』ではありません。



ちょっと簡単だった…かな？

ちなみに・・・

コレなら『5波』です！



そう、

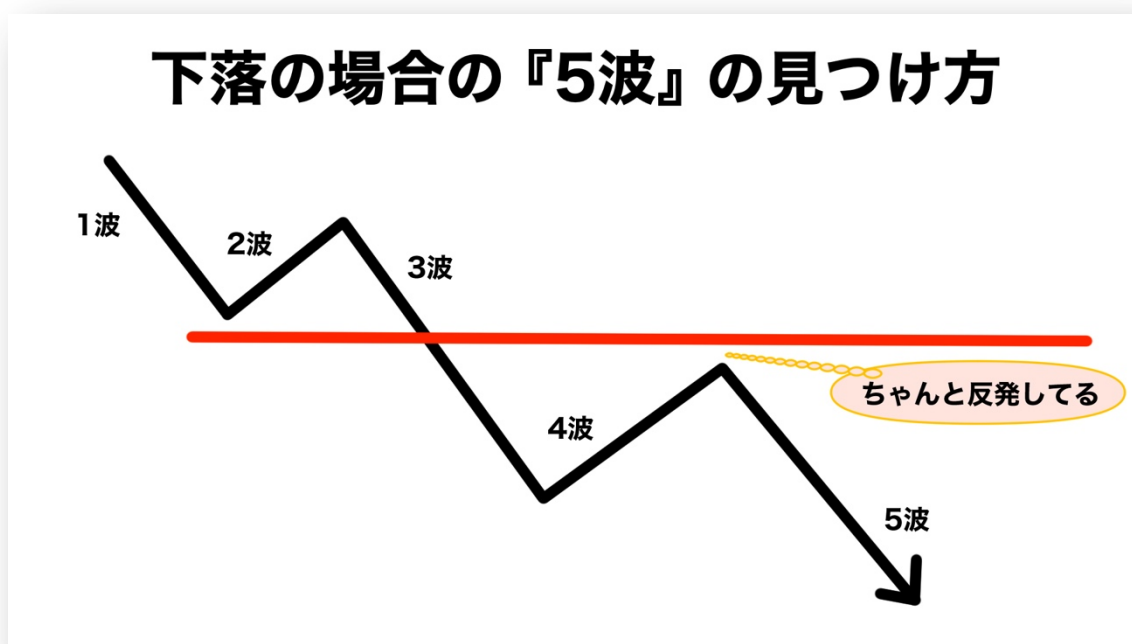
1波と2波で作った高値のラインを割ってしまったら
そもそもエリオット波動の推進波ではなかった、ということ。

もしも割り込んできてしまったら推進波ではなかった
つまり『調整波だった』と解釈するのです。

5波動目の定義：

1波と2波で作った高値よりも上で、4波と5波で作った安値が形成される

下落の場合も、話は同じです。



上の図で、

もしも『4波』が、赤のラインを上を超えてしまったら
もう、その時点で5波ではなかったことが確定します。

スゴく簡単でしょ？

では、5 波動目のポイントです。

4 波動目の押し目の下落は

1 波と 2 波で作った高値よりも必ず上になる…

つまり『押し目買い』のポイントが明確ということです。

例えば、エリオット波動を知らないと

『押し目買い』をしようと思っても、

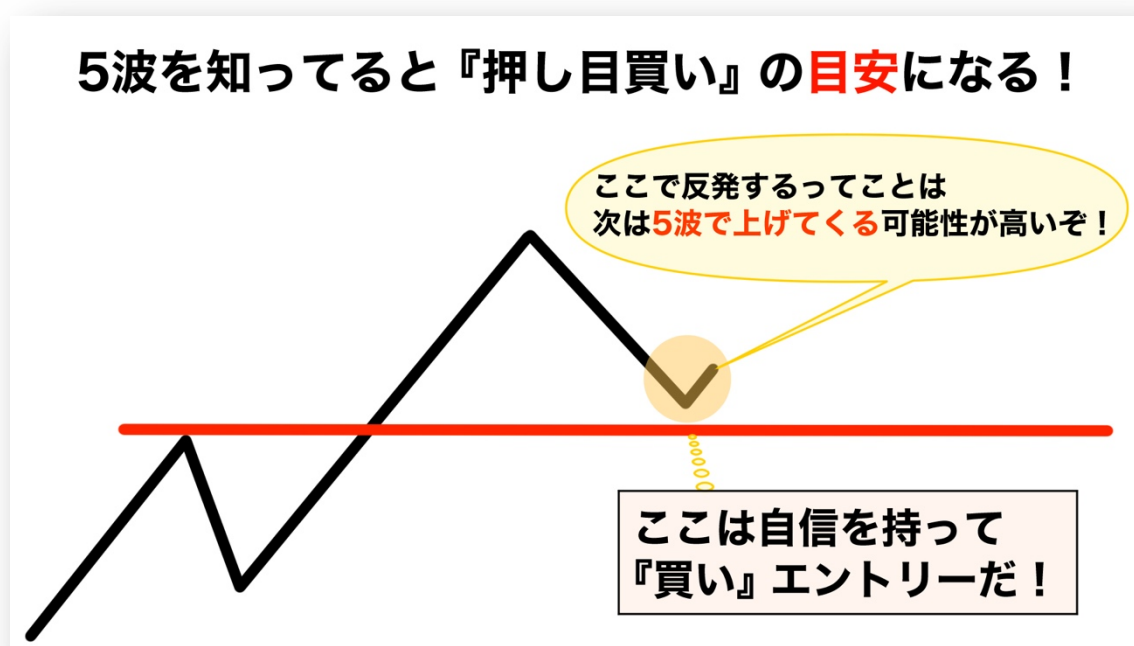
どこまで下がるのか『目安』がない状態なので

ビクビクして押し目買いができないのです。

しかし、この 5 波のルールを知っていると

「5 波だとしたら、ここまでしか下がらないから買いだ！」と

キチンと根拠を持ってエントリーをすることができるのです。



こんな具合で

あなたの中で迷いが生じることなく、エントリーができるのです。

その上、

利益も狙いやすいのです。

エリオット波動を理解するだけで
ピンポイントで『狙い撃ち』ができる

のです。

では、少しまとめます。

もしも、あなたが『3波』を狙いたいなら
利益重視、伸びやすいから値幅（pips）を取りに行く。

もしも、あなたが『5波』を狙いたいなら
勝率重視、確実にコツコツ利益を積み上げていく。

こんな感じです。

エリオット波動の調整波には条件や定義がない
けど『推進波』にはキチンとした条件がある、

もっと突っ込んで言うと・・・

1波と2波と4波には条件がないが
3波と5波にだけ条件があるのです。

今後、あなたが狙うべき相場は
推進波『3波』と『5波』の2つだけ

なのです。

あなたが利益を取るべき相場と赤ランプ警告！？

次に、

黄色をすっ飛ばして
いきなり『赤ランプ』が点灯…

FX で、お金を溶かす人の特徴

を話していきます。

では、

あなたは具体的に、こういった場所で
『エントリー』をすれば良いのか？

きっと、

ここまでの話を理解してくれている
あなたであれば・・・

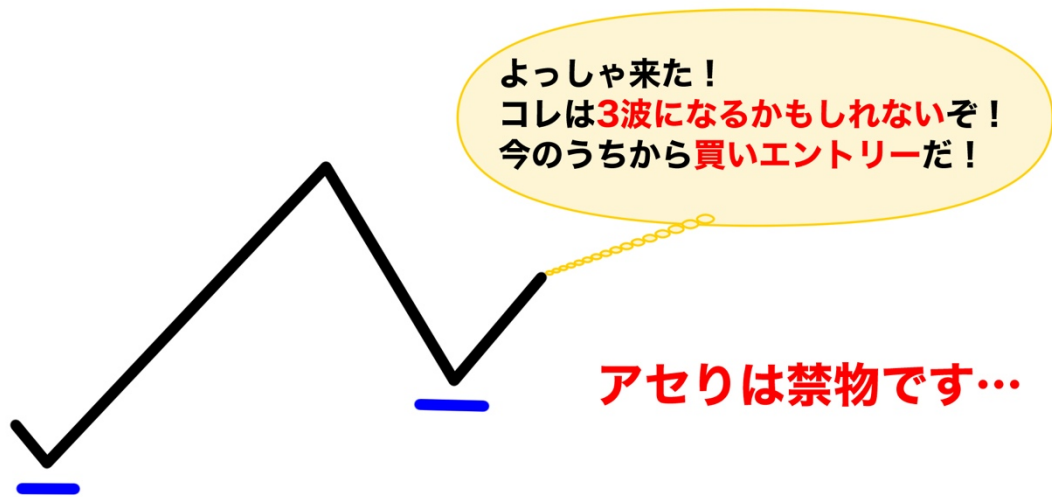
例えば、

3 波が 1 番伸びていくから
コイツを狙って利益を取っていく！

と考えるかもしれません。

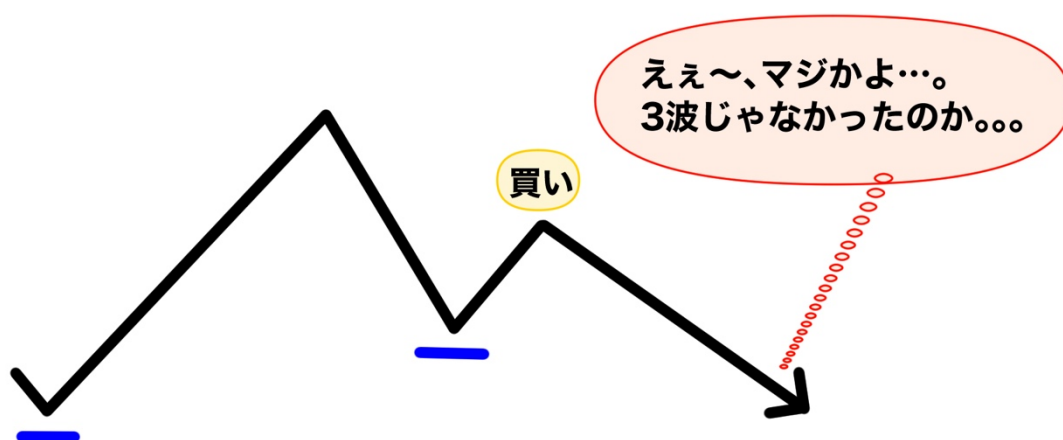
ですが『アセりは禁物』なのです…

こういう場所で『エントリー』しちゃダメ！！



だって…ね？

まだ、3波と決まったワケじゃないんだから
下がっていく可能性だって十分あるのです…



こういった、

不確かな場所取引を入れてしまうと
『ムダな負け』になってしまう・・・

いいですか？

3波は1番伸びていくのです。

つまり？

あなたが3波を狙う時は
別に『初動から狙う』必要なんてない
のです。

キチンと、1波と2波で作った高値のラインを
ローソク足がブレイクしてからエントリーをしても、

十分に利益を取ることが可能なのです。

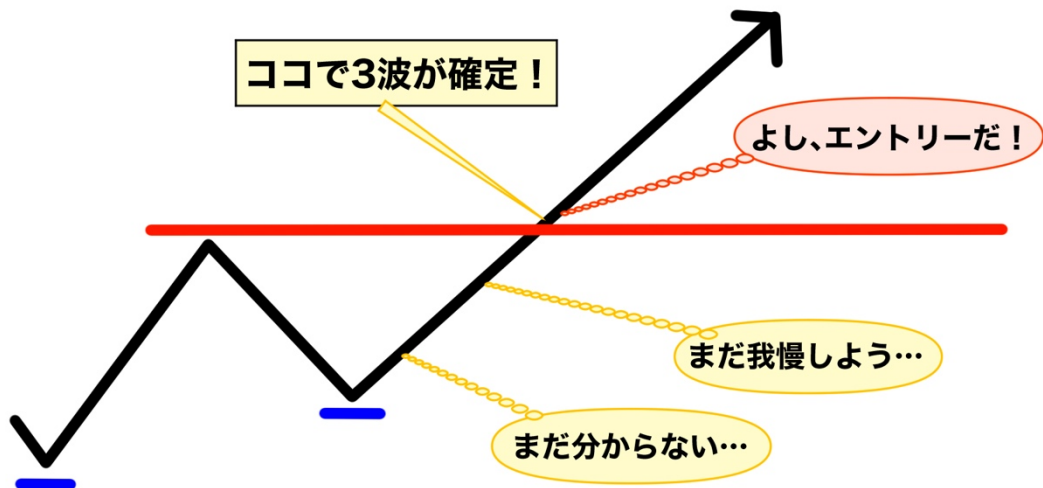
こういった場所でアセってしまい
取引を入れてしまうと『ムダ撃ち』になってしまい、

どんどん、お金を溶かすハメになってしまうのです。

エリオット波動の『3波』は
ブレイクを確認してからエントリー

ココがみそです。

3波ということが確定するまで、エントリーは我慢しよう！



何度も言いますが、

3波の特徴として『1番短くなることはない』
つまり伸びやすいため初動を狙う必要はないのです。

だからこそ、十分な利益を取ることができる。

3波は、1番伸びやすいから
ブレイクしてからでも全然遅くはない

のですが、

コレを遅く感じてしまう、ココまで我慢ができない
ブレイクを待てずに初動からエントリーをしてしまう・・・

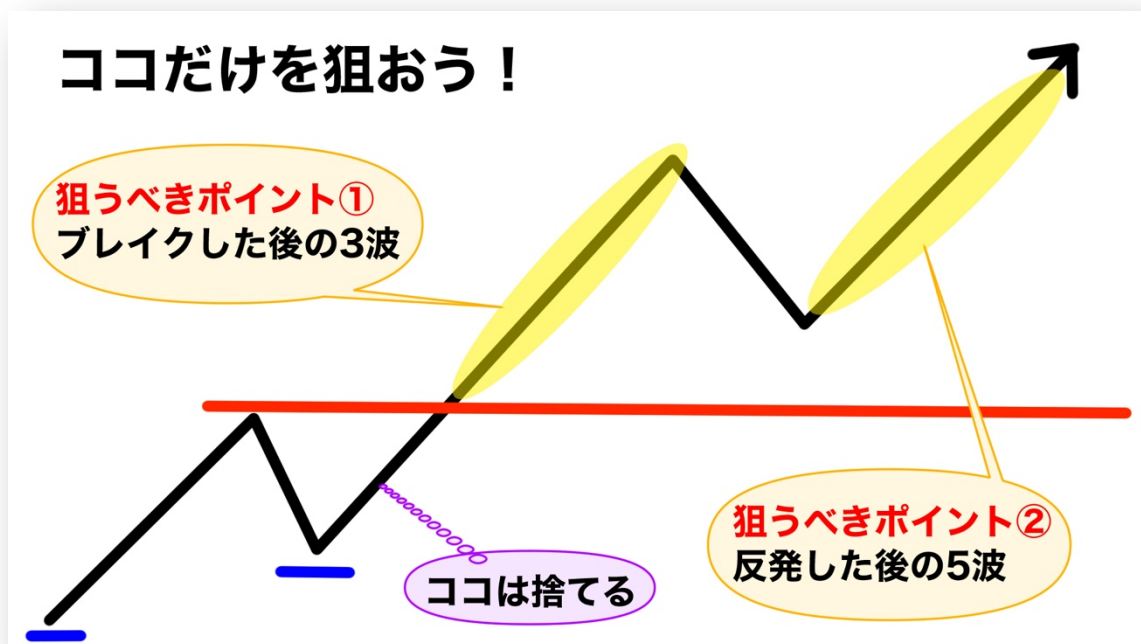
FXでは、

より多く利益が欲しい『スケベ心』で
お金をすべて溶かしてしまう人が多い

のです。

そして・・・

今後、あなたが狙うべき場所は 2 つ



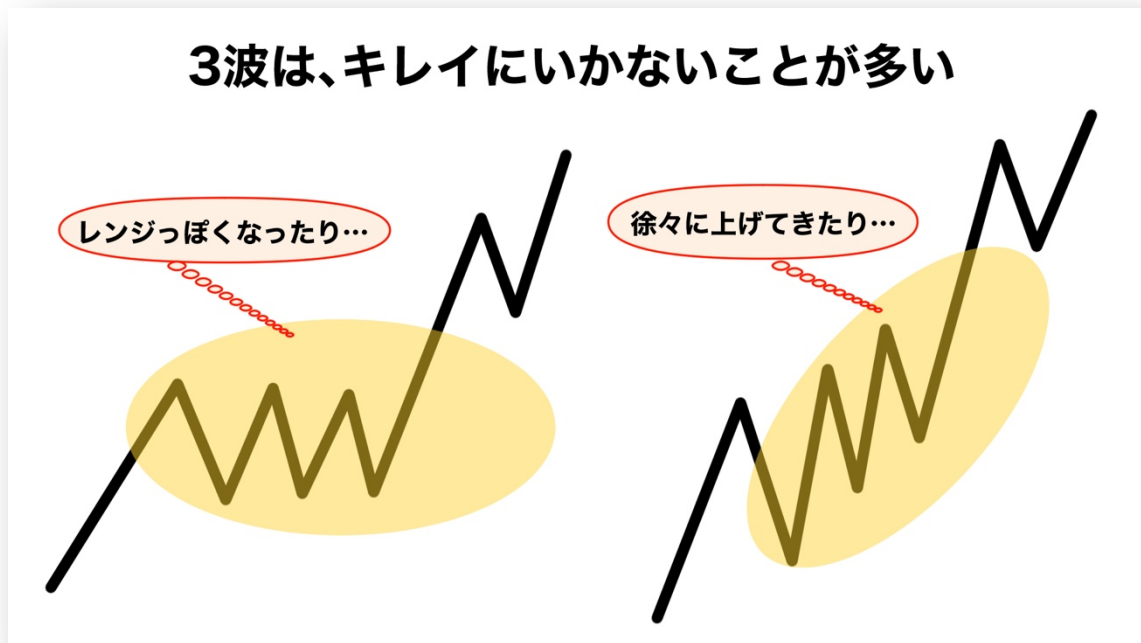
ブレイクして伸びていく場所を狙うなら 3 波
値幅 (pips) を多く取っていく。

確実に下がった所を狙いたいなら 5 波
勝ちにこだわる勝率重視スタイル。

今ここで『3 波の初動は捨てる』と決めて下さい。

ここで、1つ注意点があります…

実は『3波』には
少し難しいところがあるのです。



ちょっと2波と3波が汚くなりやすい

という特徴もあるのです。

すんなり上げてくれれば分かりやすいのですが
実際の相場は、そうすんなりは行かないのです。

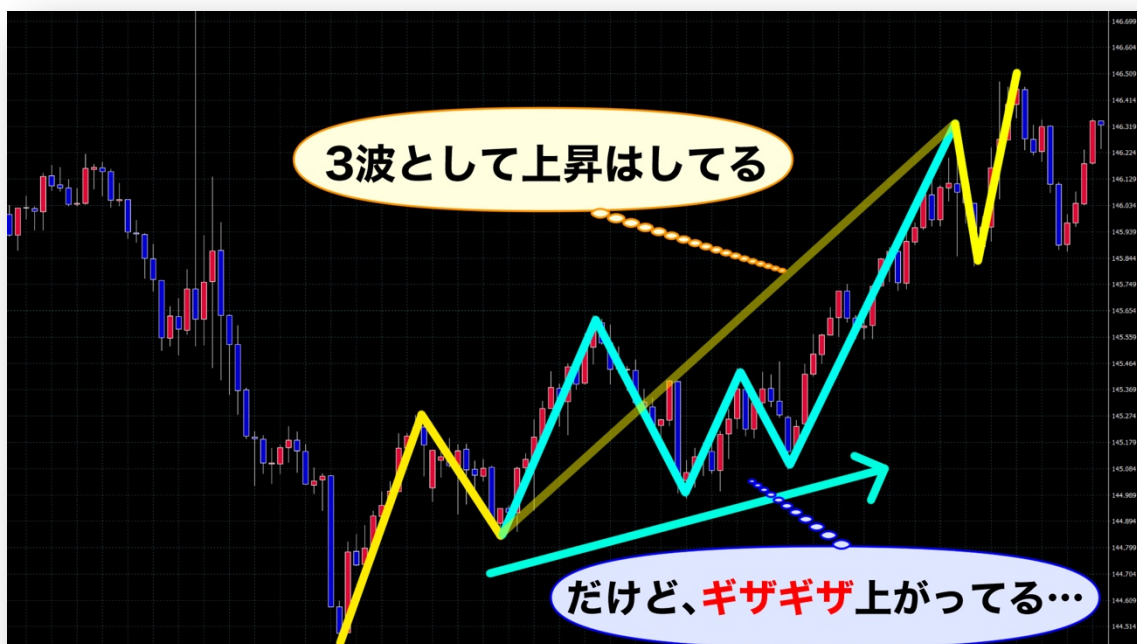
乱れやすい、一筋縄では行かない

ということも覚えておいて下さい。

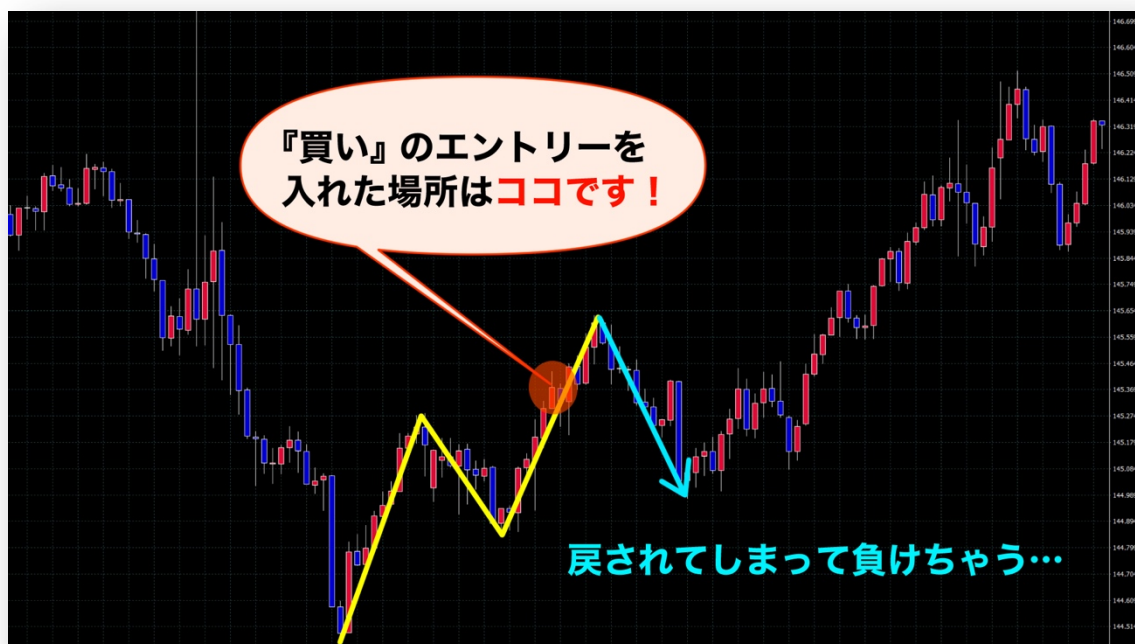
この相場は、比較的キレイに上昇しています



だけど、こういうパターンもある…



当然ですが、後から見れば誰だって分かるのですが
リアルチャートで見てみると・・・こうになってしまうのです。



安値を下回らなければ
エリオット波動『3波』は継続ということなのですが…

こういったパターンも結構あるのです。

なので、

3波は、なかなか乱れやすい

という側面があることを
覚えておいて下さい。

確かに、3波動目は1番伸びやすいため
利幅（pips）を多く取ることができます…

が、

5波動目に比べると乱れやすいため、

『勝率』という側面では
5波の方が、より手堅いと言えます。

なので、

あなたが「負けたくないぞ！」と思うのであれば
1波、2波、3波は、あえて捨てる。

そして、5波動目を狙っていく
という売買戦略もアリなのです。

では、

5波の『押し目買い』を狙っていくワケですが・・・

4波が、どこまで下がって来るのか？

が重要ですよね。

今回の例で考えると・・・



今回は、この辺ですよ？

つまり、エリオット波動的には
この緑色ラインまでは下がってくる可能性はある、

ただし、コレより下に行くことはない、

そういう風に考えることができるため
『押し目買い』が、やりやすいのです。

『どこまで下がってくるのか？』その目安がわかった上で
トレードができるため、非常に売買戦略が立てやすいのです。

少し、まとめます。

エリオット波動は
推進5波動で成り立っています。

調整波ではなく、推進波の方を狙っていくのです。

なぜなら『推進波』には
キチンとしたルールがあるからです。

で、

キチンとしたルールがあるのは
推進3波と、推進5波の『2つ』です。

つまり、

あなたが狙うべき相場は
『3波』か『5波』です。

両方とも狙うのではなく
『3波』 or 『5波』 片方だけ

です。

では、どちらを狙うべきなのか？

- ・ 値幅 (pips) を重視するなら、3波を狙っていく
- ・ 勝率を重視するなら、5波を狙っていく

こういう感じで決めていくのです。

そして、

あなたが『エリオット波動』を
トレードで利用していくためには、

『高値』と『安値』を見極める力を 身につける必要があります。

では、どうやって
その見極める力を習得していけば良いのか？

長期足（日足など）から見ていき
徐々に慣れていくのがオススメです。

長期足から見ていく理由は、

短期足に比べると
長期足の方が『継続性がある』からです。

まずは、実際のチャート画面で長期足を表示させて
あなたなりにラインを引きながら分析してみてください。

もう一度、言います。

エリオット波動は、波形を見ていく手法です。

そのため、

高値と安値を見極める『技術（スキル）』が必要になってきます。

技術（スキル）というのは
必要な練習さえすれば
誰でもできるようになります。

なので、安心して下さい。

まずは日足などを眺めて、

高値と安値を確認する作業を
やってみる所から始めてみて下さい。

高値と安値が明確になれば
波動のカウントができるようになります。

波動のカウントができるようになれば
3波と5波が見えるようになります。

『3波』と『5波』が見えるようになれば
エントリーポイントが分かるようになります。

…えっ！？

実際のチャート画面で数えてみると
上手に波動のカウントができない…

だって??

分かりました。

それでは、

どのようにして

1波、2波、3波、4波、5波…と

『カウント』をしていけば良いのか？

ここから、ご説明していきます。

もう迷わない！エリオット波動は、こうやって数えるのだ！

あなたが実際のトレードで
エリオット波動を使いこなすには、

正確に、波動をカウントしていく

必要があります。

そして、あなたが狙っていく波動は
3波と5波だ、という話をしましたが…

ここで注目してほしいのは
『ローソク足の形』です。

まずは、3波です。

3波が確定するためには
『1波と2波で作った高値をブレイクする』ことが
条件の1つでしたが、

『ブレイク』の時の
ローソク足に注目してほしいのです。

例えば・・・

- ・ローソク足の全部が抜けたら、ブレイクとする
- ・ローソク足の実体で抜けたら、ブレイクとする
- ・ローソク足のヒゲで抜けたら、ブレイクとする

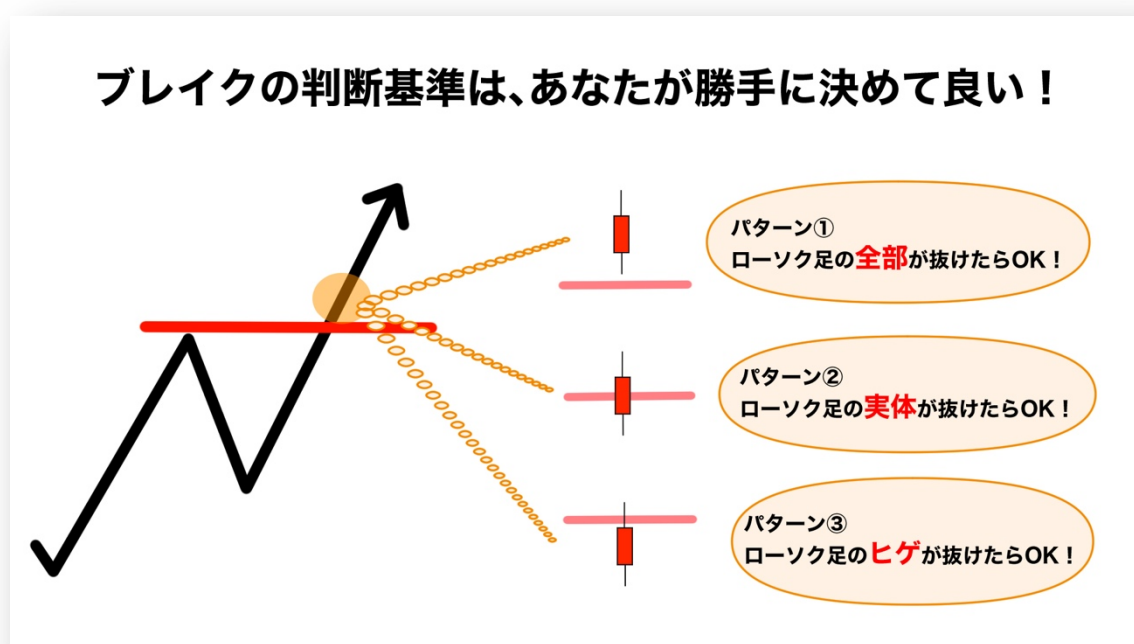
など、

「ブレイクしたぞ！」の判断は
人それぞれで分かれるところです。

結論から言います、

あなたが勝手に
『ブレイクの判断』を決めて良い

のです。



FXの世界に『正解』は存在しないので

自分の『トレード・ルール』は
トレーダーであるあなたが決めて良い

のです。

ローソク足の実体が
少しでも抜けたのであればよし、としたのであれば
別に、それでイイのです。

ヒゲだけでも OK としたのであれば
それもイイです。

つまり、人それぞれで良いのです…

が、

きっと『答え』が欲しいと思うので
参考として聞いてもらえばいいです。

より確実な 1 つの方法としては、

3 波はローソク足『全部』が抜けたら
ブレイクしたと判断する

というのがあります。

今後、あなたが実際に
トレード経験を積んでいき

- ・何が 1 番良かったのか？
- ・1 番しっくりくるのは何か？
- ・検証をしてみて基準を決める

そんな風に、

自分の基準を構築していくのが
FX の本質なのです。

次に、5 波です。

例えば、

「ヒゲで割ってきてしまったら
もう 5 波じゃないんじゃないの？」

という意見があると思いますが
これも話は同じで、

あなたがやりたいようにやれば
それで OK です。

- ・ヒゲならセーフ
- ・ヒゲでもアウト

もしも『ヒゲでもアウト』としたのであれば…

「1 波・2 波・3 波までは順調だったけど
4 波で、ヒゲが割り込んできてしまったから
今回はエリオット波動の推進波ではなかったんだ」

と判断するのです。

『ヒゲならセーフ』としたのであれば
どこまで行ってもセーフなのです。

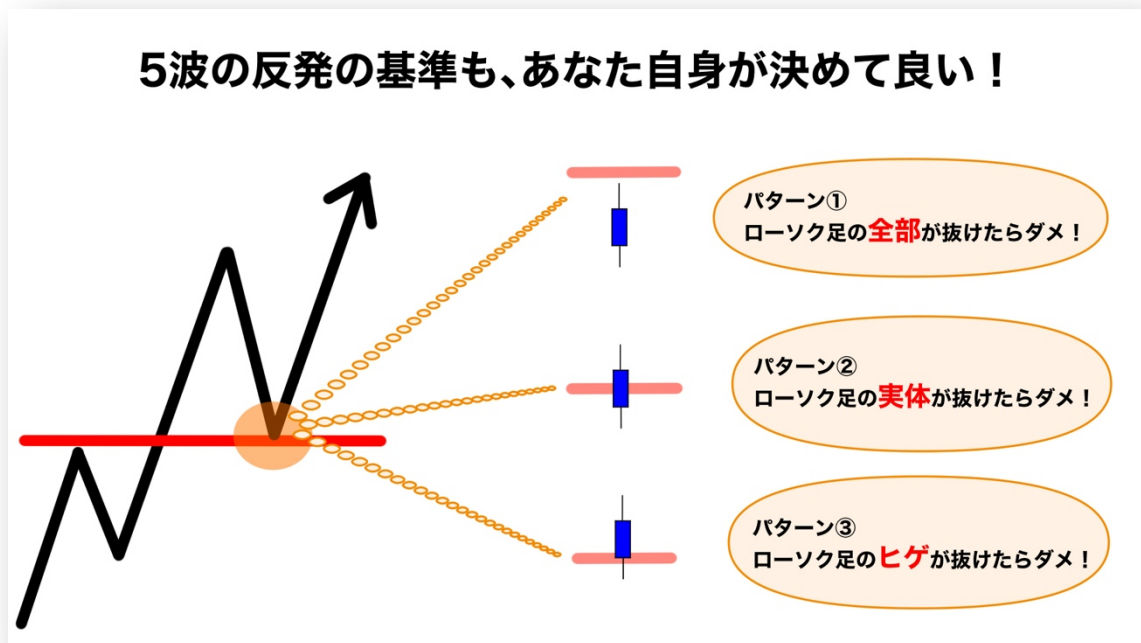
大事なコトは

自分で決めたトレード・ルールを守る

ことなのです。

FX で稼げない『1 番の原因』は 宣言した矢先の約束破りなのです…

なので、ルールは自分で決めて
決めたルールを守ることが大切なのです。



では、参考として・・・

5 波は、ヒゲが抜けるのは OK！
だけど、実体が抜けるのはダメ…

ローソク足『実体』で
少しでも割って来たら、5 波とはみなしません。

一旦、まとめます。

- ・ブレイクの判断
- ・反発の判断

こういったものは自分で決めて良いもの。

1つの参考として・・・

3波のブレイク：

ローソク足の全部が抜けること

5波の反発：

ヒゲが割り込むのは OK、ローソク足の実体が割り込むのは NG

このように自分のルールを作って
トレードを積み重ねていくのです。

で、

自分のルールを明確に作ると
迷うことなく波動のカウントを取ることができるのです。

3波が来たのであれば
その勢いに乗って利益を取っていく、

5波が来たのであれば
確実に利益を取っていく。

こんな感じでトレードをすることが
できるようになるのです。

いいですか？

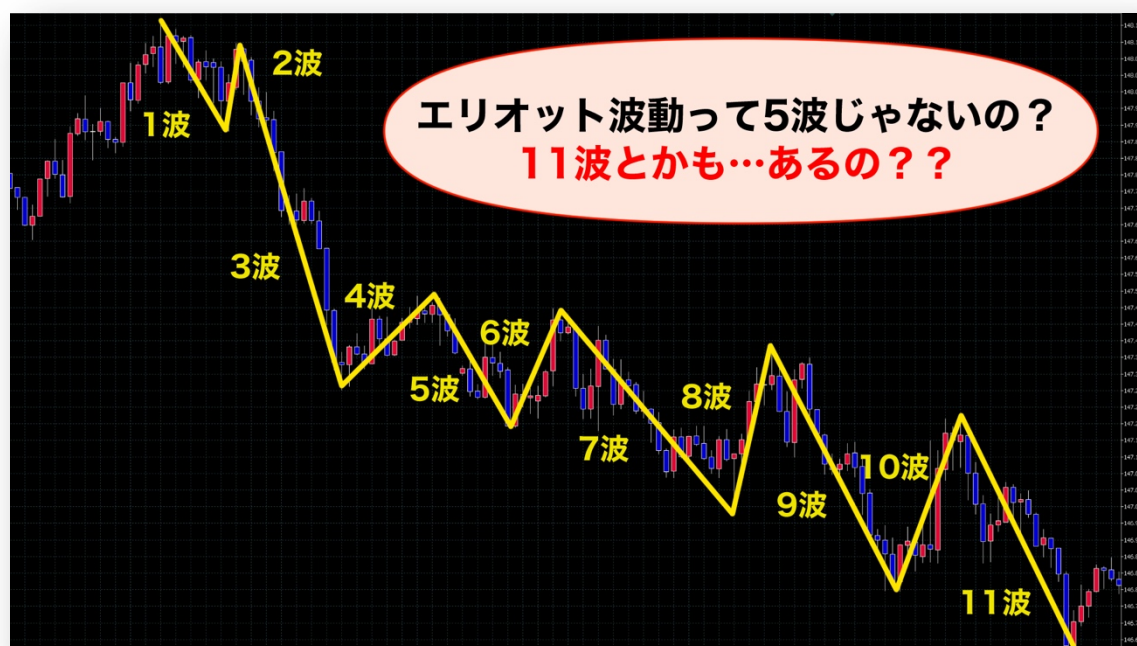
まずは今回
あなたのルールを明確にして下さい。

そして、

波動をカウントする時に
悩ましいポイントが、もう1つあるのです…

エリオット波動って 6波、7波、8波、9波…ってあるの？

という話です。



上の例を見てみると・・・

「11波あるんだけど…
コレって、どういうことなの？」

と思ったかもしれません。

答えを言います、

エリオット波動は、推進5波動
だから6波、7波…とかは存在しない
・・・という考え方です。

ですが今、あなたは、

「いやいや、でも存在してるんだけど…。」
「待て待て、オマエの目は節穴かよ？」

と思ったかもしれません。

確かに、そんな風に言いたくなる
気持ちは分かるのですが…

そう捉えたら『ダメ』なのです
カウントの仕方を間違えているだけ

なのです。

もしも、あなたのカウントが
6波、7波、8波となってしまった時は、

あっ、やべえ…
カウントの仕方を間違えた。。。。

と考えるのです。



どっちの数え方でも OK です。

なぜなら、3 波と 5 波の条件を
キチンと守っているからです。

前のページの 2 つで迷うのは問題ありません。

ですが、

今後「6 波、7 波、8 波…」と迷うのは
絶対に辞めるようにして下さい。

これは自分で取りやすい波形で良いのです。

あなた自身が
じっくり来るカウントの仕方で
問題ありません。

まずは、

6 波とか、7 波とか、8 波とかは
エリオット波動には存在しない

ということを肝に銘じて下さい。

もしも、そういったカウントになってしまった時は

「あっ、オレの数え方が間違ってるんだ…。」
「アタシの波動のカウントが間違ってるんだ…。」

と考えるようにして下さい。

そして、もう 1 つポイントを話します。

自分の波形を過信しすぎない

ことです。

『常に相場が正しい』という 相場至上主義でチャートを見ていく

ようにして下さい。

もちろん！

人によっては、

「6波、7波、8波…は存在する」
と言っている人もいます。

ですが、

エリオット波動だけに限らず
FXをシンプルに考えて売買戦略を練っていく、

そんな風に考えていった方が
あなたの中で迷いが生まれません。

結果的に、自分のトレードに自信を持つことができ
1回1回の取引を最後までやり切ることができます。

ムダな情報があると、どうしても迷ってしまいます。

そうすると、

どうしても無駄な損失が
生まれやすくなってしまいます。

いいですか？

FX を複雑に考えるから
あなたの FX が難しくなるのです

シンプルで良いのです。

そして、シンプルが 1 番良いのです。

ぜひ、

ムダな情報を、そぎ落として
スマートに FX を考えていきましょう！

結局、これこそが
FX で利益を出す秘訣でもあるのです。

では、ここからは、

推進 5 波動を、他のテクニカル分析と
組み合わせて使っていく究極の方法

を話しています・・・

テクニカル分析を総動員せよ！実践トレード厳選3つのアプローチ篇

ここまでの話を理解したら、

あとは『エントリー・ポイント』です。

今回のエリオット波動と
他のテクニカル分析を組み合わせ、

絶妙なタイミングで取引を入れる ひとつ上のトレード手法

を、お話していきます。

まずは、マルチタイムフレーム分析です。

ここで1つ、あなたの中で
疑問符が浮かぶと思います。

「じゃ、ココで3波が出たけど
実際にどうやってトレードすればいいの？」

「ちょうど今、5波が出始めたけど
具体的に、どうやってエントリーすればいいの？」

と。

もちろん、

3波なら、ローソク足の全部がブレイクした時点で
エントリーをしてもらって全然 OK、

5波なら、4波が終わって5波で反発した時点で
エントリーをしてもらって全然 OK、なのですが・・・

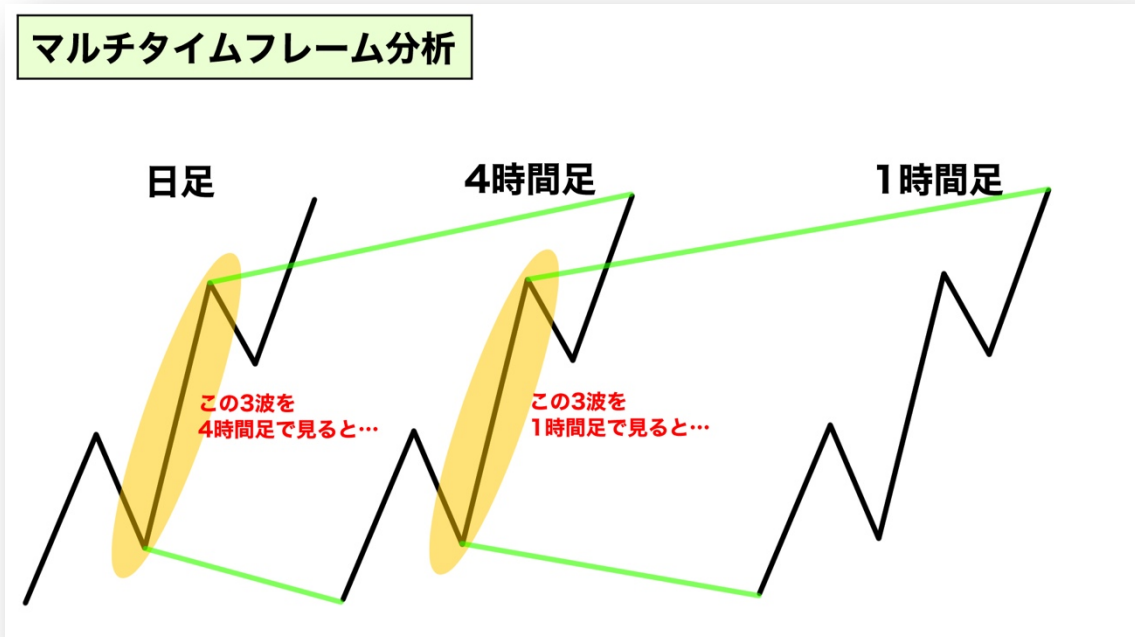
この時、

どんどん時間足を落とし込んでいって 1pips もムダにしない最強トレード法

があるので、

より細かいテクニカル分析の方法を
お伝えしていきます。

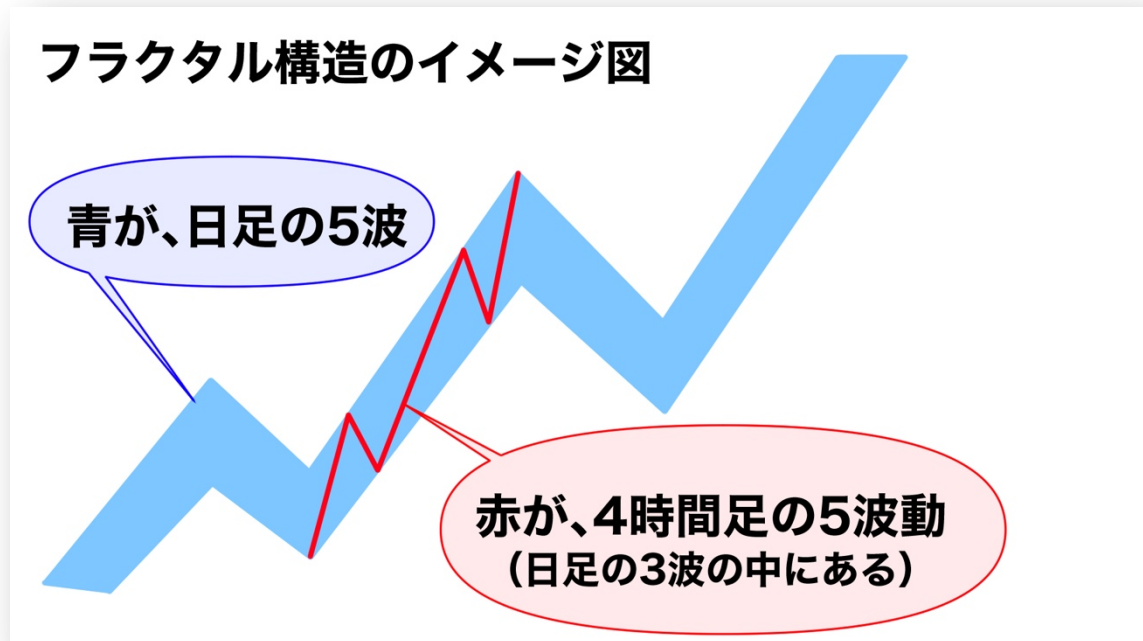
まず最初に、基本を話します。



日足で3波が出ていた時、その3波を4時間足に切り替えて表示すると
日足の3波の中に、4時間足の1波、2波、3波、4波、5波があるのです。

さらに4時間足の3波を、1時間足に切り替えて表示すると
4時間足の3波の中に、1時間足の1波、2波、3波、4波、5波がある。

これをフラクタル構造と言います。



この図のように、

日足の3波を見ると直線になっていると思うのですが
この3波を4時間足で見ると、

4時間足でもエリオット波動が
1波、2波、3波、4波、5波と形成されているのです。

要するに・・・

日足の3波の中に
4時間足の1波、2波、3波、4波、5波が入っている
ということです。

では、

この部分を分かりやすく説明していきます。

実際のチャート画面を使っていきます。

まずは『日足』です。

マルチタイムフレーム分析を考える時、

あなたが日足の3波を見つけたら、

その3波の中に

4時間足の推進1波、2波、3波、4波、5波ができる
と考えて下さい。



上の例で見ていくと、

3波は直線に見えるのですが

その中に4時間足の推進1波、2波、3波、4波、5波ができています。

では、

実際に、4時間足で確認してみましょう。

では、さっきの日足チャートを、

『4 時間足』で表示させます。



4 時間足でも

1 波、2 波、3 波、4 波、5 波となっている状態です。

じゃ、更に 1 時間足で見るとどうなっているのか？

これも、4 時間足の 3 波の中に

1 時間足の 1 波、2 波、3 波、4 波、5 波ができています。

つまり・・・

日足の波動の中に、4 時間足の波動が存在し

4 時間足の波動の中に、1 時間足の波動が存在し、

これをもっと進めていくと・・・

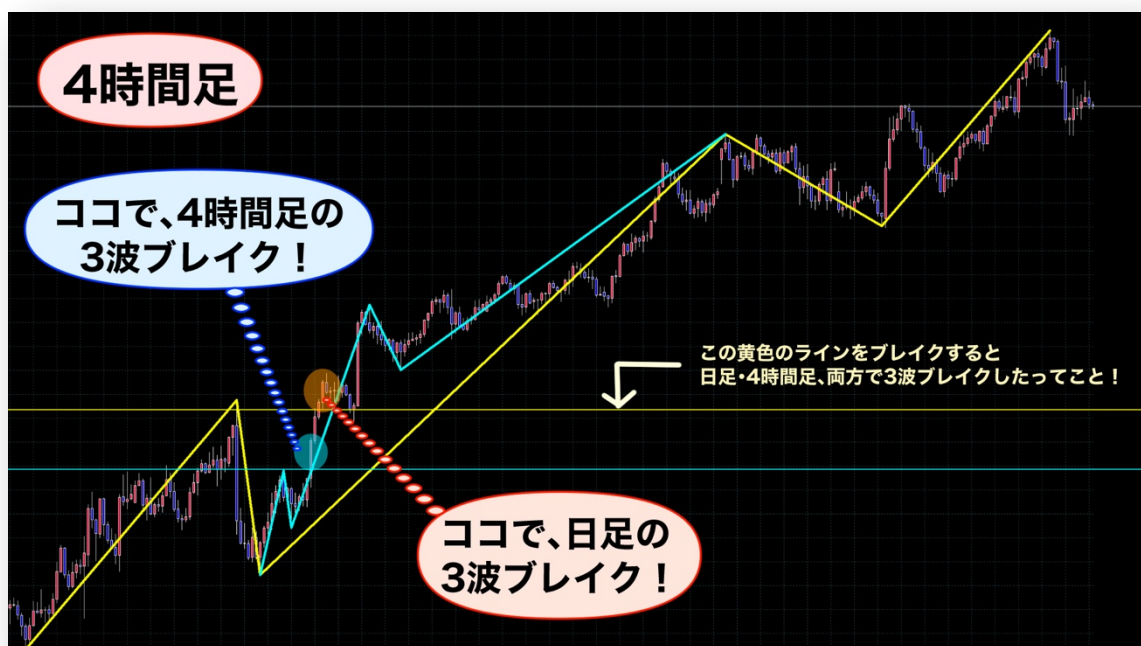
1 時間足の波動の中に、15 分足の波動が存在し
15 分足の波動の中に、5 分足の波動が存在し
5 分足の波動の中に・・・

という感じなのです。

で、

これを一体どうやって見ていくのか？

ココのポイントに注目して下さい！



日足でも、3 波ブレイクをしており
4 時間足でも、3 波ブレイクをしたのです。

2 つの時間足でブレイクした・・・

つまり？

ココから先、メチャクチャ伸びやすい

ということが
必然的に分かるってコトなんです。

そのため、

このタイミングで買いエントリーを仕掛けていけば
相場が『かなり伸びやすい』と判断ができるのです。

こんな感じで
マルチタイムフレーム分析を
考えてみて下さい。

1つの時間足だけではなく
複数の時間足でエリオット波動を確認していき
ローソク足の動きを見ていくことで、

根拠の強いエントリーが可能になる

のです。

このようにエリオット波動と
マルチタイムフレーム分析を
組み合わせていくと、

勝ちやすいポイントが
簡単に見えてくるのです。

ぜひ、あなたも実際のトレードで
使ってみて下さい。

次は、通貨ペアの相関関係です。

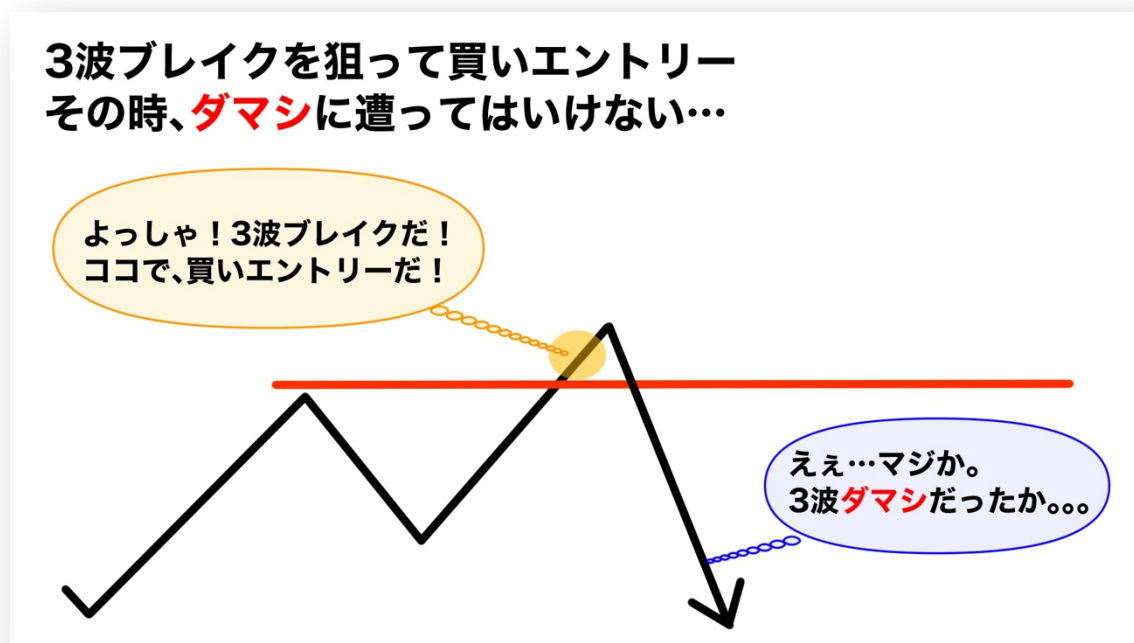
先ほどは、3波ブレイクの時に
複数の時間足で3波ブレイクを確認しよう
という話でした。

次は、3波ブレイクの時に
複数の『通貨ペア』を確認しよう
という話です。

まず・・・

3波を狙っていく時は ブレイク・ダマシに遭ってはいけない

…でしょ？



抜けたと思って『エントリー』した
でも、その後、実は3波じゃなかった

コイツを防がないといけないのです。

ここで見るのは『通貨ペア』の関係性です。

例えば、

- ・ドルが、すごく買われている
- ・円が、すごく売られている

この状態であれば

『ドル/円』買いエントリーがすごく伸びやすい。

伸びやすいってことは
『3波になりやすい』ということ

なのです。

なぜなら『3波』は
1番短くなることはない
という特徴があります。

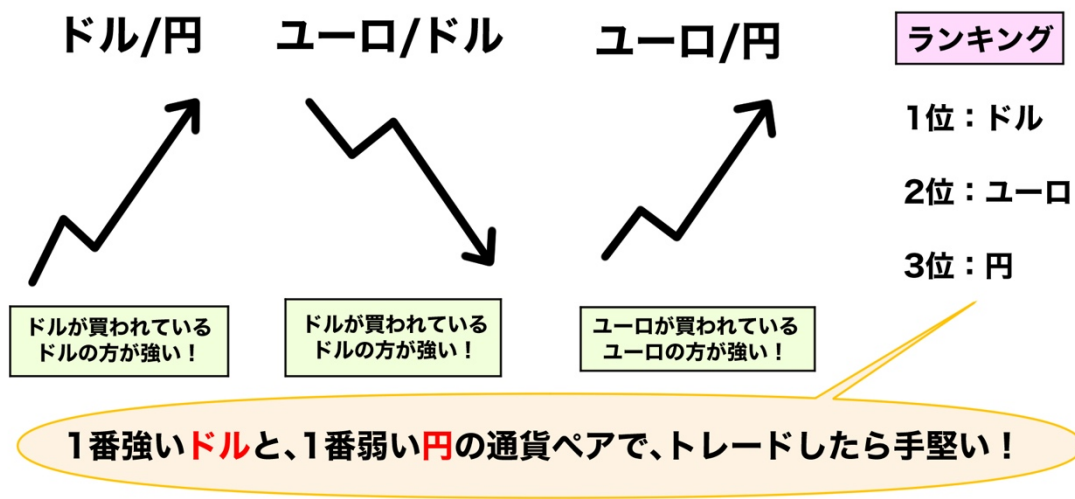
だから、3波は利幅 (pips) が大きい。

では、伸びやすい状況とは？

通貨ペアの関係性が良い状態が理想形

なのです。

通貨ペアの相関関係をみよう！



通貨ペアの相関関係の『見方』を
上の例に基づいて説明していきます。

例えば、ドル/円が上昇している状態、

この状態は、

- ・ドルが買われている
- ・円が売られている

そういった状態なので、ドルの方が強い。

そして、

ユーロ/ドルが下落している状態だったら、

- ・ユーロが売られている
- ・ドルが買われている

という状態なので、ドルの方が強い。

さらに、

ユーロ/円が上昇していたら、

- ・ユーロが買われている
- ・円が売られている

というコトになるので、ユーロの方が強い。

つまり・・・

- ・ドル
- ・ユーロ
- ・円

3つの通貨のうち

『1番人気のある通貨』と『1番人気のない通貨』
『1番強い通貨』と『1番弱い通貨』

コレが何なのか？

ここが分かると、

コレを組み合わせることによって
『相場が伸びやすい』という判断材料になるのです。

今回の例だと、

- ・ドルが1番買われている

3つの通貨の中で『ドルが1番強い』
ということになります。

・円が1番売られている

3つの通貨の中で『円が1番弱い』
ということになります。

すると・・・

『1番強いドル』と『1番弱い円』

この状況だったら、ドル/円を買うと
スゴく美味しい相場なんじゃないか？

と、

1つトレード根拠が見つかるのです。

つまり！

『ドル/円』の『3波ブレイク』は
グングン伸びていく可能性が特大級

と判断がつくのです。

これによって
3波ブレイクを狙っていきやすい上に、

ブレイク・ダマシになる可能性は極小

という判断にもつながってきます。

なので、

あなたが実際のトレードで
3波動目を狙いたい時、

高値・安値をブレイクした後に
一体どんな根拠で伸びやすいのか？

この判断材料の1つに
通貨の相関関係を見ていくことは
理にかなった方法と言えるのです。

最後は、5波の押し目買い・戻り売りです。

5波の『押し目買い』と『戻り売り』は、

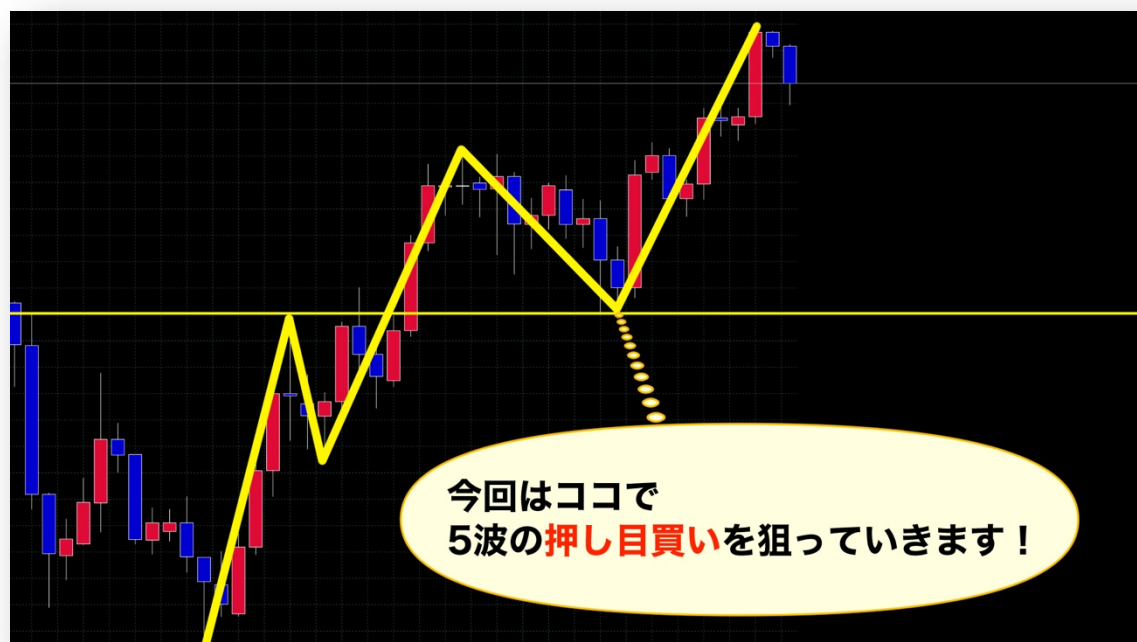
- ・ラインの反発
- ・ローソク足の形

この2つを見ていく。

このチャートが分かりやすいですかね・・・



今回は『5波』を狙っていくので・・・



じゃ、この『押し目』を
一体、何で確認すれば良いのか？

- ・ ライン (1波と2波で作った高値のライン、4波はここを割り込まない)
- ・ ローソク足の形

この2つを使って
確認していきましょう。

まず、ライン付近にローソク足が到達したら
1つ時間足を下げます。

そして、下げた時間足を見て
ライン付近で下ヒゲが長い状態のローソク足が出たら
買いエントリーを仕掛けていくのです。

時間足を『1つ』下げたチャートです。



4波で下げて、ライン付近で反発して
その後は『5波』になり上がりやすい

というのは
すでに分かっているので、

あとは、

ライン付近の『ローソク足の形』を
じっくり見ていく

のです。



ライン付近のローソク足の形を見てみると・・・

『下ヒゲが長い』ローソク足が形成されていますよね。

どういう意味か？

価格（ローソク足）を下げようと思っても
それよりも強い力で『買い勢力』が価格を押し上げた…

つまり、

このライン付近で
たくさんの買いが集中したポイント

という風に
捉えることができます。

要するに、

ここからは、上がりやすい！

と判断することができるのです。

こんな具合で『売買戦略』を考えていく。

ラインよりも上の状態で時間足を1つ落とし込んで
ローソク足の形を見て、トレード戦略を練るのです。

なので、

5波の押し目買い・戻り売りは、

ラインでの反発を1つの軸として
『ローソク足の形』を観察していく

のを、意識してみてください。

こんな風に『自分なりの根拠』を持って
トレードをしていくと、とっても楽しいです。

ぜひ、

今回の内容を何度も、何度も、何度も
あなたの脳みそに刷り込んでいって

どんどん『トレード上手』になっていって下さい。

最後に

では最後に、

FX で利益を出すための究極の方程式を
あなたにお伝えします。

『FX 利益の方程式』

= 『資金管理』 × 『環境認識』

ここでポイントなのは、

足し算ではなく、掛け算である
という点です。

つまり？

どちらかがゼロだった場合
長期的に利益を出せない、ということです。

逆に言えば・・・

『資金管理』 と 『環境認識』

この2つさえできるようになれば・・・

FX で利益を出すことなんて
想像以上に、案外カンタンなこと

なのです。

今回は、

環境認識のところで、

- ・ ダウ理論
- ・ エリオット波動

いろんな話をしました。

もしかすると今あなたは、

知らなかった話を一気にされて
少し戸惑っているかもしれません。

ですが・・・

本当に、コレだけです。

なぜ、FX が難しくて苦しいのか？

答えを言います。

ネチネチ難しいことを考えているから
難しくて、いつまでも利益が出せない
のです。

いつでも答え、というヤツは
『シンプルなもの』なのです。

それこそ、リアルタイムで値動きを見ている時に
いろんなことを考え、いろんな分析をして、いろんな数字を見て・・・

そんなことをしていたら
頭がパンクして決められない…

そんな状態では
あなたの FX がブレてしまいます。

もっと FX をシンプルに考えよう！

と言いたいのです。

では、

ここまで読んでくれたあなただけに
かなり重要な FX のマインドセットを
1 つプレゼントします。

それは・・・

コントロールできるものだけに フォーカスしろ

コントロールできないものを コントロールしようとするな

です。

いいですか？

当たり前ですが、相場の値動きは
コントロールすることができないのです。

コントロールできないものを
コントロールしようとすれば、

ただ単に、ストレスが溜まるだけです。

これは FX だけではなく
人生すべてに共通する本質です。

そして、もう 1 つ。

自分の意のままになるのは
いつでも自分の行動のみ。

それを理解してもらった上で・・・

あなたが FX で利益を出すために 成すべきことは何か？

未来の値動きを予想して
上がるか、下がるか…を
ピタリと当てることなのか？

違います。

いろんなテクニカルを使って
チャート画面にごちゃごちゃ表示させて
分析スキルを磨いていくことなのか？

違います。

FX の本を 100 冊読んで
いろんな YouTuber の動画を見まくって
トレード手法を勉強することなのか？

どれも、これも、違います。

あなたが FX で利益を出すためには、

相場の状況変化に合わせて その都度、最善の対応をしていくだけ

その繰り返しなのです。

そもそも・・・

FX トレーダーである私たちには
全く予測できない値動きに対して、

その都度『対応していく』ことしかできないのです。

じゃ、どう対応していけば良いのか？

どのように対応していけば
着実に利益を残していくことができるのか？

それが今回お話しした、

『資金管理』と『環境認識』 この2つの組み合わせ

なのです。

もちろん、世の中には
様々な手法があるので
答えは1つではありません。

ですが、

資金管理と環境認識の2つさえできれば
少なくともFXで利益を出すことはできます。

ぜひ、今回の話をキチンと落とし込んで頂き
最初の利益を掴み取ってもらえれば嬉しいです。

最後までお読み頂き
本当にありがとうございました。

．．．

では、早速！！

実際に、チャート画面を表示させて
ローソク足の『高値』と『安値』を見つけ
エリオット波動をカウントしてみてください。

話を聞いただけでは
いつまで経っても、

あなたのFXは上達しません。

実際にやってみることが
何よりも大切なのです。

そして．．．

やってみて初めて気づくことも多い

そういうモノなのです．．．